

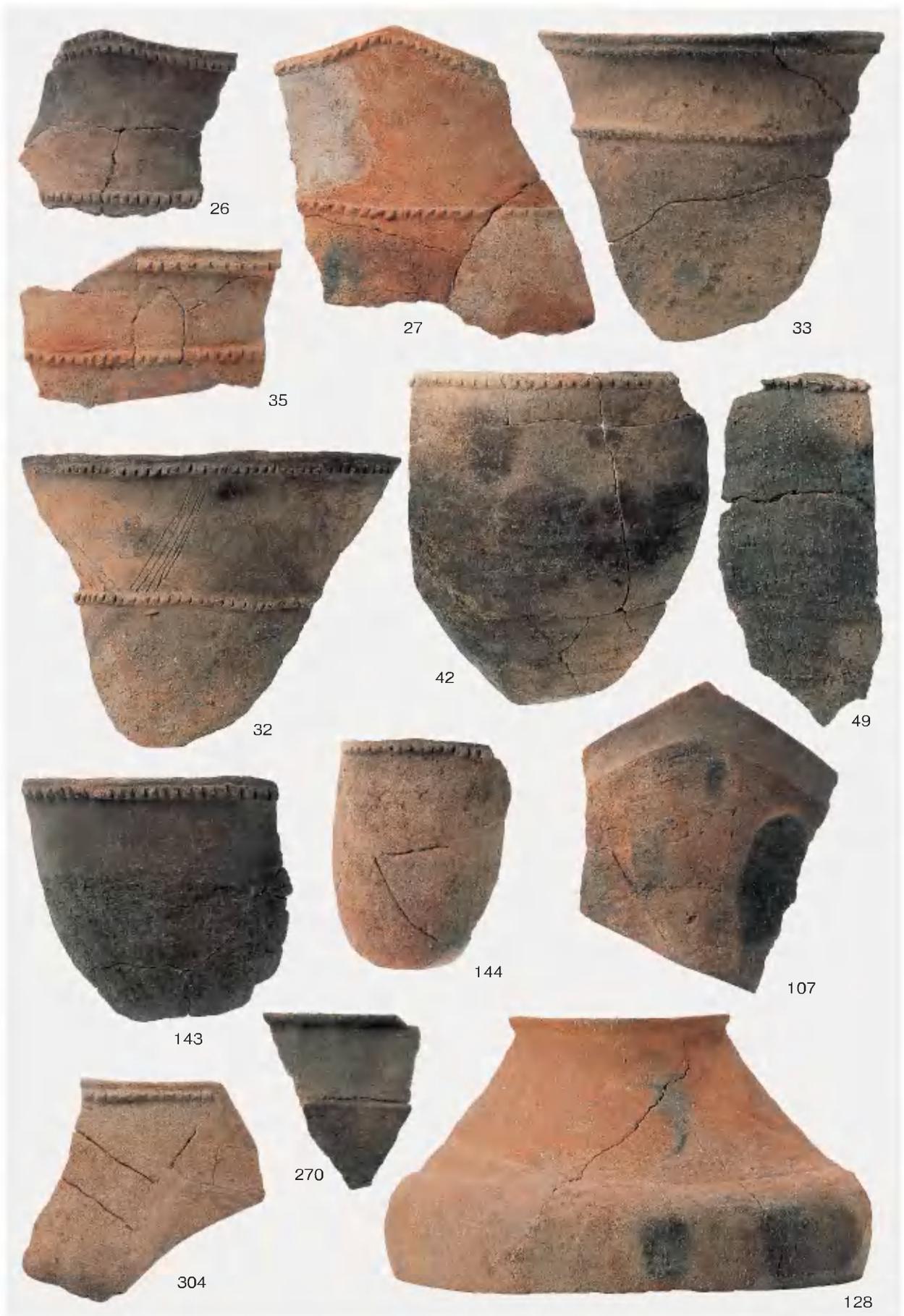
岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 226

上東中嶋遺跡

一般県道吉備津松島線道路改築に伴う発掘調査Ⅳ

2010

岡山県教育委員会



縄文晩期土器

巻頭図版 2



1 下がり1遺物出土状況（南から）



2 サヌカイト製石器・剥片

序

本書は、一般県道吉備津松島線道路改築に伴い発掘調査を実施した上東中嶋遺跡の発掘調査報告書です。本事業の発掘調査報告書としては第4冊目になります。

足守川下流域は、岡山県南部でも有数の埋蔵文化財包蔵地所在地帯として知られています。周辺には弥生時代の大規模集落である上東遺跡が所在し、上東遺跡の北側丘陵には弥生時代最大の墳丘墓である楯築弥生墳丘墓が所在しています。また、古墳時代後期の群集墳である王墓山古墳群や白鳳寺院である日畑廃寺など数多くの遺跡が知られています。このほか、平安時代末期以降に築かれたとされる「湛井十二箇郷用水」の「上東用水」や「下庄用水」が流れており、改修が繰り返されながら今日にまで継承されて現代の水田をうるおし続けてきました。

このたび発掘調査を実施した上東中嶋遺跡では、微高地部で弥生時代や中世の遺構を、低位部では鎌倉時代以降の水田層を確認しました。また、微高地部において突帯文土器やサヌカイトの石器や剥片が多く出土しており、近隣では縄文時代晩期末以降に集落が営まれ始めたことが分かりました。さらに低位部から古墳時代や古代の土器などが出土しており、微高地部で遺構が見つからなかった時代においても、近隣に集落が所在した可能性が考えられます。

発掘調査および報告書作成に当たりましては、備中県民局建設部をはじめとする関係機関や地元住民のみなさんにご理解・ご協力を賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。

本書が地域史研究の資料として、また文化財保護の一助として活用されることを期待いたします。

平成22年3月

岡山県古代吉備文化財センター

所長 児仁井 克一

例 言

- 1 本書は、一般県道吉備津松島線道路改築に伴い、岡山県教育委員会が岡山県備中県民局建設部の依頼を受け、岡山県古代吉備文化財センターが実施した上東中嶋遺跡^{しょうとうなかしま}の発掘調査報告書である。
- 2 上東中嶋遺跡は、岡山県倉敷市上東38-1ほかに所在する。
- 3 発掘調査は、平成19年4月23日～5月15日、平成19年11月12日～15日に岡本寛久・氏平昭則・田中政之が試掘調査（36㎡）を、平成20年10月1日～平成21年2月26日に柴田英樹・上栿武が本発掘調査（1,630㎡）を担当した。
- 4 本書の作成は平成20年度、平成21年度に実施した。平成20年度は平成21年3月1日～3月31日に、平成21年度は平成21年7月1日～平成22年3月31日に実施した。
- 5 本書の作成は、平成20年度は柴田・上栿が、平成21年度には上栿が担当した。
- 6 本書の執筆は上栿・光永真一が分担して実施した。全体の編集は上栿が行った。
- 7 本書の作成に当たり、遺跡の環境や遺物の時期・材質などに関する鑑定・同定を下記の諸氏・機関に依頼して有益な御教示と御指導を賜った。また、成果の一部については報告文を収載した。
 - ・サヌカイト製石器の製作技法に関する教示 竹広文明（広島大学）
 - ・石材の鑑定 鈴木茂之（岡山大学）
 - ・動物遺存体の同定 富岡直人（岡山理科大学）
- 8 縄文土器42の外面に付着した炭化物の放射性炭素年代測定（AMS法）をパリノ・サーヴェイ株式会社に依頼した。
- 9 本書の遺構写真は調査員が撮影した。また、遺物写真の撮影については江尻泰幸の協力と援助を得た。
- 10 本書に収載した遺構・遺物の図面・写真等は、岡山県古代吉備文化財センター（岡山県岡山市北区西花尻1325-3）に保管している。

凡 例

- 1 本書に用いた高度値は海拔高である。方位は平面直角座標第V系の座標北である。抄録に記載した経緯度は、世界測地系に準拠している。
- 2 本書記載の遺構・遺物の図には個別にその縮尺率を記している。
遺構：平面図 1/30・1/40・1/60・1/200 土層断面図 1/30・1/60・1/100
遺物：土器・陶磁器 1/4 石器 1/2・1/3 金属器 1/2・1/3 土製品 1/3
- 3 土層断面図に記載した土色は『新版 標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修）によっている。
- 4 遺構配置図の中では土壙を「土」、土器棺を「棺」、井戸を「井」、配石遺構を「石」、柱穴列を「列」、下がり「下」と略して示す。
- 5 遺物番号には、土器・陶磁器類には番号だけを付し、その他のものには材質により、下記の略号を番号の前に加えている。 石器：S 金属製品：M 土製品：C
- 6 掲載した土器のうち中軸線の両側に白抜きがあるものは、小片のため径が不確実なものである。
- 7 第5図は国土地理院発行の1/25,000地形図「倉敷」・「総社東部」を複製・加筆したものである。
- 8 本書に用いた時代区分は一般的な政治史区分に準拠し、必要な場合には世紀などを併用する。おおむね、古代は7世紀後半から平安時代まで、中世とは鎌倉時代から室町時代まで、近世とは安土・桃山時代から江戸時代までとしている。

目 次

卷頭図版

序

例言

凡例

目次

| | |
|------------------------|----|
| 第1章 調査の経緯と経過 | 1 |
| 第1節 発掘調査に至る経緯 | 1 |
| 第2節 発掘調査の経過 | 2 |
| 第3節 報告書作成の経過 | 3 |
| 第2章 地理的・歴史的環境 | 5 |
| 第3章 発掘調査の成果 | 8 |
| 第1節 概要 | 8 |
| 第2節 古代以前の遺構と遺物 | 10 |
| 第3節 中世以降の遺構と遺物 | 25 |
| 第4章 まとめ | 40 |
| 付載 上東中嶋遺跡出土動物遺存体 | 44 |
| 一覧表 | 47 |
| 図版 | |
| 報告書抄録 | |

挿図目次

| | | |
|------|--|----|
| 第1図 | 調査区位置図 (1/10,000) …………… | 1 |
| 第2図 | トレンチ位置および調査区設定図・トレンチ柱状図 (1/2,000・1/100) …………… | 2 |
| 第3図 | 試掘調査出土遺物 (1/3・1/4) …………… | 3 |
| 第4図 | 遺跡位置図 (1/200,000) …………… | 5 |
| 第5図 | 周辺遺跡分布図 (1/25,000) …………… | 6 |
| 第6図 | 遺構全体図および基本層序 (1/100・1/700) …… | 9 |
| 第7図 | 弥生時代以前遺構配置図 (1/300) …………… | 10 |
| 第8図 | 土器棺1 (1/30)・出土遺物 (1/4) …………… | 11 |
| 第9図 | 土壙1 (1/30)・出土遺物 (1/4) …………… | 12 |
| 第10図 | 土壙2 (1/30) …………… | 13 |
| 第11図 | 土壙3 (1/30) …………… | 13 |
| 第12図 | 土壙4 (1/30) …………… | 13 |
| 第13図 | 下がり1断面図 (1/60) …………… | 13 |
| 第14図 | 下がり1遺物出土状況 (1/40) …………… | 14 |
| 第15図 | 下がり1出土遺物① (1/4) …………… | 15 |
| 第16図 | 下がり1出土遺物② (1/4) …………… | 16 |
| 第17図 | 下がり1出土遺物③ (1/4) …………… | 17 |
| 第18図 | 下がり1出土遺物④ (1/2・1/4) …………… | 18 |
| 第19図 | 遺構に伴わない遺物① (1/4) …………… | 19 |
| 第20図 | 遺構に伴わない遺物② (1/4) …………… | 20 |
| 第21図 | 遺構に伴わない遺物③ (1/4) …………… | 21 |
| 第22図 | 遺構に伴わない遺物④ (1/4) …………… | 22 |
| 第23図 | 遺構に伴わない遺物⑤ (1/2・1/3・1/4) …………… | 23 |
| 第24図 | 遺構に伴わない遺物⑥ (1/2) …………… | 24 |
| 第25図 | 中世以降遺構配置図① (1/400) …………… | 25 |
| 第26図 | 中世以降遺構配置図② (1/400) …………… | 26 |
| 第27図 | 柱穴列1 (1/60)・出土遺物 (1/4) …………… | 27 |
| 第28図 | 井戸1 (1/30)・出土遺物 (1/4) …………… | 28 |
| 第29図 | 配石遺構1 (1/30)・出土遺物 (1/2) …………… | 28 |
| 第30図 | 土壙5 (1/30) …………… | 28 |
| 第31図 | 1区中世溝群 (1/200) …………… | 29 |
| 第32図 | 溝1 (1/30)・出土遺物 (1/3・1/4) …………… | 30 |
| 第33図 | 溝2 (1/30)・出土遺物 (1/3) …………… | 30 |
| 第34図 | 溝2出土遺物 (1/4) …………… | 31 |
| 第35図 | 溝3 (1/30)・出土遺物 (1/4) …………… | 31 |
| 第36図 | 溝4 (1/30)・出土遺物 (1/3・1/4) …………… | 31 |
| 第37図 | 溝5 (1/30)・出土遺物 (1/4) …………… | 31 |

| | | |
|------|----------------------------------|----|
| 第38図 | 溝6 (1/30)・出土遺物 (1/3・1/4) …………… | 32 |
| 第39図 | 溝7 (1/30・1/200)・出土遺物 (1/4) …………… | 33 |
| 第40図 | 下がり2 (1/30) …………… | 34 |
| 第41図 | 溝4・溝7・下がり2・現代用水路断面模式図 …… | 34 |
| 第42図 | 下がり2出土遺物① (1/4) …………… | 35 |
| 第43図 | 下がり2出土遺物② (1/4) …………… | 36 |
| 第44図 | 下がり2出土遺物③ (1/4) …………… | 37 |
| 第45図 | 下がり2出土遺物④ (1/2・1/3・1/4) …………… | 38 |
| 第46図 | 遺構に伴わない遺物① (1/4) …………… | 38 |
| 第47図 | 遺構に伴わない遺物② (1/2・1/3・1/4) …………… | 39 |
| 第48図 | 縄文晩期土器分類図 (1/10) …………… | 41 |
| 第49図 | 楔形石器分類図 …………… | 43 |

写真目次

| | | |
|-----|--------------------------|----|
| 写真1 | 土器棺1調査風景(東から) …………… | 10 |
| 写真2 | 土壙1遺物出土状況(南東から) …………… | 10 |
| 写真3 | 下がり2調査風景(北東から) …………… | 26 |
| 写真4 | 3A区中世耕作面調査風景(北東から) …………… | 26 |
| 写真5 | 井戸1底部(北西から) …………… | 28 |
| 写真6 | 溝1・2、下がり2全景(北東から) …………… | 30 |
| 写真7 | 溝4断面(A-B)(東から) …………… | 31 |

図版目次

| | |
|-------|---|
| 巻頭図版1 | 縄文晩期土器 |
| 巻頭図版2 | 1 下がり1遺物出土状況(南から) 2 サスカイト製石器・剝片 |
| 図版1 | 1 遺跡遠景(南上空から) 2 下がり1遺物出土状況(南から) |
| 図版2 | 1 土器棺1(西から) 2 土壙1遺物出土状況(南から) |
| 図版3 | 1 1区中世全景(北東から)・2 井戸1(南から) 3 配石遺構1(南東から)・4 溝7(南西から) |
| 図版4 | 縄文晩期土器① |
| 図版5 | 縄文晩期土器② |
| 図版6 | 1 縄文晩期土器③ 2 縄文晩期土器種子圧痕 |
| 図版7 | 弥生土器・土師器・須恵器 |
| 図版8 | 1 石器・土製品 2 製錬滓・炉壁片 |

第1章 調査の経緯と経過

第1節 発掘調査に至る経緯

一般県道吉備津松島線の道路改築については、足守川以西を岡山県備中県民局が担当し、既存道の拡幅を主として進めていたが、倉敷市日畑地区においては拡幅が困難なため、バイパス化による改良が図られることとなった。

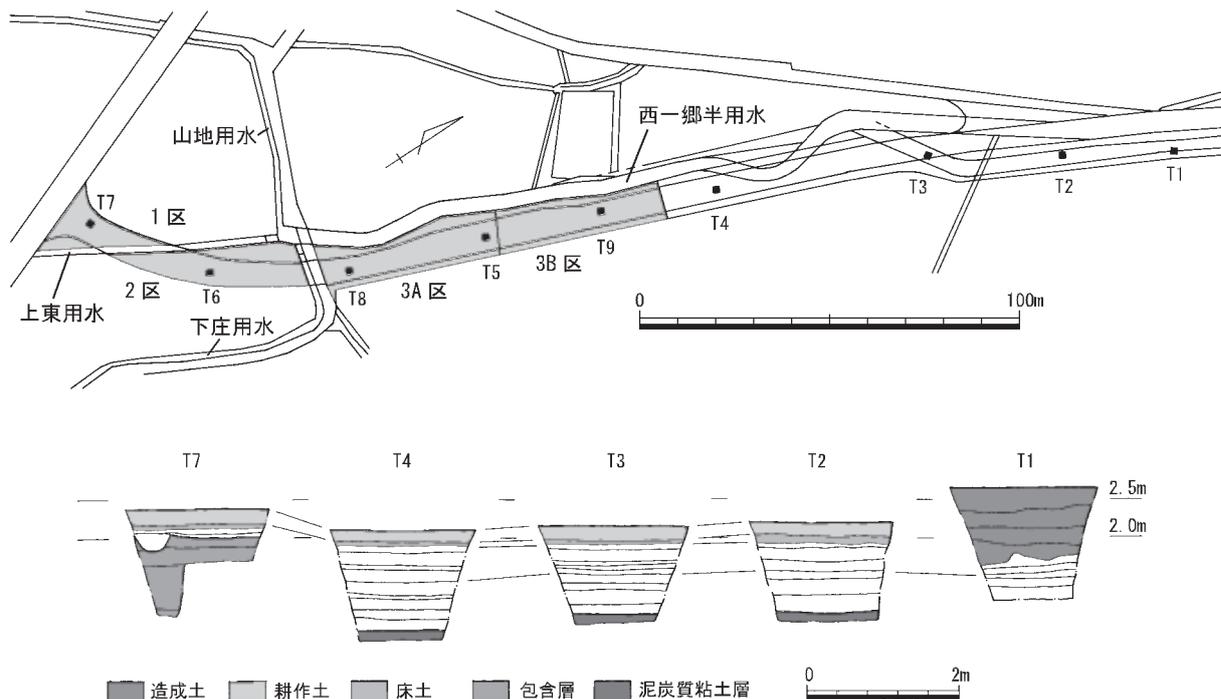
バイパス計画地周辺では、南に上東遺跡・岩倉遺跡の所在が知られているが、その北側の王墓山との間に河道が想定され、現在も、十二箇郷用水から足守川右岸に引かれた西一郷半用水が、上東用水・下庄用水へと分岐する地点に当たる。

現地踏査では遺物が採集され、西端部では王墓山から下る丘陵端部の所在も想定されたため、岡山県教育委員会は、試掘調査を実施し、その成果によって取扱いを協議することとした。

試掘調査は、平成19年4・5月と11月に、2×2mのトレンチを9か所に設定して実施した。東寄りのT1からT4までの低位部では、最下層に植物遺体を含む泥炭質の粘土層を確認し、それより上層では平安時代後期以降の遺物が少量出土するに留まった。この区間では溝等の遺構も確認されず、湿地を水田化した地域と判断された。逆に、西端のT7では、室町時代の遺物包含層が厚さ40cmにわたって存在し、土壇や柱穴も確認されて、集落の一部と理解された。出土遺物には縄文土器、弥生



第1図 調査区位置図 (1/10,000)



第2図 トレンチ位置および調査区設定図・トレンチ柱状図 (1/2,000・1/100)

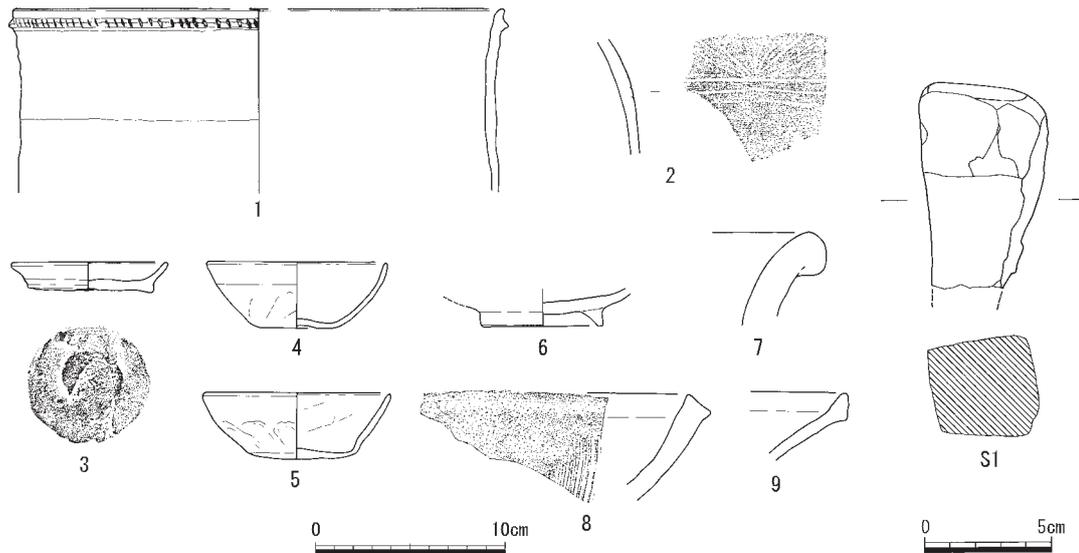
土器、石器なども含まれる。T5からT9については、いずれも中世遺物の包含層が確認されたが、T7よりは希薄であり、集落の縁辺部に位置するものと認識された。この区間は、南側の水田よりは10cmほど高くなっているが、包含層より下層の土質は、T7より沖積地の堆積に近いものであった。

以上の試掘調査成果により、備中県民局が、文化財保護法に基づく手続きを行い、県教育委員会がT9からT7までの区間について、発掘調査を実施するよう勧告した。(光永真一)

第2節 発掘調査の経過

平成20年度

平成20年10月から調査員2名により、平成19年度の試掘調査で推定した遺跡範囲のうち路線地について発掘調査を実施した。調査区の西端部を1区、上東用水を挟んで1区の東側を2区、下庄用水を挟んで2区の北東側を3区とし、1・2区から調査に着手した。まず、重機で表土および造成土を除去して、それから遺構の検出、調査を行った。1・2区の調査が終盤にさしかかった12月16日には航空写真の撮影を実施した。また、3区の表土掘削も12月には着手しており、調査の進展に備えた。1・2区の調査終了後、平成21年1月から3区の調査に着手したが、排土置き場の関係上、南西側を3A区、北東側を3B区として、3A区から調査に取りかかった。まず、重機により表土および造成土を除去して、遺構の検出を行い、調査を進めた。なお、3A区の調査では3B区を排土置き場としている。3A区の調査終了後、排土を3A区に戻して3B区の排土置き場とした。3B区の調査もまず重機で表土および造成土を除去してから遺構の検出を行い、さらに遺構の掘り下げ、記録化を進めた。そして、2月27日に調査を終了した。(上梓 武)



第3図 試掘調査出土遺物 (1/3・1/4)

文化財保護法に基づく提出書類一覧

埋蔵文化財試掘調査の報告

| 文書番号 日付 | 周知・ 周知外 | 種類および名称 | 所在地 | 面積 (㎡) | 原因 | 包蔵地 の有無 | 報告者 | 担当者 | 期間 |
|--------------------------|------------|---------------|--------------------------------|-----------|----|------------|--------------------------|----------------------|----------------------------------|
| 岡吉調 第93号 H19.12.27 | 未周知 | 集落跡 上東中嶋遺跡 | 倉敷市H畑字一ノ樋216-1、 上東字中嶋38-1ほか | 36 | 道路 | 有 | 岡山県古代吉備 文化財センター 所長 | 岡本寛久 氏平昭則 田中政之 | H19.4.23～5.15 H19.11.12～11.15 |

埋蔵文化財発掘の通知 (法第94条)

| 文書番号 日付 | 遺跡の種類及び名称 | 所在地 | 面積 (㎡) | 目的 | 通知者 | 期間 | 主な勧告事項 |
|--------------------------|-------------------------|--|-----------|----|-----------|-----------------------|--------|
| 教文理 第785号 H20.9.19 | 集落跡・生産遺跡 (水田) 上東中嶋遺跡 | 倉敷市上東37-2、38-4、 口畑214-2、215-2、216-2 | 1,628 | 道路 | 岡山県備中県民局長 | H20.10.上旬～ H24.3.末 | 発掘調査 |

埋蔵文化財発掘調査の報告 (法第99条)

| 文書番号 日付 | 種類及び名称 | 所在地 | 面積 (㎡) | 原因 | 報告者 | 担当者 | 期間 |
|---------------------------|---------------|-------------|-----------|----|--------------------------|--------------|-----------------------|
| 岡吉調 第2006号 H20.10.1 | 集落跡 上東中嶋遺跡 | 倉敷市上東38-1ほか | 1,400 | 道路 | 岡山県古代吉備 文化財センター 所長 | 柴田英樹 上榎 武 | H20.10.1～ H21.3.31 |

埋蔵文化財発見通知 (法第100条)

| 文書番号 日付 | 物件名 | 出土地 | 出土年月日 | 発見者 | 土地保有者 | 現保管場所 |
|----------------------------|--|------------------------------|-------------------------|-----------------------|---------------|--------------------|
| 教文理 第226号 H19.5.16 | 縄文土器・弥生土器・土師器・ 須恵器・亀山焼・陶磁器・備 前焼・砥石 整理箱1箱 | 倉敷市上東字中嶋38-1 ほか 名称未定 | H19.4.23～ H19.5.15 | 岡山県教育委員会 教育長 門野八洲雄 | 岡山県知事 石井正弘 | 岡山県古代吉備 文化財センター |
| 教文理 第1034号 H19.11.15 | 土師器・須恵器・陶磁器 整理箱1箱 | 倉敷市日畑字一ノ樋216- 1ほか 名称未定 | H19.11.12～ H19.11.15 | 岡山県教育委員会 教育長 門野八洲雄 | 岡山県知事 石井正弘 | 岡山県古代吉備 文化財センター |
| 教文理 第1352号 H21.2.26 | 土器・陶磁器・石製品・土製品・ 金属製品・木製品など 整理箱57箱 | 倉敷市上東38-1ほか 上東中嶋遺跡 | H20.10.1～ H21.2.26 | 岡山県教育委員会 教育長 門野八洲雄 | 岡山県知事 石井正弘 | 岡山県古代吉備 文化財センター |

第3節 報告書作成の経過

平成20年度

調査終了後の3月に調査担当者2名で報告書作成のための整理作業を実施した。整理作業は3月1～19日までを現場事務所、20日以降を岡山県古代吉備文化財センターで実施した。作業内容は出土遺物の洗浄と注記作業、遺物台帳の作成、遺構図面や写真の整理である。(上榎)

平成21年度

平成21年7月から発掘調査担当者1名が岡山県古代吉備文化財センターにおいて報告書作成のための整理作業を実施した。出土遺物の洗浄および注記は現場事務所で行っていたが、一部はセンターでも実施した。その後、土器の復元、実測、写真撮影を行った。土器の復元は抽出、選定して行った。遺物の実測作業は、調査員の指示のもと、整理作業員が主に行ったが、一部については調査員が行い、浄書はすべて調査員が実施した。遺物のうちサヌカイト製石器の製作技法について広島大学の竹広文明氏から教示を得、石器について岡山大学の鈴木茂之氏に石材鑑定を、動物遺存体について岡山理科大学の富岡直人氏に獣種、部位などの同定を依頼して実施した。また、遺構の図面整理と下図の作成及び浄書は調査員が行った。遺構、遺物の説明は、発掘担当者が執筆した。(上椿)

発掘調査および報告書作成の体制

| | | | |
|-----------------|----------------|---------------------|-------------|
| 平成19年度 | | 主 事 | 平井 利尚 |
| 岡山県教育委員会 | | 岡山県古代吉備文化財センター | |
| 教育長 | 門野八洲雄 | 所 長 | 藤川 洋二 |
| 岡山県教育庁 | | 次 長 (総務課長) | 小林 勝 |
| 教育次長 | 神田 益穂 | 参 事 | 岡田 博 |
| 文化財課 | | (総務課) | |
| 課 長 | 藤井 守雄 | 総括副参事 (総務班長) | 若林 一憲 |
| 参 事 | 田村 啓介 | 主 任 | 福池 光修 |
| 参 事 | 木山 潤郎 | 主 任 | 中島 忍 |
| 総括副参事 (埋蔵文化財班長) | 光永 真一 | (調査第三課) | |
| 主 任 | 小嶋 善邦 | 課 長 | 江見 正己 |
| 主 事 | 金出地敬一 | 総括主幹 (第二班長) | 亀山 行雄 |
| 岡山県古代吉備文化財センター | | 主 幹 柴田 英樹 (調査・整理担当) | |
| 所 長 | 高畑 知功 | 主 任 上椿 武 (調査・整理担当) | |
| 次 長 (総務課長) | 小林 勝 | 平成21年度 | |
| 参 事 | 岡田 博 | 岡山県教育委員会 | |
| 副参事 | 中島 謙次 | 教育長 | 門野八洲雄 |
| (総務課) | | 岡山県教育庁 | |
| 総括副参事 (総務班長) | 若林 一憲 | 教育次長 | 増本 好孝 |
| 主 任 | 福池 光修 | 文化財課 | |
| (調査第一課) | | 課 長 | 三村 修 |
| 課 長 | 中野 雅美 | 参 事 | 田村 啓介 |
| 総括副参事 (第二班長) | | 総括副参事 (埋蔵文化財班長) | 光永 真一 |
| | 岡本 寛久 (試掘調査担当) | 主 任 | 米田 克彦 |
| 主 任 | 氏平 昭則 (試掘調査担当) | 主 任 | 平井 利尚 |
| 主 事 | 田中 政之 (試掘調査担当) | 岡山県古代吉備文化財センター | |
| 平成20年度 | | 所 長 | 児仁井克一 |
| 岡山県教育委員会 | | 次 長 (総務課長) | 小林 勝 |
| 教育長 | 門野八洲雄 | 参 事 | 中野 雅美 |
| 岡山県教育庁 | | (総務課) | |
| 教育次長 | 神田 益穂 | 総括副参事 (総務班長) | 上田 利弘 |
| 文化財課 | | 主 任 | 中島 忍 |
| 課 長 | 藤井 守雄 | (調査第三課) | |
| 参 事 | 田村 啓介 | 課 長 | 宇垣 匡雅 |
| 参 事 | 木山 潤郎 | 総括主幹 (第二班長) | 大橋 雅也 |
| 総括副参事 (埋蔵文化財班長) | 光永 真一 | 主 任 | 上椿 武 (整理担当) |
| 主 任 | 小嶋 善邦 | | |

調査・報告書作成協力者 幸泉満夫・白石 純・乗岡 実・平井泰男・山田哲也・山本悦世

第2章 地理的・歴史的環境

上東中嶋遺跡は、足守川下流域の岡山県倉敷市上東に所在する。吉備高原の高陣山に源を発する足守川は、笹ヶ瀬川と合流しながら瀬戸内海へ注ぐ10数kmの間に肥沃な沖積平野を形成している。さらに、その支流である砂川、血吸川などの小規模河川が吉備高原の南端に開放する谷間から流れ出ており、沖積平野の形成を促進した。上東中嶋遺跡は足守川西岸の王墓山山塊の南側、足守川をはじめとする河川の沖積作用によって形成された自然堤防上および縁辺部に立地する。

足守川下流域における遺跡は、古くは旧石器時代まで遡る。矢部堀越遺跡では角錐状石器などが、雲山遺跡や甫崎天神山遺跡ではナイフ形石器が、杉尾西遺跡ではナイフ形石器や角錐状石器が出土している。また、上東遺跡では横長剥片を剥ぎ取ったと考えられるサヌカイト製の石核が出土した。

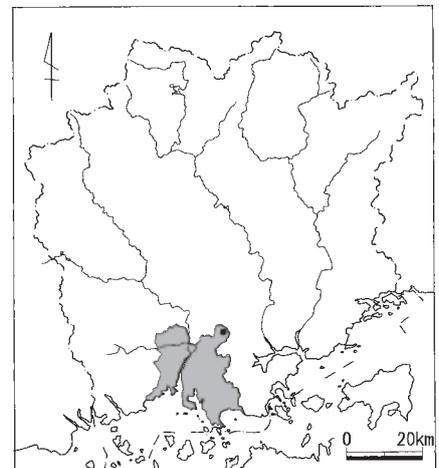
縄文時代では、二子御堂奥遺跡、伊能軒遺跡出土の有茎尖頭器が草創期に位置付けられ、当該期からの活動痕跡を示す。早期から前期にかけては縄文海進により現代平野部の奥深くまで海水面が上昇し、縄文時代後期には旧足守川の河口部が深い入江を形成したと復元されている。遺跡としては、矢部奥田遺跡などから押型文土器が出土しているが、遺構は見つかっておらず、生活の様子は明瞭とは言い難い。定住の形跡が明らかになるのは中期後半以降で、山麓緩斜面に形成された矢部貝塚（中期後半～後期前半）、甫崎天神山遺跡（後期後半～晩期前半）、西尾貝塚（後期）などが証拠付ける。また、吉野口遺跡では竪穴住居3軒、炬状遺構3基などからなる晩期中葉の集落が確認された。

弥生時代には、沖積平野の微高地に集落が形成され始める。前期集落は不明瞭であるが、遺物が出土した遺跡として上東遺跡、岩倉遺跡、新邸遺跡、津寺遺跡、川入遺跡などがある。本格的な集落形成は中期以降で、上東遺跡、津寺遺跡、加茂政所遺跡、津寺三本木遺跡、足守川加茂B遺跡、足守川矢部南向遺跡などで確認された。中期末には、矢部奥田遺跡、矢部堀越遺跡、前池内遺跡のように丘陵上や丘陵裾部にも小規模集落が見出せるようになった。

遺跡数が飛躍的に増大するのは弥生時代後期以降で、集落規模も大型化する。また、この段階には墳丘墓が形成されるようになった。平野部の集落としては足守川加茂A・B遺跡や津寺遺跡、加茂政所遺跡、高塚遺跡などで拠点的な集落が形成される。高塚遺跡では銅鐸や貨泉が、加茂政所遺跡では銅釧が、矢部南向遺跡では小銅鐸や銅鏡などの青銅器が認められ、津寺一軒屋遺跡では鑿切り技法による鉄器製作の痕跡が認められた。

足守川右岸丘陵には楯築墳丘墓や鯉喰神社墳丘墓、女男岩墳丘墓、雲山鳥打墳丘墓群、足守川左岸の吉備中山には矢藤治山墳丘墓など、平野を取り巻く丘陵上に墳丘墓が築かれた。これらの墳丘墓からは特殊器台、特殊壺が確認され、さらに楯築墳丘墓と鯉喰神社墳丘墓では弧帯石も見つかっている。

弥生時代後期の拠点的な大規模集落は古墳時代前期にも継続する。津寺遺跡ではさらに集落が拡大し、250軒を越える竪穴住居が確認された。出土遺物量も増加し、特に非在地系土器や



第4図 遺跡位置図 (1/200,000)



- 1 上東中嶋遺跡 2 上東遺跡 3 岩倉遺跡 4 才楽遺跡 5 庄城跡 6 荒神古墳 7 西尾貝塚 8 中撫川遺跡
 9 川入遺跡 10 掛無堂遺跡 11 仏生田遺跡 12 カキナシ堂遺跡 13 郷ノ溝遺跡 14 新邸遺跡 15 日畑橋遺跡
 16 日畑廃寺 17 日畑城跡 18 王墓山古墳群 19 桶築弥生墳丘墓 20 平松城跡 21 庭瀬川崎遺跡 22 撫川城・庭瀬城跡
 23 御堂奥遺跡 24 二子御堂奥古窯跡群 25 若宮神社東遺跡 26 伊能軒遺跡 27 琵琶池上古墳 28 矢部寺田遺跡
 29 矢部遺跡 30 矢部大坑遺跡 31 矢部奥田遺跡 32 矢部堀越遺跡 33 加茂A・B遺跡・矢部南向遺跡 34 惣爪廃寺・塔跡
 35 散布地 36 高田遺跡 37 散布地 38 伝賀陽氏館跡 39 東山遺跡ほか 40 吉野口遺跡ほか
 41 吉備津奥田遺跡 42 加茂城跡 43 幸利神社遺跡 44 津寺遺跡 45 杉尾古墳群 46 真城寺裏山古墳
 47 鼓山古墳群・鼓山城跡 48 高松原古才遺跡・立田遺跡 49 津寺三本木遺跡・津寺一軒屋遺跡・加茂政所遺跡 50 甫崎天神山遺跡
 51 甫崎天神山城跡 52 雲山烏打墳墓群 53 向場古墳群 54 黒住山古墳群 55 江田古墳群

第5図 周辺遺跡分布図 (1/25,000)

豊富な鉄器の出土から他地域との交流拠点としての性格が窺える。ただ、当地域の集落は、弥生時代後期以降古墳時代前期前半まで拡大傾向にあるが、前期後半には縮小、廃絶する。足守川遺跡群では古墳時代前期前半の集落が厚い洪水層に覆われ、一帯への大規模な水害の様子を示す。足守川右岸域の前期古墳としては矢部大坑古墳が確認でき、日差山の丘陵北東部の矢部古墳群では特殊器台形埴輪が出土し、弥生墳丘墓からの継続が認められた。

津寺遺跡では古墳時代中期に集落規模が著しく縮小したが、高塚遺跡の集落はこの段階に拡大した。高塚遺跡では韓式系土器や初期須恵器、朝鮮半島系の特徴を持つ鉄鎌の出土から渡来人との関わりが推測され、集落規模拡大との関係が示唆される。中撫川遺跡でも大溝から陶質土器が出土している。中期古墳では、王墓山丘陵の法伝山古墳や西の平古墳などがある。

古墳時代後期には王墓山丘陵に群集墳が展開する。特に王墓山古墳は貝殻石灰岩を石材とした家形石棺が出土し、また四仏四獣鏡、金銅装馬具が副葬されるなど突出した内容を示す。群集墳は日差山にも築造され、7世紀前半には二段築成の方墳である二子14号墳が築造された。集落では、津寺遺跡や足守川遺跡群で規模の拡大が、高塚遺跡で縮小が確認された。津寺遺跡では鍛冶関連の遺構や遺物が多く確認され、鍛冶集落として位置付けられている。7世紀後半には王墓山丘陵の東麓に日畑廃寺が築かれ、その屋根には二子御堂奥古窯群で焼成された瓦が使用された。

古代の足守川下流域は備中国東端部に位置し、都宇郡に属していた。庄地区の北端沿いに古代山陽道が通っていたと推定されているが、矢部遺跡は8世紀の山陽道駅家「津岷駅」の可能性が指摘されている。さらに津寺遺跡では掘立柱建物などが確認されて郡衙の周辺部と推定され、川入遺跡では平城宮式瓦等の出土から公的港湾施設の可能性が指摘されている。古代の一般集落の様子はあまり解明されていないが、吉野口遺跡、足守川矢部南向遺跡、東山遺跡などで掘立柱建物が認められ、集落の一端を示すものと考えられる。

中世には高塚遺跡や津寺遺跡、三手遺跡、足守川矢部南向遺跡、吉野口遺跡などで集落跡が確認されている。津寺遺跡や三手遺跡では周囲を溝で区画された掘立柱建物群が認められた。また、津寺遺跡では鍛冶具一式を副葬した土壇墓も見つかっている。さらに早島では貝塚が多く見られ、「早島式土器」と呼称される土師器碗も多く出土する。中世には開墾事業も活発化し、総社市井尻野の湛井堰に端を発する湛井十二箇郷用水が整備され、周辺平野の農地化が促進された。さらに、海水の流入を防ぐ宇喜多堤が築かれて陸地化が進行し、農地の拡大へと繋がった。 (上村)

主要参考文献

- ・岡山県『岡山県史』第1巻(自然風土)1983、第18巻(考古資料)1986
- ・岡山県教育委員会「上東遺跡」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』2 1974、157・158 2001
- ・岡山県教育委員会「川入・上東遺跡」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』16 1977
- ・岡山県教育委員会「二子14号墳」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』81 1993
- ・岡山県教育委員会「矢部古墳群A・矢部古墳群B・矢部大坑遺跡・矢部奥田遺跡・矢部堀越遺跡」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』82 1993
- ・岡山県教育委員会「津寺遺跡1～5」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』90 1994、98 1995、104 1996、116 1997、127 1998
- ・岡山市教育委員会『吉野口遺跡』1997
- ・倉敷市教育委員会「日畑廃寺」『倉敷市埋蔵文化財発掘調査報告』11 2005
- ・小野一臣・間壁葎子・間壁忠彦「後期古墳群の概要」『倉敷考古館研究集報』第10号 倉敷考古館 1974
- ・近藤義郎編『楯築弥生墳丘墓の研究』楯築刊行会 1992

第3章 発掘調査の成果

第1節 概要

上東中嶋遺跡は、足守川下流域の岡山県倉敷市上東に位置する。遺跡は足守川西岸の王墓山山塊の南側、足守川をはじめとする河川の沖積作用により形成された自然堤防上および縁辺部に立地する。

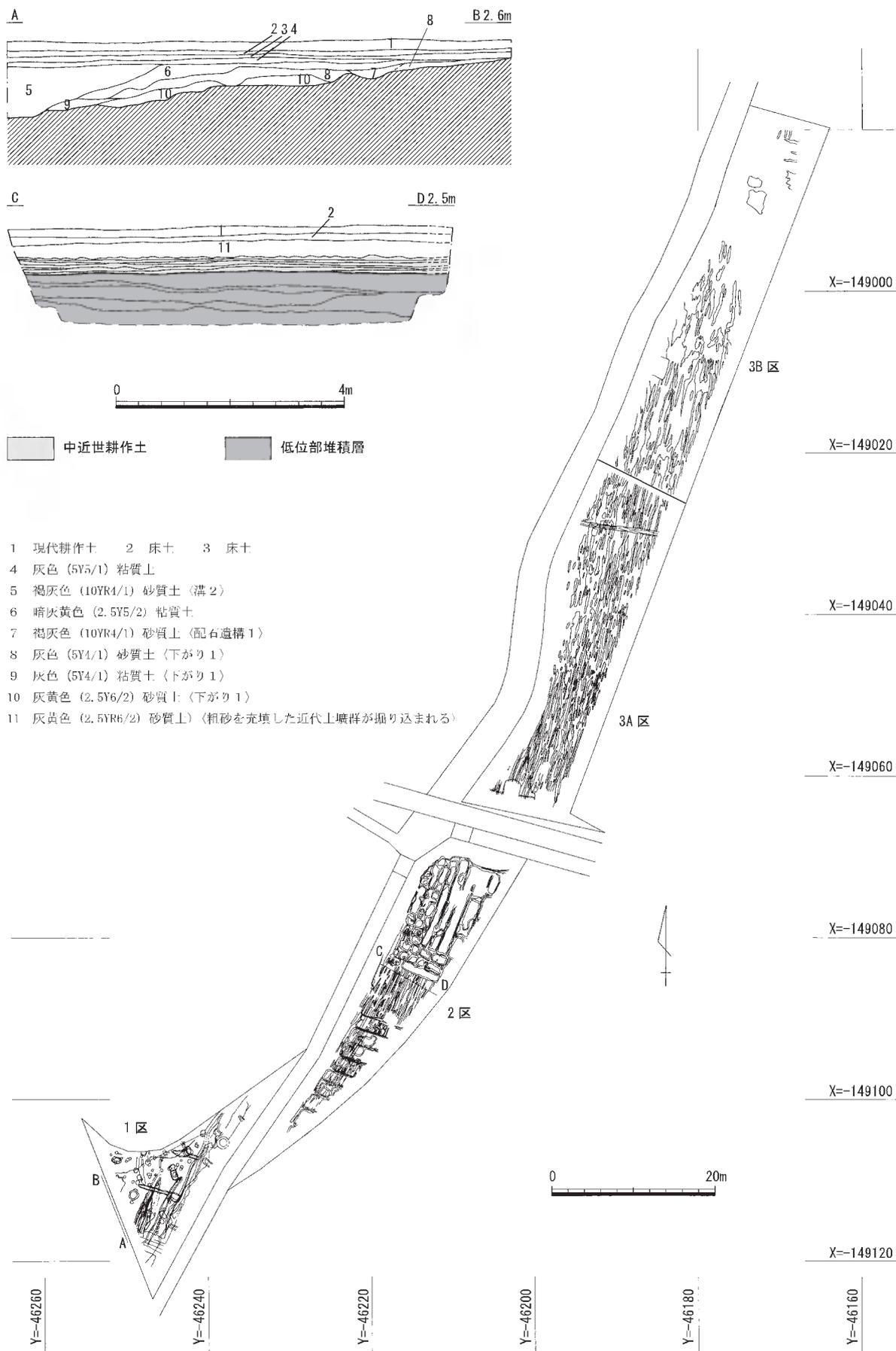
一般県道吉備津松島線の道路改築に伴い、路線地の発掘調査を実施した。路線が現代の用水路を渡るため、調査区は用水路を挟むように設定した。調査区は最西端が1区、上東用水を挟んで1区の東側が2区、下庄用水を挟んで2区の北側が3区である。3区は北側を3A区、南側を3B区とした。

1区は微高地の縁辺部にあたり、南側に緩く傾斜する状況が確認できた。遺構としては縄文時代晩期末の下がり、弥生時代後期の土器棺や土壇、中世の柱穴列、井戸、配石遺構、土壇、溝、下がりを検出した。中世の下がりや現代の上東用水に平行しており、溝の北側肩部に相当する可能性が高い。また、同様の下がりや近世段階にも掘削されており、改修を繰り返した状況が窺えた。下がりに平行するように溝2条も掘削されていた。下がりが埋没した後には上東用水に直行する方向の溝が3条掘られ、さらに野壺と考えられる土壇も掘られていた。近世以降の1区は耕作地として活用されるようになったと考える。1区から出土した遺物には、縄文土器や弥生土器、土師器、須恵器、亀山焼、備前焼、東播系須恵器、石器、剥片、土製品、金属製品がある。

他方、用水路の東側に位置する2・3区は、古代以前には低位部で中世以降に耕作地として利用されるようになり、現代に至るまでの複数の耕作面を確認した。2区の北側では現在流下している下庄用水に平行する中世溝を検出した。中・近世耕作面で検出した耕作痕は、上東用水および現代水田の畦とおおむね平行する。2区では中・近世耕作痕を切る土壇群が見つかった。土壇群は調査区の南北に分かれており、それぞれで状況が異なっていた。南側は東西方向に長い土壇9～10基が連なる。幅は1.5～2.5mで、確認できた長さは4mを越える。検出面からの深さは15cm前後と浅い。北側の土壇は南側土壇群に直行するように南北に長いものと正方形のものから構成されていた。北端は調査区内にきちんと収まることから、現在の用水路区画が成立してから後に掘削されたと考える。深さは15～30cmで、南側土壇群よりやや深い。幅は1m前後である。長さは11mにもなるが、底部には小規模な窪みが認められた。南北土壇群で共通する特徴は埋土で、いずれも粗砂が詰まっていた。同様の遺構は岡山市宮南遺跡などで見つかっている⁽¹⁾。宮南遺跡の畝状遺構3は長さ8～9m、幅60～70cm、深さ20～30cmの溝群で、内部には粗砂が充填されていた。宮南遺跡の報告書では「この遺構はおそらく、洪水後に堆積した洪水砂の下から耕作土を掘り出すとともに、洪水砂を埋め戻して片付けた跡」と記述されている。2区で見つかった土壇群に入る粗砂からは19世紀前半代の陶磁器類が多く出土しており、その時期の洪水砂の可能性が考えられる。(上椿)

参考文献

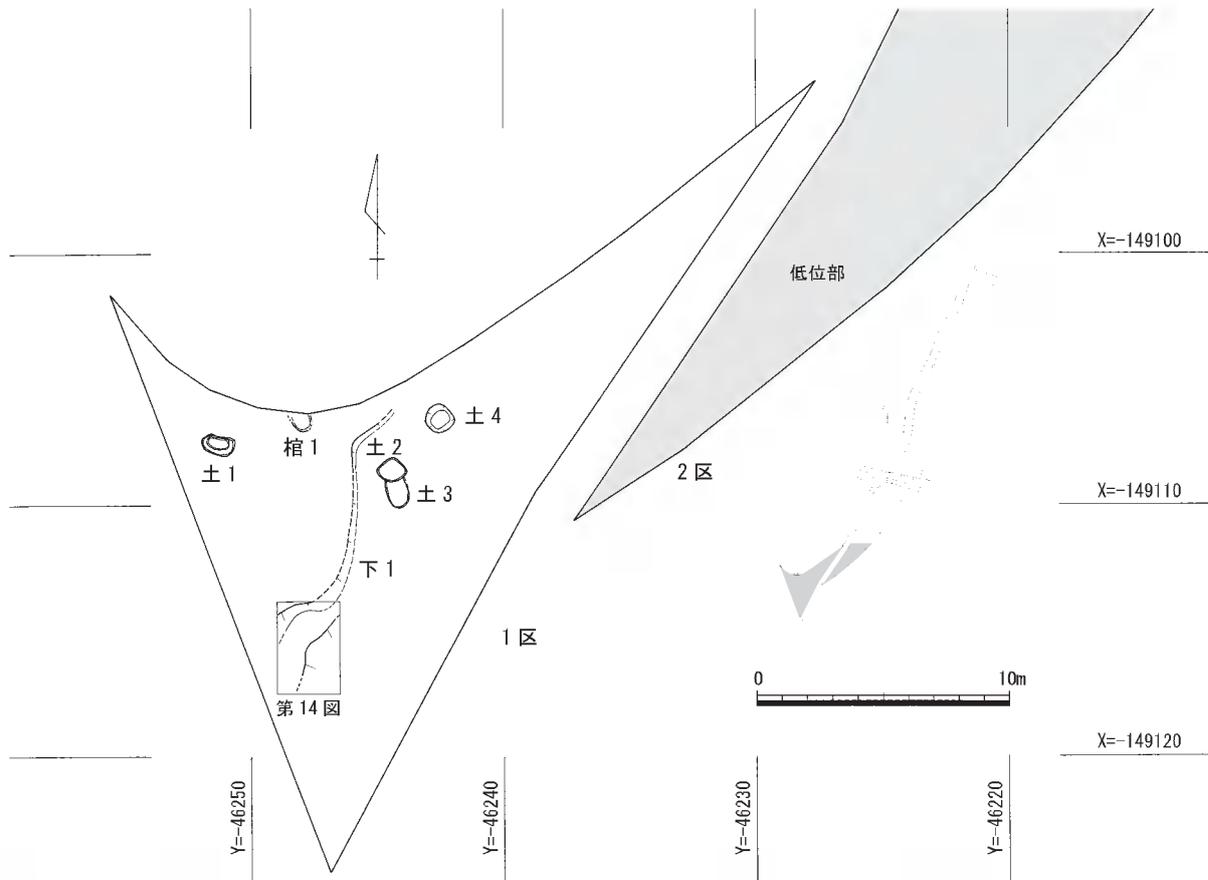
- (1) 高田恭一郎編「宮南遺跡」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』221 岡山県教育委員会 2009



第6図 遺構全体図および基本層序 (1/100・1/700)

第2節 古代以前の遺構と遺物

1区は微高地の端部にあっており、弥生時代以前の遺構はこの調査区でのみ見つかった。弥生時代後期後葉の土器棺1基、土壌1基、弥生時代の土壌3基を掲載する。土器棺1は北側1/3ほどが調査区外に続いたため完掘には至っていない。また、1区は南に緩やかに傾斜する地形であるが、その斜面堆積土中から突帯文土器やサヌカイト製の石器、剥片が多く出土しており、土器出土状況の写真と実測図を掲載した。この段階の2・3区は低位部で、遺構は全く検出できなかったが、遺物は出土している。2区で出土した遺物は弥生土器、土師器、須恵器、瓦、製錬滓などである。 (上柵)



第7図 弥生時代以前遺構配置図 (1/300)



写真1 土器棺1調査風景 (東から)



写真2 土壌1遺物出土状況 (南東から)

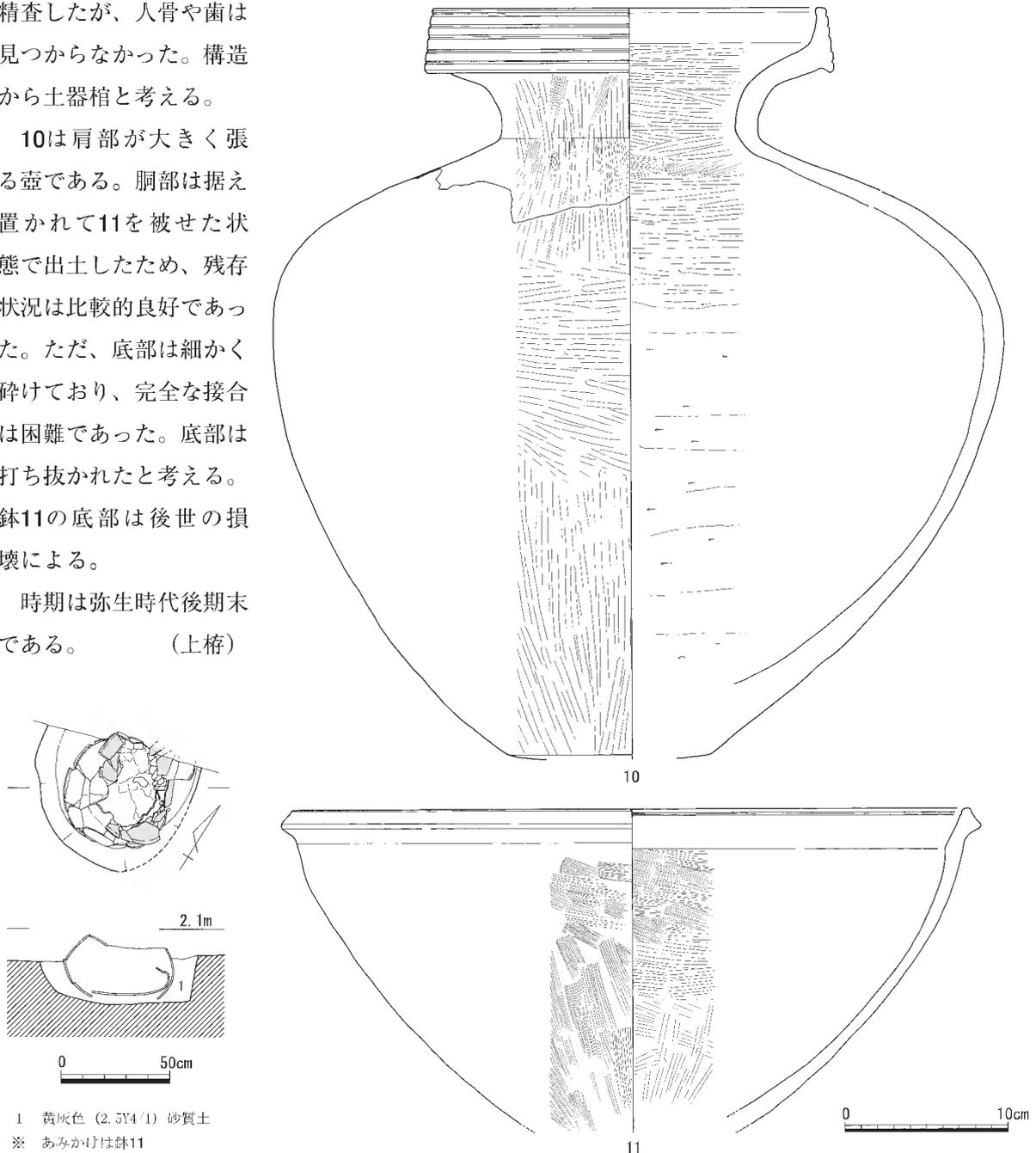
土器棺 1 (第7・8図、写真1、図版2)

1区の西側北端部に位置する。調査開始時に設定した側溝掘削中に土器片がまとまって出土したため、その地点の側溝掘削を中止し、平面検出が可能になった段階で改めて調査を続行した。その結果、楕円形土壌を検出し、土壌の内部で頸部以上を打ち欠いた壺に鉢を被せた状態を確認した。なお、土壌の北側は調査区外に延びるため調査できなかった。

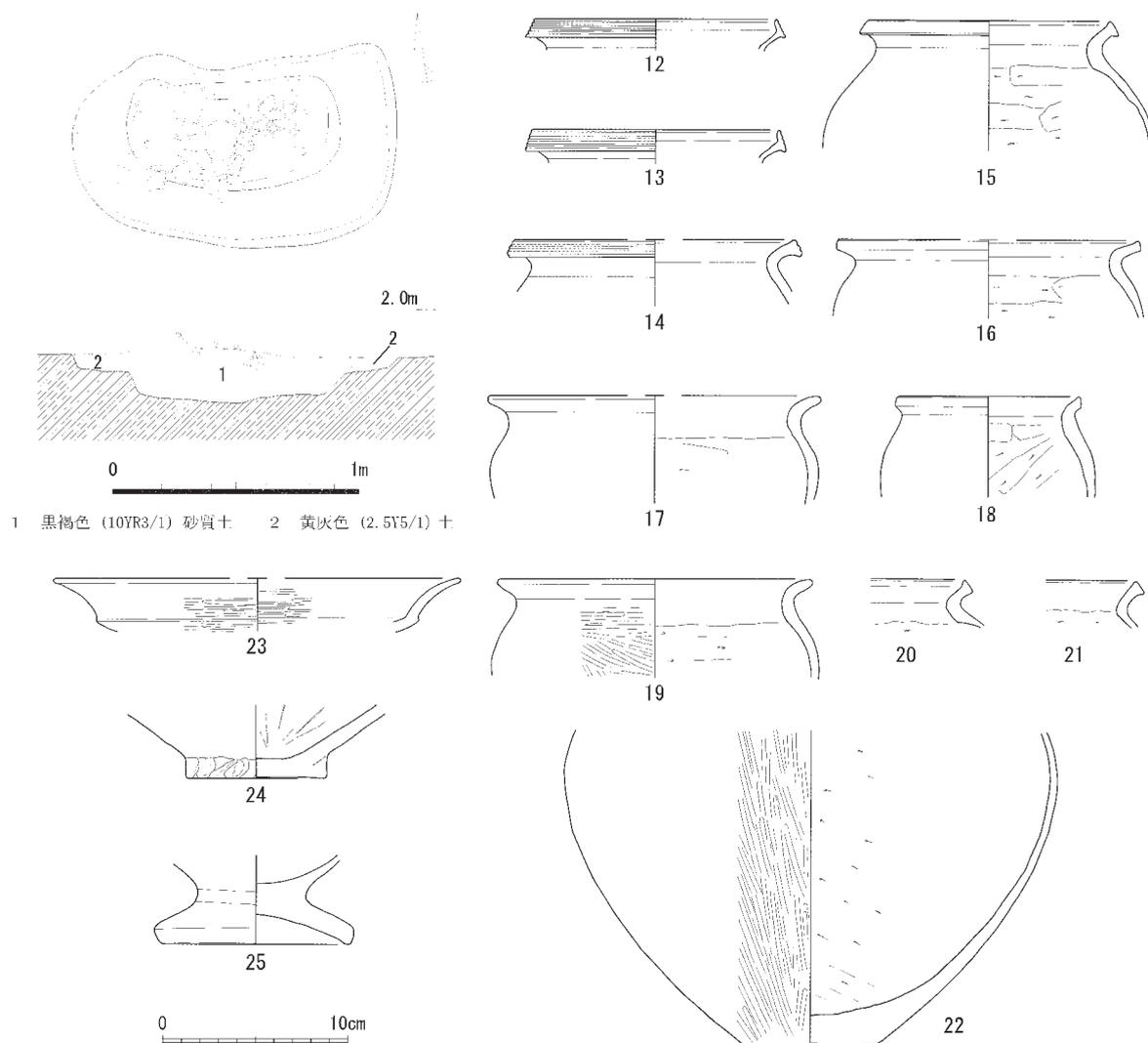
土器棺1は土壌のほぼ中央部に頸部から上を打ち欠いた壺10を据えて、鉢11を被せるように蓋をしたものである。分割した10の頸部から口縁部は土壌の東側に置かれていた。確実な接合箇所は分からなかったが、調整や胎土、焼成度合いから棺として据えられた胴部と同一個体と判断した。10内部の埋土を篩を用いて精査したが、人骨や歯は見つからなかった。構造から土器棺と考える。

10は肩部が大きく張る壺である。胴部は据え置かれて11を被せた状態で出土したため、残存状況は比較的良好であった。ただ、底部は細かく砕けており、完全な接合は困難であった。底部は打ち抜かれたと考える。鉢11の底部は後世の損壊による。

時期は弥生時代後期末である。 (上楕)



第8図 土器棺 1 (1/30)・出土遺物 (1/4)



第9図 土壌1 (1/30)・出土遺物 (1/4)

土壌1 (第7・9図、写真2、図版2)

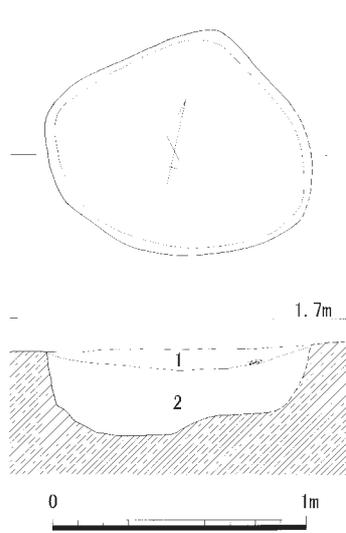
1区の北西端、土器棺1の西3mに位置する。中世柱穴の調査中に弥生土器片が多く認められたため、精査しながら掘り下げたところ弥生土器を多く含む土壌を検出した。長さ131cm、幅75cm、深さ10cmほどの土壌が埋まった後に長さ87cm、幅44cm、深さ29cmの土壌を掘り込む。弥生土器は深さ29cmの土壌がある程度埋まった段階で投棄されていた。完形品は1個体も出土しておらず、また小破片のみの個体も含まれることから、廃棄土器を一括投棄したと考える。時期は弥生時代後期後葉。(上柙)

土壌2 (第7・10図)

1区の中央付近、土器棺1の南東4mに位置する。下がり1が埋まった段階で掘り込まれた土壌である。東端は中世の柱穴により切られていた。図示し得ない弥生土器片が少量出土したことから、弥生時代の土壌と判断している。(上柙)

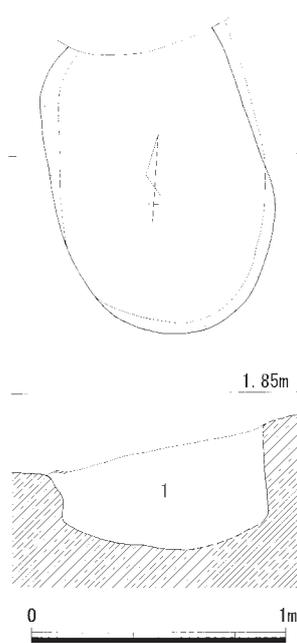
土壌3 (第7・11図)

1区の中央付近に位置し、土壌2により切られている。土壌2と同様に下がり1が埋まった段階で掘り込まれた土壌である。東壁はややオーバーハング気味に立ち上がっていた。図示し得ない弥生土器片が少量出土したことから、弥生時代の土壌と判断している。(上柙)



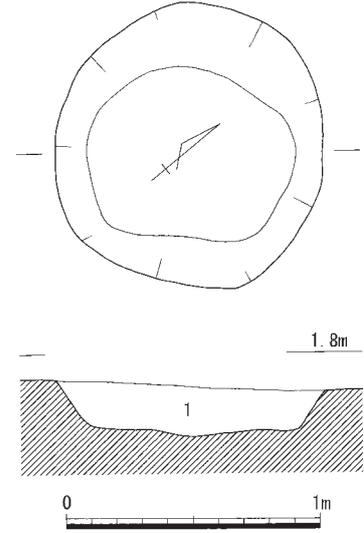
1 暗赤褐色 (7.5YR3/3) 砂質土
2 灰赤色 (7.5YR4/2) 砂質土

第10図 土壌2 (1/30)



1 黄灰色 (2.5Y4/1) 砂質土

第11図 土壌3 (1/30)



1 鉛灰色 (7.5YR4/1) 砂質土

第12図 土壌4 (1/30)

土壌4 (第7・12図)

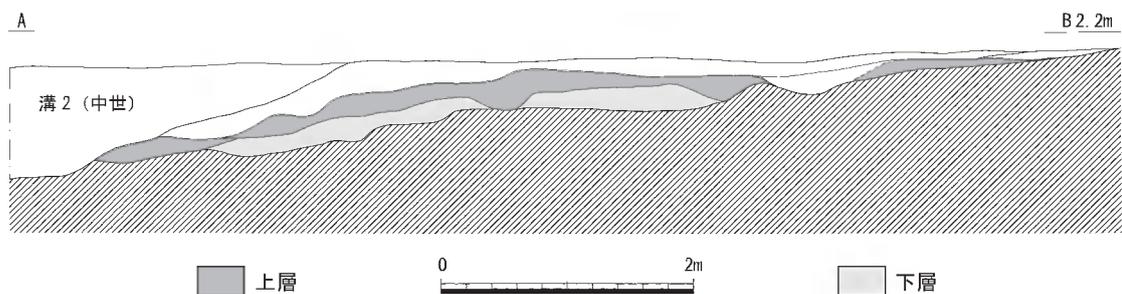
1区の中央やや北寄り、土壌2の北西3mに位置する。下がり1が埋まった段階で掘り込まれた土壌である。図示し得ない弥生土器片が少量出土したことから、弥生時代の土壌と判断した。(上楯)

下がり1 (第7・13~18図、巻頭図版2、図版1)

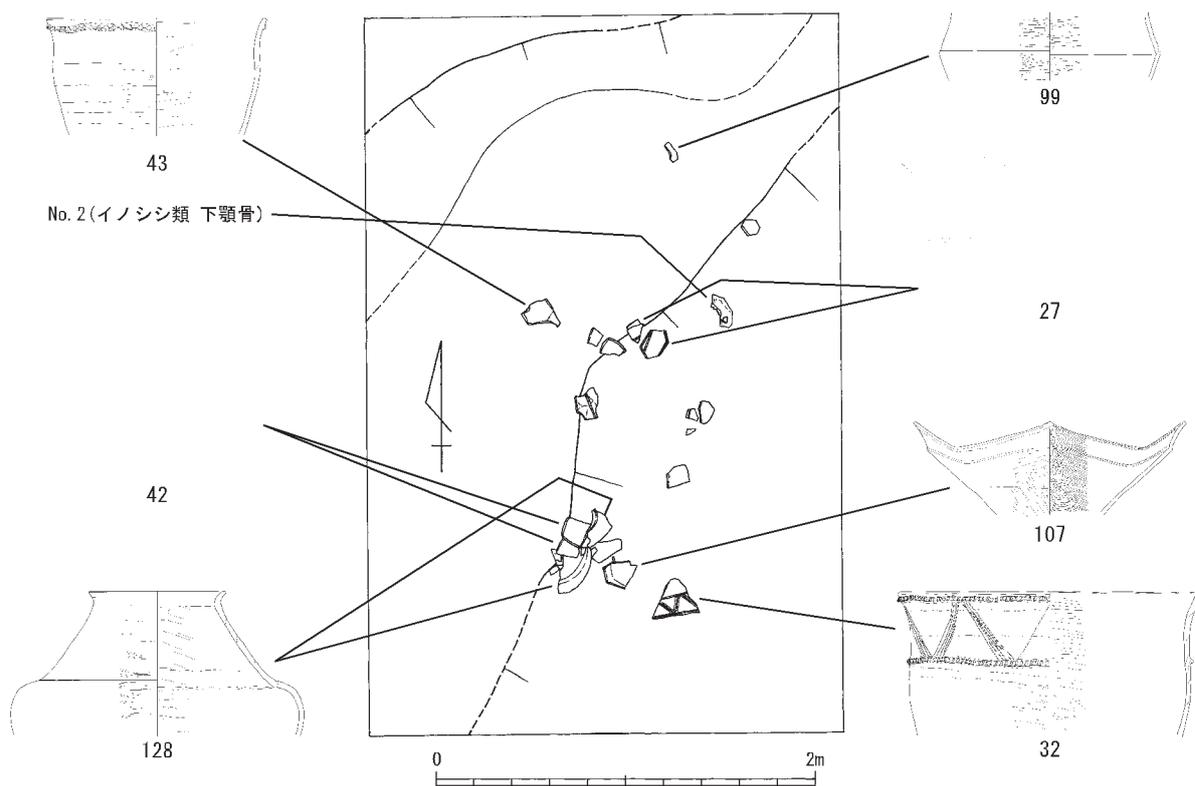
1区は東側に向かって緩やかに傾斜する地形で、複数面の斜面堆積層を確認した。ここでは縄文時代晩期の突帯文土器やサヌカイト製石器、剥片、チップなどが多く出土した堆積層を取り上げる。第14図に1区南隅における下がり1底面での土器出土状況を示した。ここでは大形の土器片が集中する状況が認められたため、出土状況を図化して写真撮影を行った。その他、遺物の大半は下がり1下層掘り下げ中に出土したもので、土器小片が多い。石器にはサヌカイト製の石鏃や楔形石器、石鏃が見られ、剥片やチップも出土している。付近での石器製作が考えられるが、具体的な場所の特定はできていない。また、イノシシ類とニホンジカの骨も出土した。イノシシ類は下顎骨を3個体分確認した。

26~106・130~137は深鉢で、107~127・138が浅鉢、128・129は壺である。

深鉢は刻目突帯文土器と胴部最大径部分の外面に沈線を巡らせる土器が確認できる。26・27・29・



第13図 下がり1断面図 (1/60)



第14図 下がり1 遺物出土状況 (1/40)

32～78は口縁部が残存した刻目突帯文深鉢で、79～97は胴部で刻目突帯文が認められた土器片である。

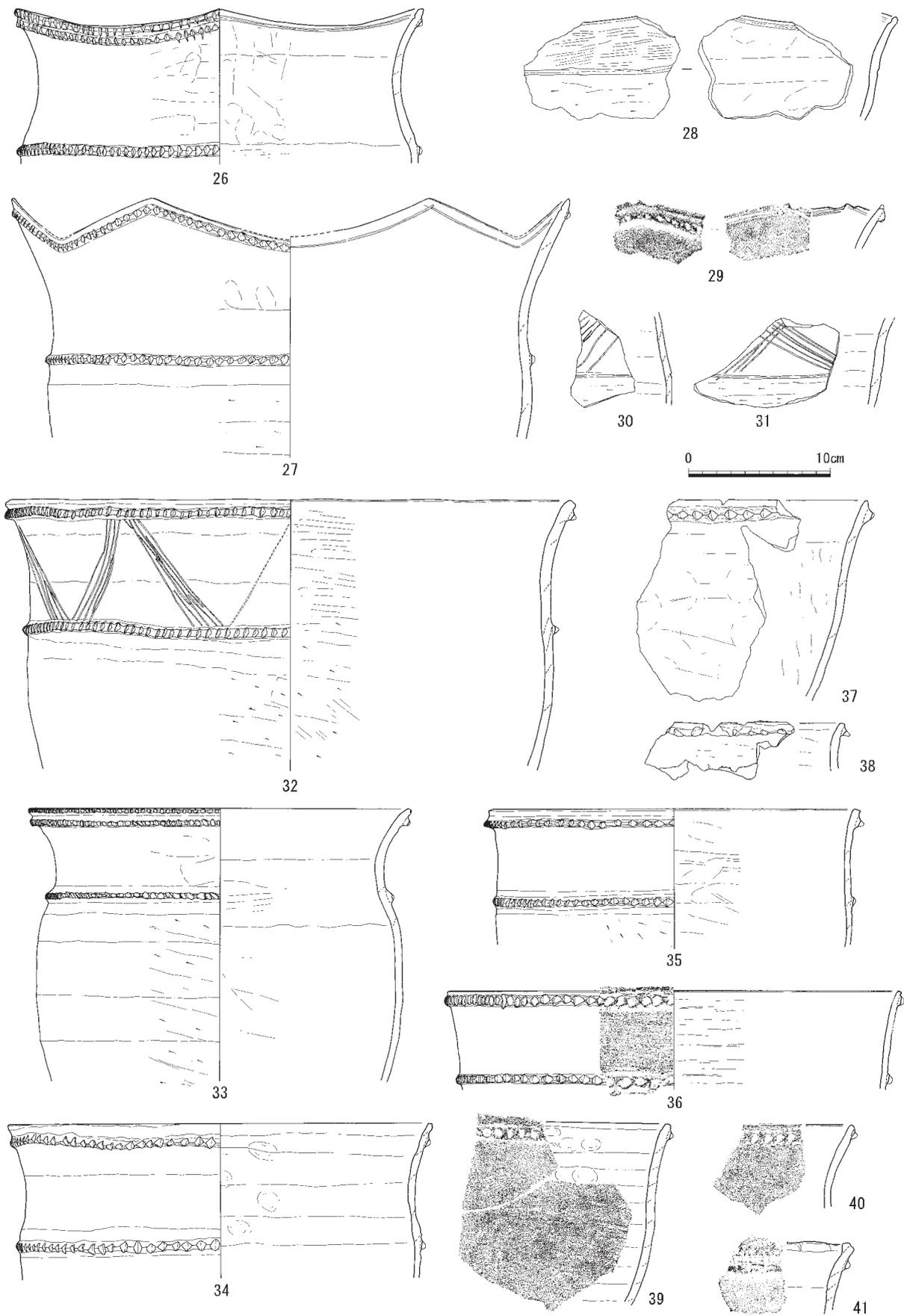
刻目突帯文深鉢は波状口縁と平口縁に大別でき、さらに口縁内面の沈線の有無で細分できる。口唇部は面を作るものと丸く収めるもの、尖らせるものがあった。口唇部を尖らせる深鉢は器壁が薄いものに多い。体部は頸部と胴部の境で屈曲するものが11点で、42のみが最大径が屈曲部にあり、その他は口縁部を最大径とする。また、胴部が砲弾形のもの6点確認できた。口径は27・32が約39cmで最大である。最小は13.7cmの50で、容量の差は用途にも関わると考える。32は頸部にヘラ描きによる山形文が認められる。30・31は小破片であるが、32と同様のヘラ描き文が確認できた。

30・31の文様直下には沈線が巡らされ、胴部と頸部を区分していた。胴部はケズリ調整である。28は波状口縁の外表面沈線文深鉢である。99では外表面に二条沈線が確認できた。沈線の中にはベンガラが塗布される。106は器壁が薄く、小型の突帯文深鉢50と類似の小型深鉢と考える。調整は外表面にケズリを行うものと内外面ともに丁寧なナデ仕上げを施すものが認められた。

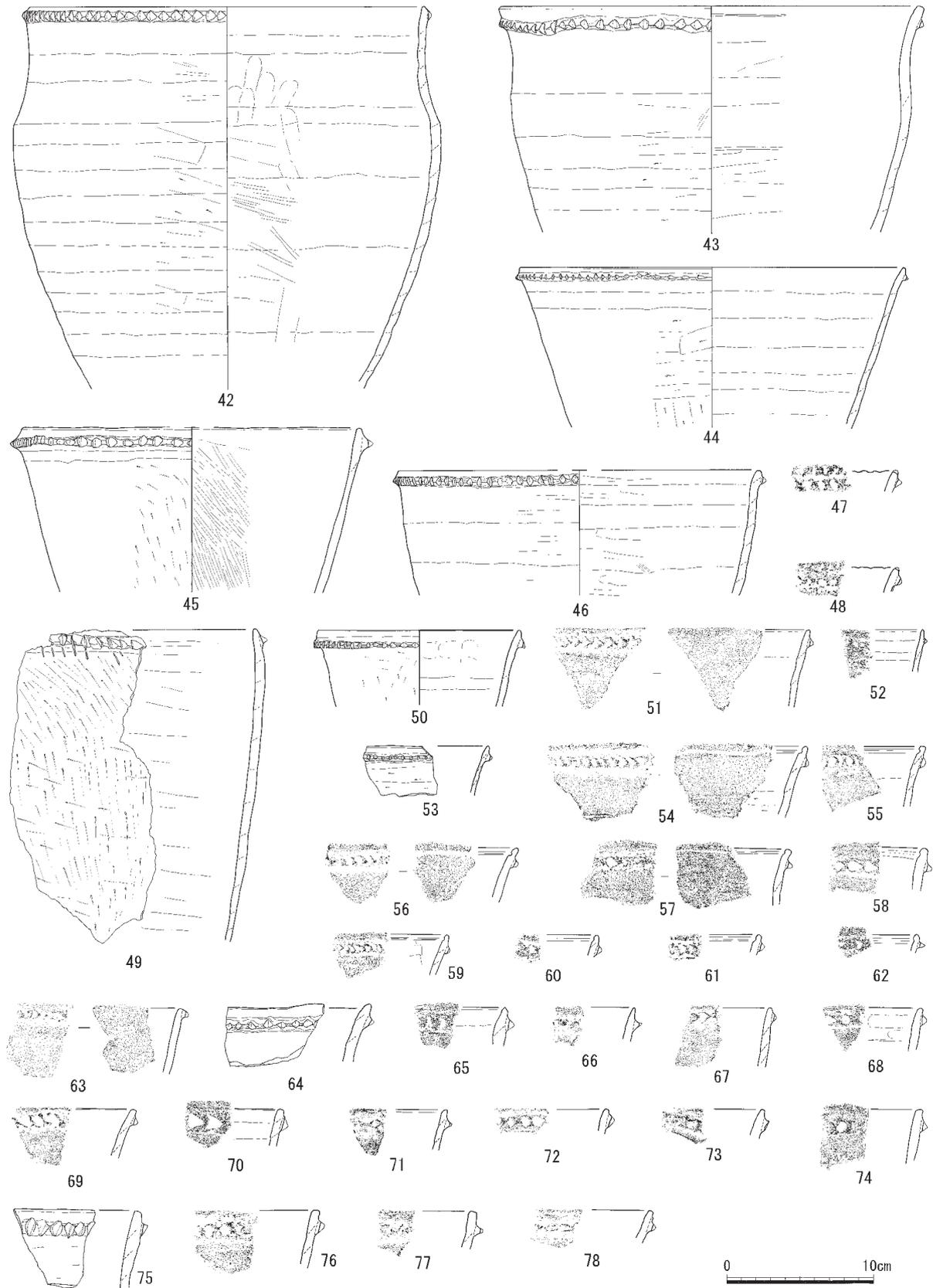
107～127は浅鉢。107は波状口縁方形浅鉢で、外表面には長楕円形状の黒色と灰黄色の黒斑が認められた。黒斑は意図的に付けられた文様で、岡山県総社市窪木遺跡で出土した鉢106に類似文様がある。109～111は鍵状口縁浅鉢である。109・111は内面の沈線内にベンガラを塗布する。112～122は椀状の浅鉢である。113は口縁部の一部を指で押さえることで突起状の表現を作り出す。123～126は外反する口縁を持つ。127は内傾の頸部に直立する短い口縁を取り付ける浅鉢である。

128・129は壺。129は下がり1の底面で出土し、刻目突帯文深鉢42が上に被さるような状況で出土した。いずれも内傾接合で、内外面ともに調整は粗いナデである。頸部と胴部の境に沈線が巡る。

下がり1の遺物は斜面堆積土中から出土したため一括性に問題があるが、既往の研究成果と照合するとおおむね一型式に収まるようで、使用、廃棄がほぼ同じ段階に行われた可能性を考えたい。

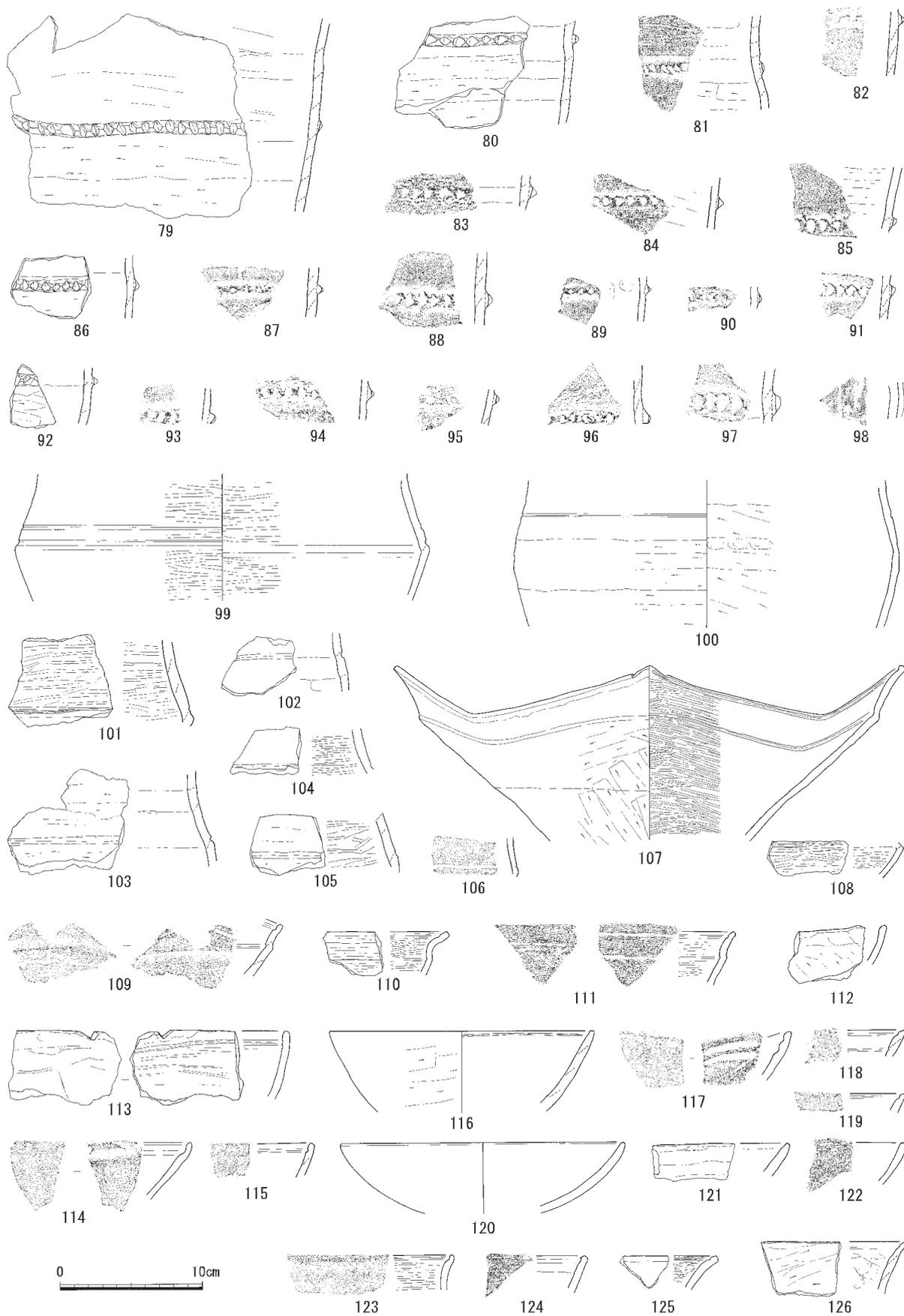


第15図 下がり1出土遺物① (1/4)

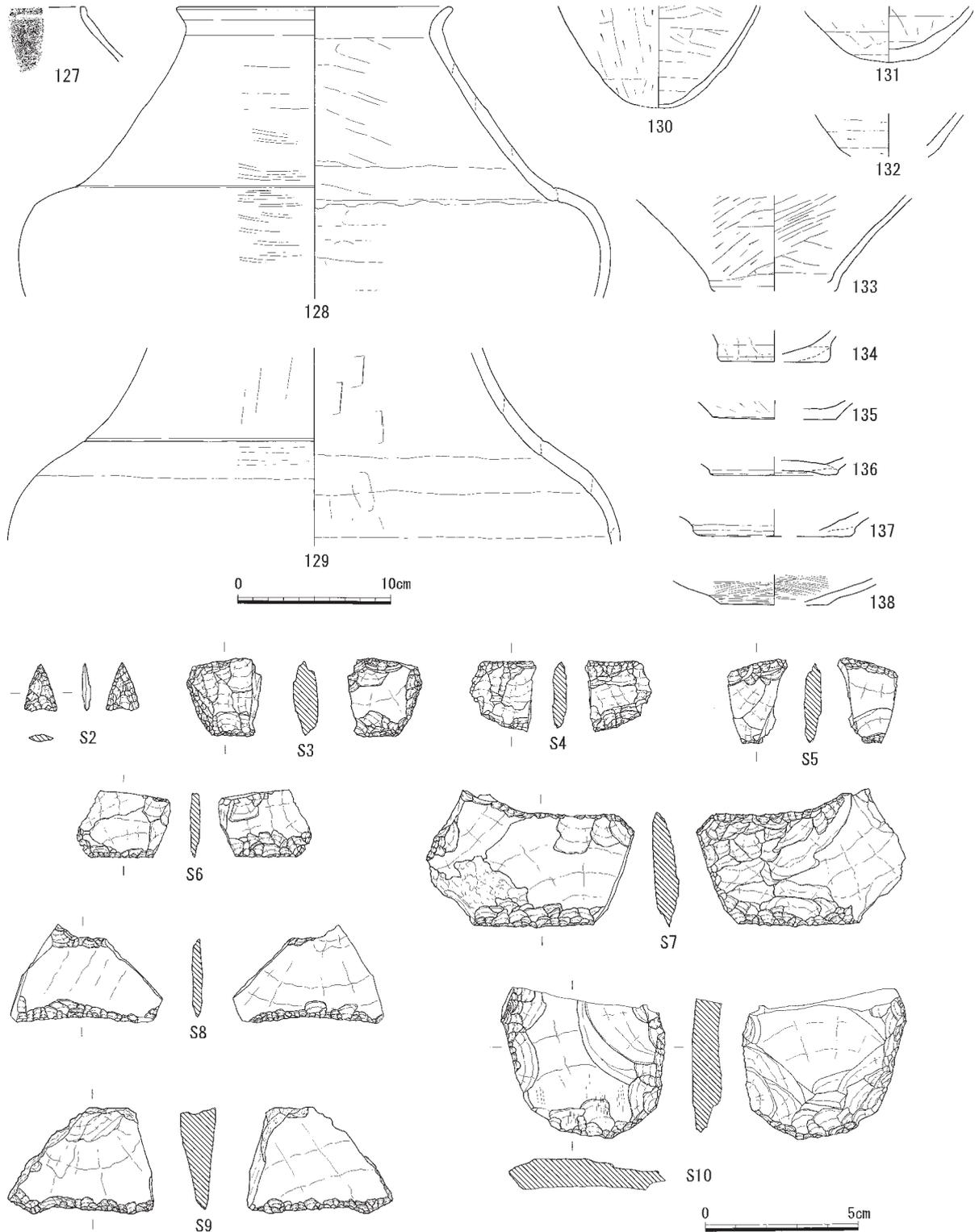


第16図 下がり1出土遺物② (1/4)

なお、包含層出土遺物のうち縄文時代遺物は下がり1の堆積土に含まれていた可能性が高いが、下がり1を明確に認識する以前に取り上げた遺物については包含層出土遺物として次項で扱う。(上柙)



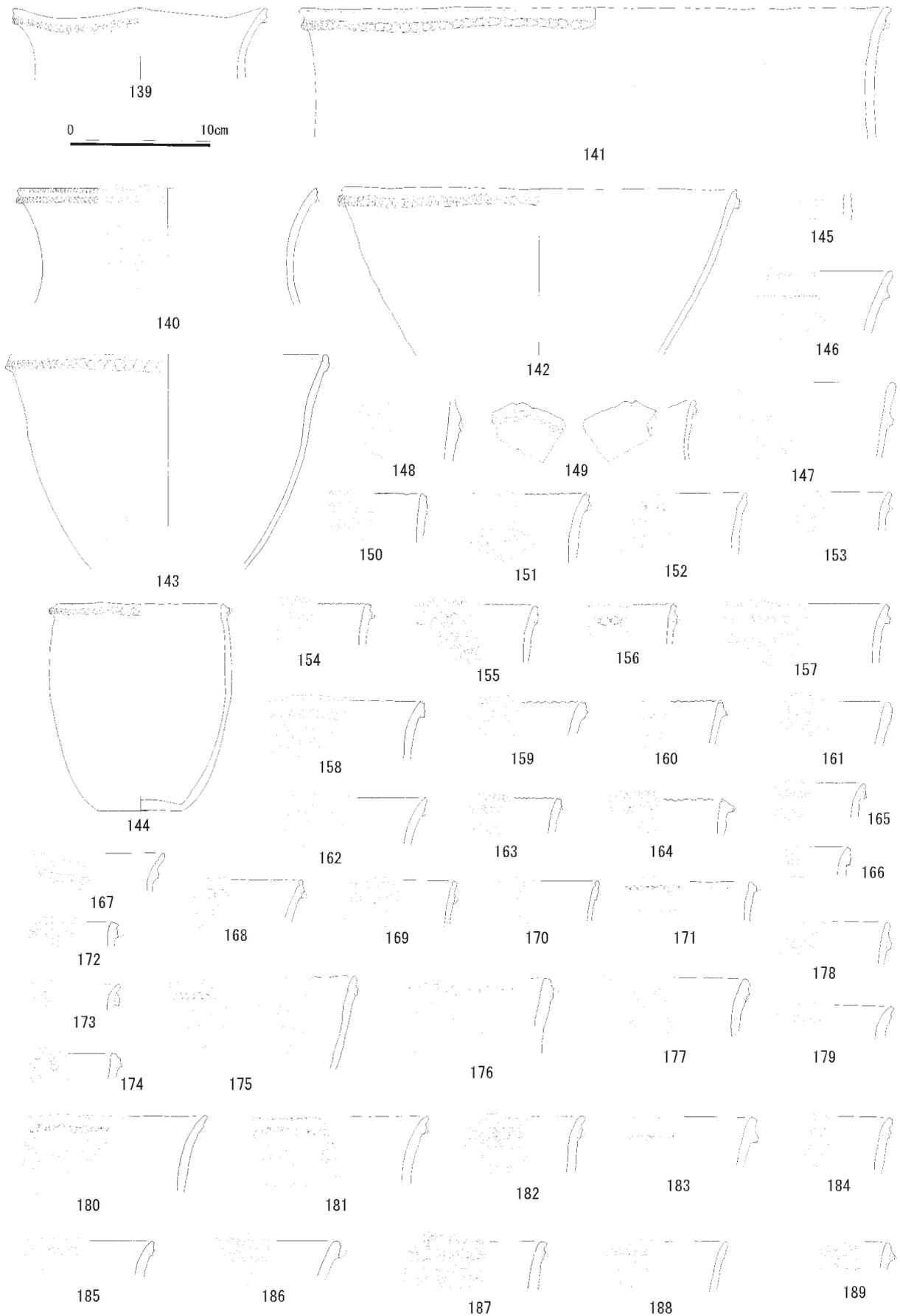
第17図 下がり1出土遺物③ (1/4)



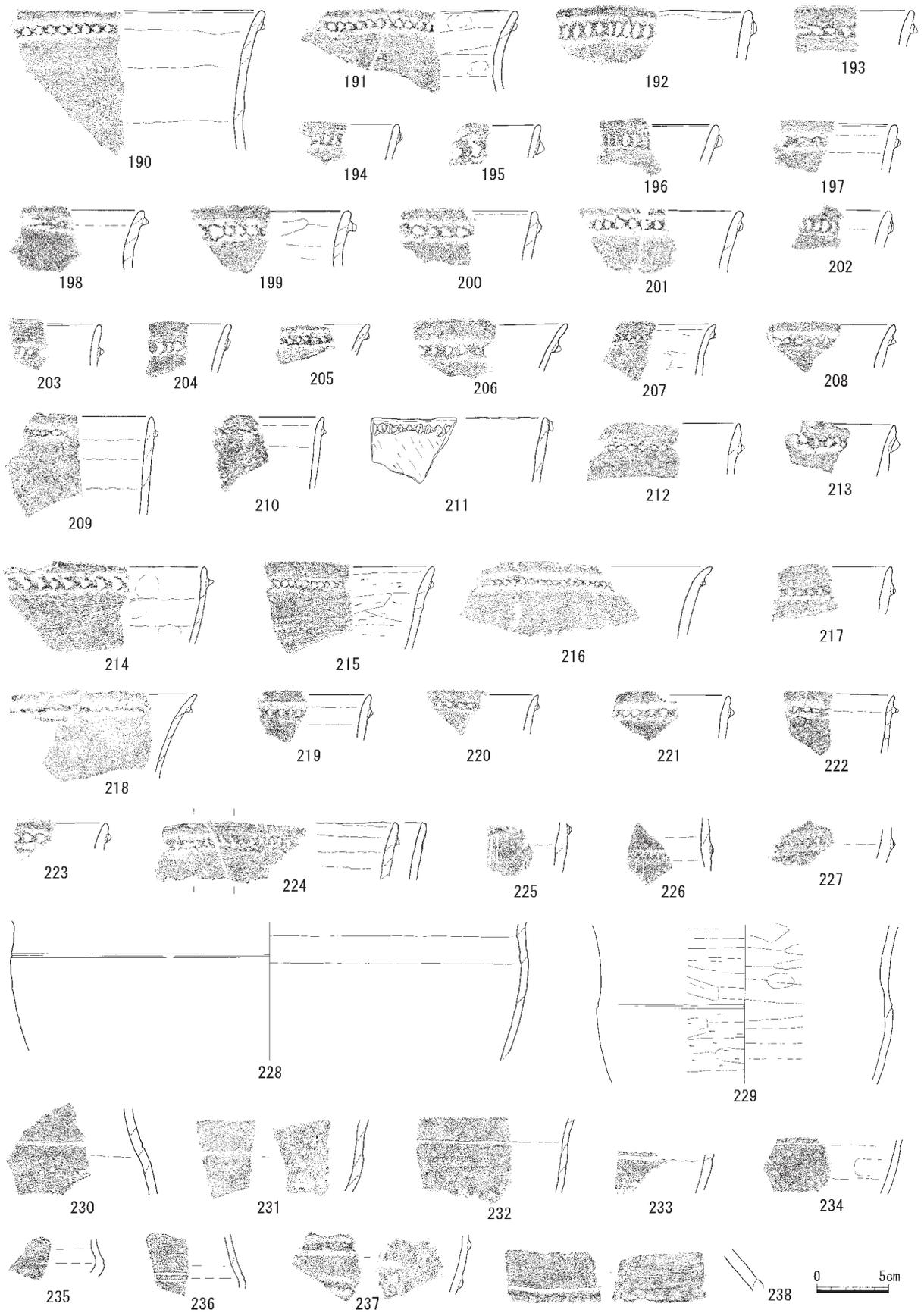
第18図 下がり1出土遺物④ (1/2・1/4)

遺構に伴わない遺物 (第19~24図)

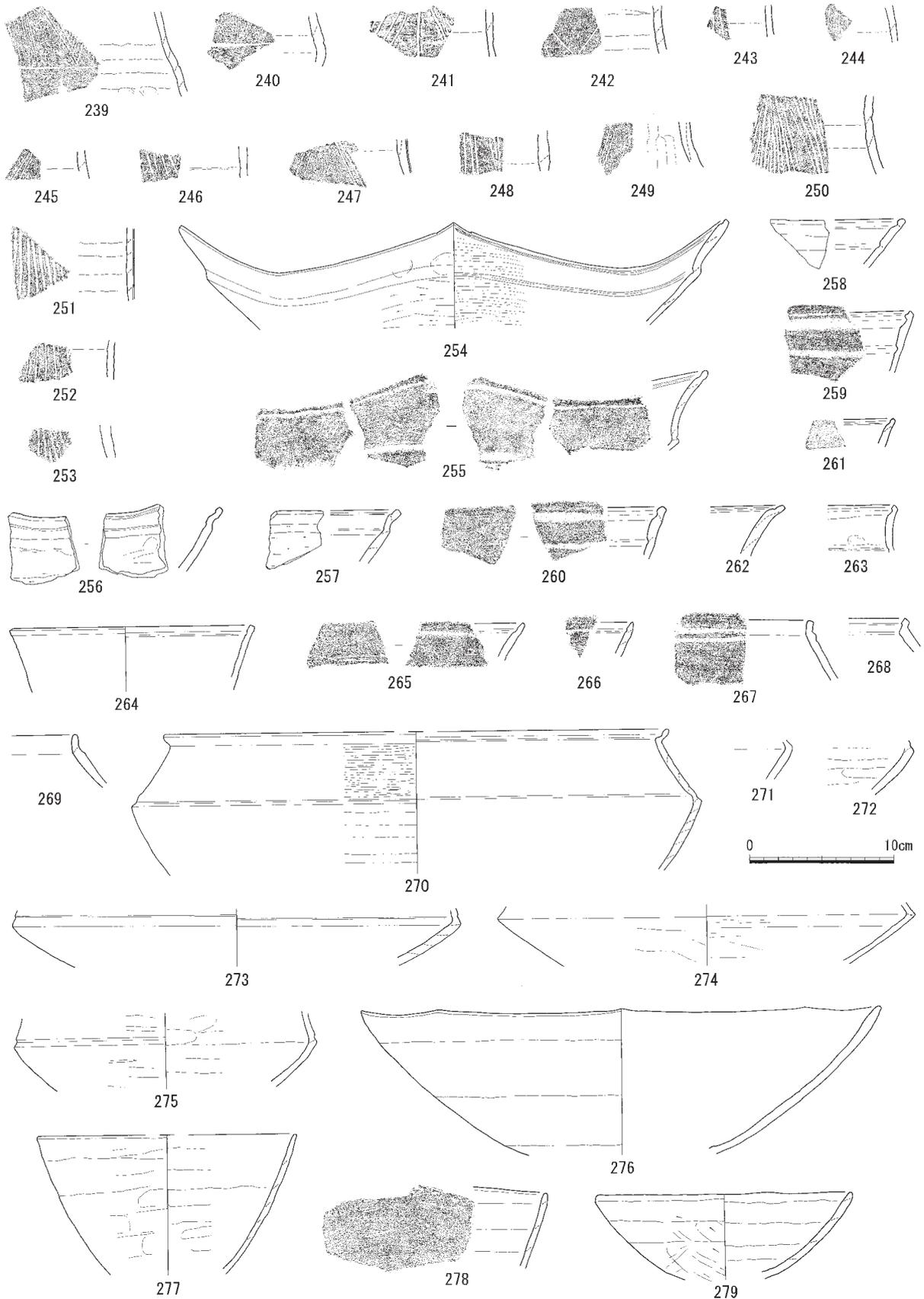
縄文晩期土器と弥生前期土器は1区のみで出土し、古墳時代と古代の遺物は2区の低位部で出土した。縄文晩期土器は下がり1に伴うと考えられるが、下がり1として明確に認識する以前に出土した遺物である。304は刻目突帯文を巡らせた波状口縁の土器で、胴部から内傾して口縁部に続く器形は壺と言える。深鉢と壺の特徴を合わせ持った土器と評価しておきたい。2区は古代以前には低位部で、



第19図 遺構に伴わない遺物① (1/4)

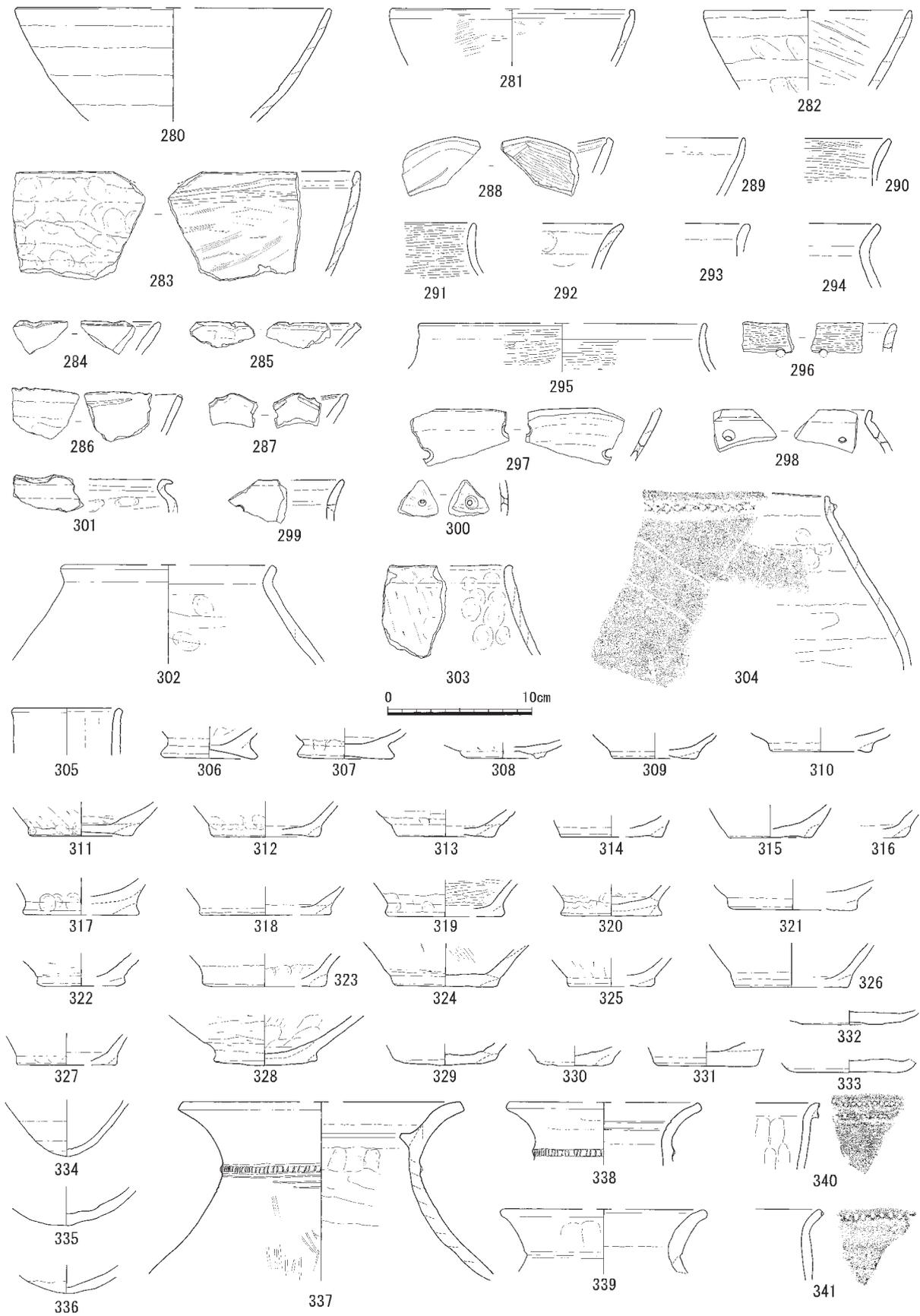


第20図 遺構に伴わない遺物② (1/4)

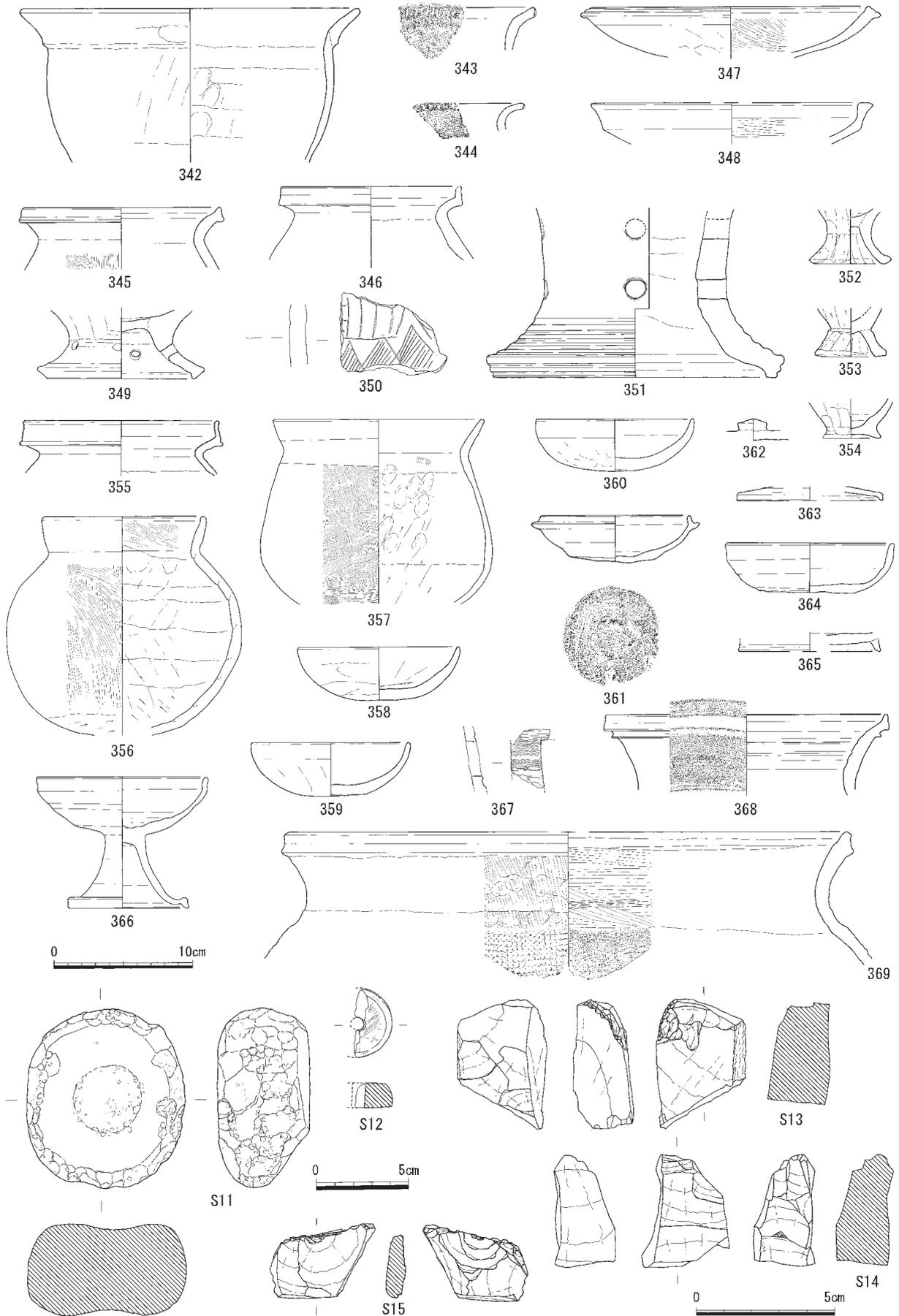


第21図 遺構に伴わない遺物③ (1/4)

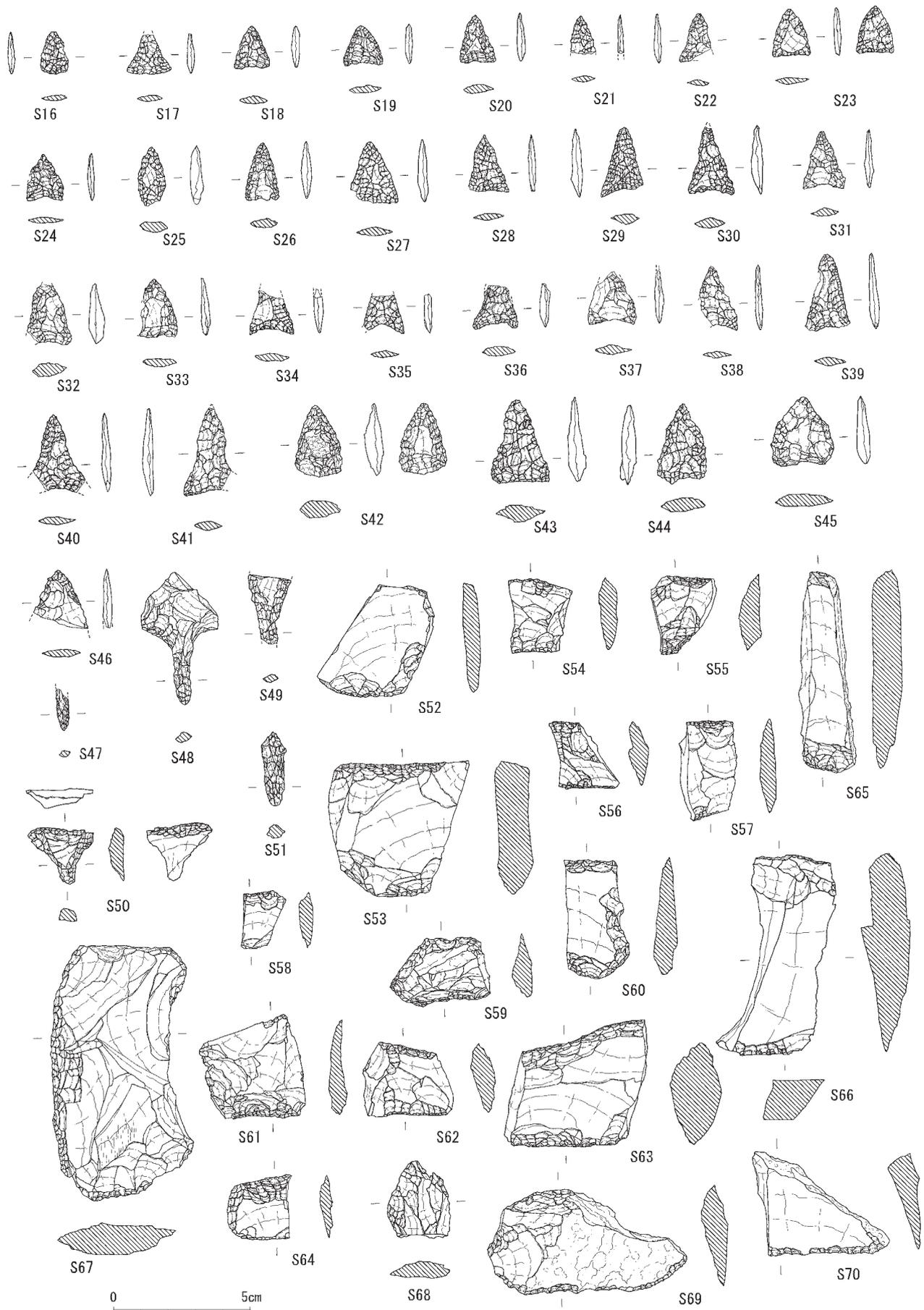
投棄されたような状態で各種遺物が出土している。2区で出土した土器には縄文土器は見られず、弥生中期以降の資料に限られる。なお、個別の特徴については土器観察表にまとめた。(上榊)



第22図 遺構に伴わない遺物④ (1/4)



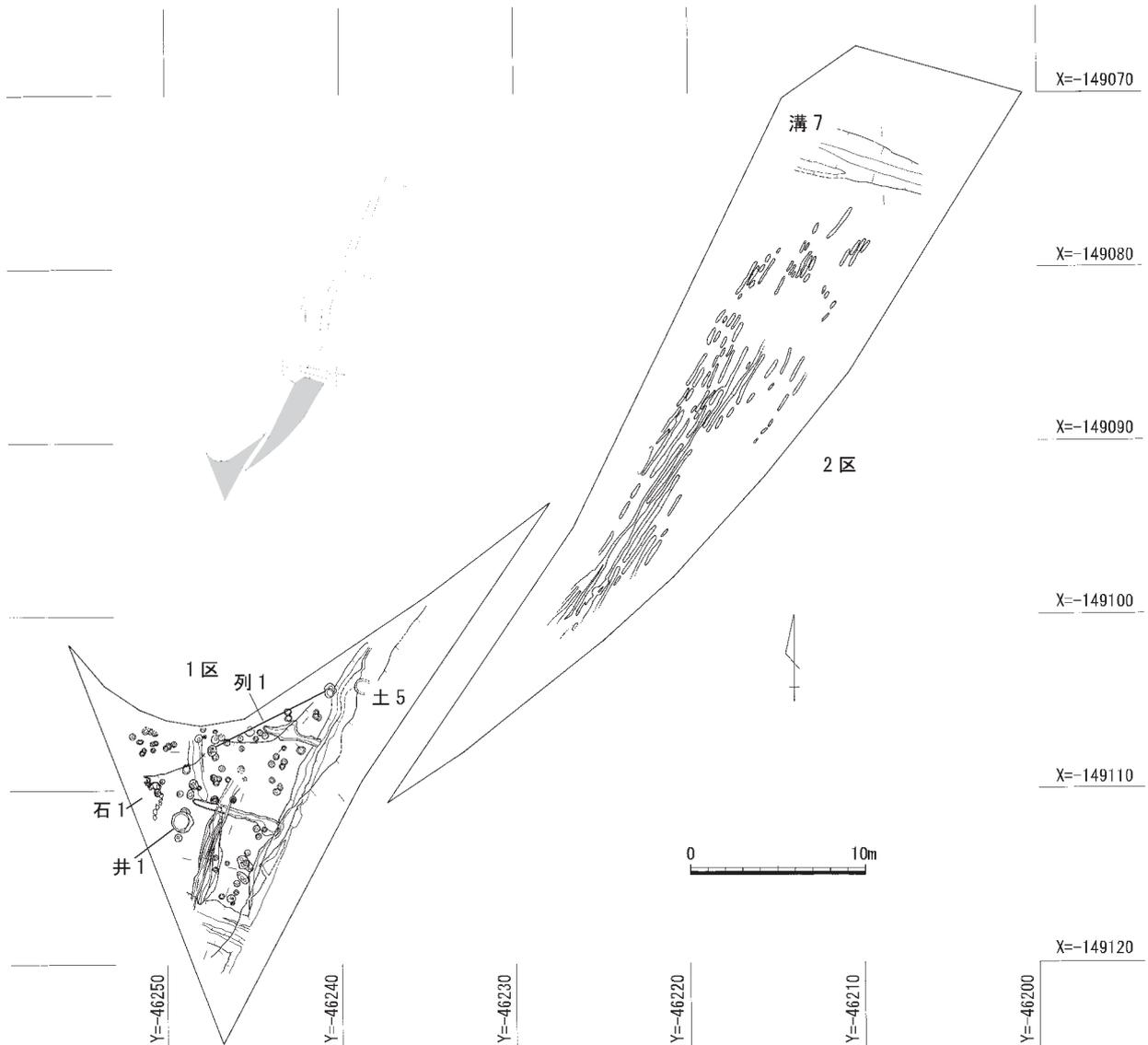
第23図 遺構に伴わない遺物⑤ (1/2・1/3・1/4)



第24図 遺構に伴わない遺物⑥ (1/2)

第3節 中世以降の遺構と遺物

1区は微高地の端部で、遺構はこの調査区に集中する。柱穴列1列、井戸1基、配石遺構1基、土塙1基、溝6条、下がり1か所を検出した。ただ、下がりについては南東側の壁体が調査区外に存在し、溝として機能していた可能性が推測される。ここでは検出できた情報のみから下がり2と呼称して報告する。なお、この下がり2は現代の用水路（上東用水）とおおよそ平行していた。柱穴列は調査区の北端で検出したため、調査区外に掘立柱建物として延びる可能性がある。古代以前には低位部として利用されていなかった2区でも中世以降の遺構は認められた。現代の用水路（下庄用水）と平行する溝1条と中世以降現代まで継続する複数面の耕作面を検出した。第25図には2区で検出した中世耕作痕を示したが、近世でも耕作痕の方向は中世を踏襲した状況であり、現代の地割りにおおよそ平行する。3A区、3B区も中世以降の耕作面を検出し、中世のそれを図示した（第26図）。ここでも現代の地割りと平行した耕作痕を検出している。（上村）



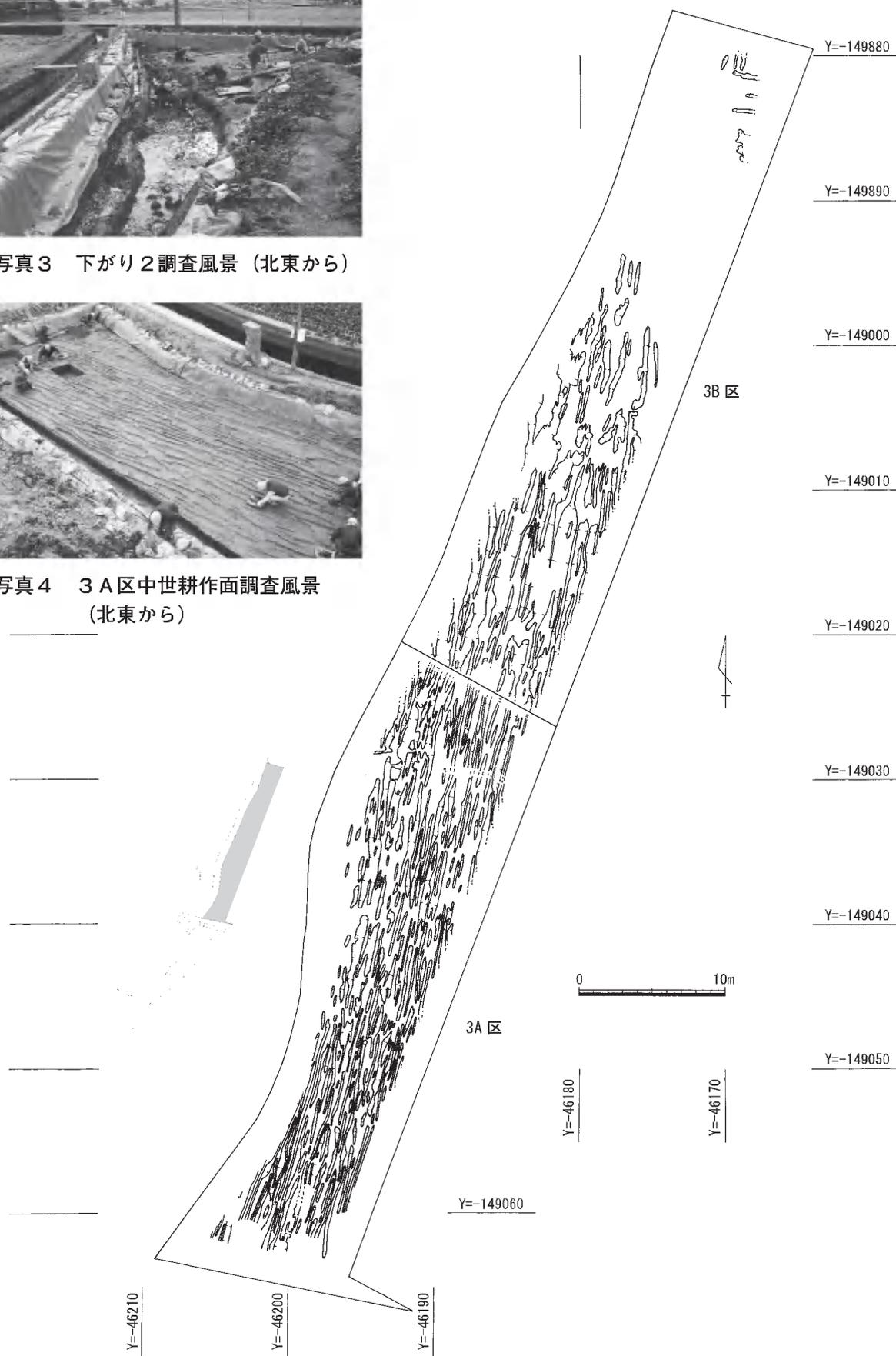
第25図 中世以降遺構配置図① (1/400)



写真3 下がり2調査風景（北東から）



写真4 3A区中世耕作面調査風景
（北東から）



第26図 中世以降遺構配置図② (1/400)

柱穴列1 (第25・27図)

1区北端に位置する4個の柱穴が直線状に並んだ柱穴列である。P1～P3は側溝掘削により一部を削平して検出した。調査区端部に位置するため、掘立柱建物の一部である可能性も考えられる。P1のみやや低い地点で検出したが、これは北西から南東に緩やかに傾斜する地形に即して包含層を掘り下げて検出したことによる。本来は同レベルからの掘削と考える。図示した遺物はP1から出土したもので、小破片も含めて他の柱穴から遺物は出土していない。椀の直径は9～11cmである。370の貼付高台は完全に一周しておらず、凹凸も著しい。時期は14世紀前半頃と考えられる。(上柁)

井戸1 (第25・28図、写真5、図版3)

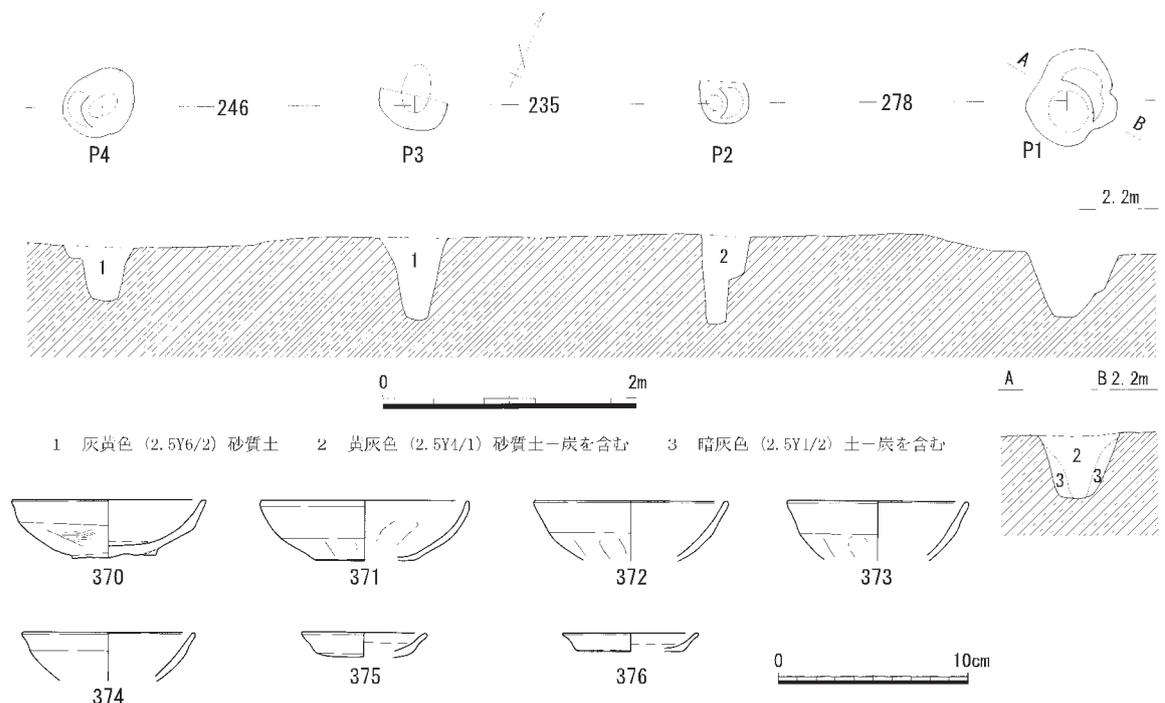
1区西端部、柱穴列1のP4から南西4mに位置する。底部海拔高約-50cmまで掘り込んだ素掘りの井戸である。底部には長さ52cm、幅37cm、厚さ24cmの角礫を設置し、その周囲や上に10～20cm台の角礫を乱雑に配置していた。底部北西隅からは調査中も水が湧き出てくる状況であった。第3層中にはブロック状に砂質土が入り込んでいたが、全体としての分層は困難で1つの層として表示した。遺物は大きく第1・2層の上層と第3層の下層に分けて取り上げ、一覧表に表示した。出土遺物から井戸1は14世紀代に機能して、15世紀頃には埋没しつつあったと考える。(上柁)

配石遺構1 (第25・29図、図版3)

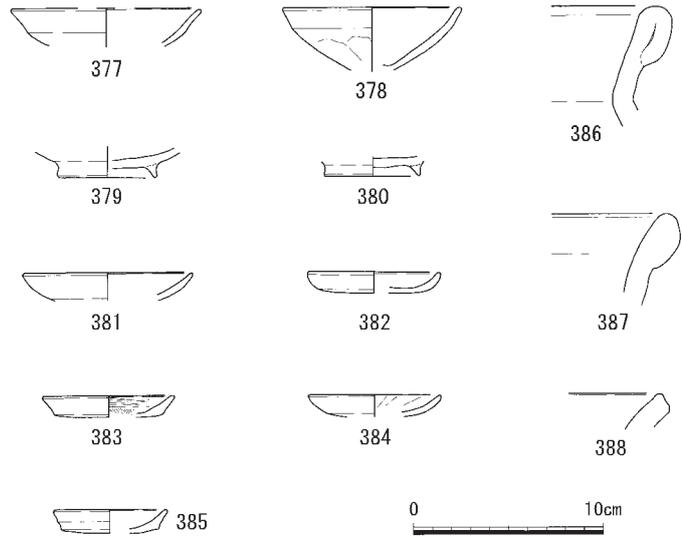
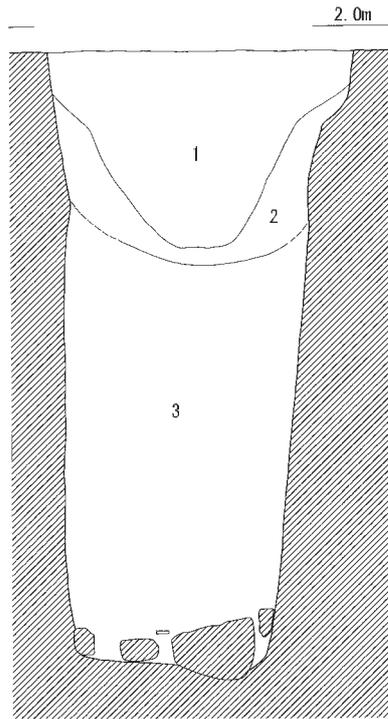
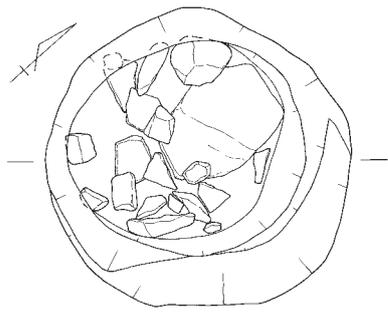
1区西端部、井戸1の北西1.5mの地点に位置する。南側から西側は調査区外へ延びており、遺構の全体像は確認できなかった。17cmほど掘り込み、そこに角礫を配置する。東辺は20～40cm大の角礫を並べるが、北辺は10～20cm大の礫が乱雑な状態で入っていた。土師器椀の小片が少量出土したが、図示できなかった。銭貨M1などの出土遺物から中世の遺構と判断している。(上柁)

土壌5 (第25・30図)

1区の北東側、柱穴列1のP1から東へ1mに位置する。下がり3が埋没した段階で掘り込んだ土壌である。遺物は出土していないが、切り合い関係から下がり2以降と判断できる。(上柁)



第27図 柱穴列1 (1/60)・出土遺物 (1/4)

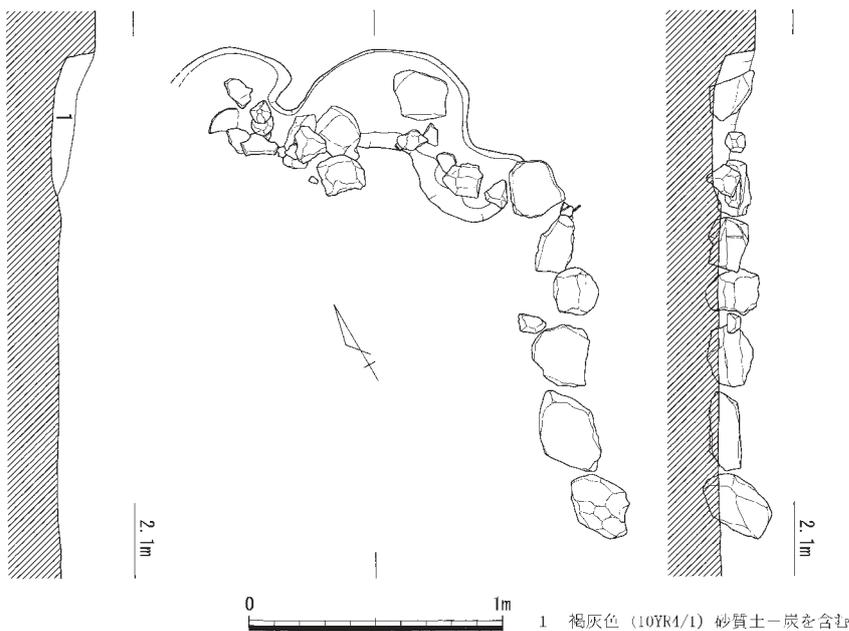


- 1 灰黄色 (10YR6/2) 砂質土-細砂を多く含む
- 2 褐灰色 (10YR6/2) 粘質土-細砂を多く含む
- 3 褐灰色 (10YR4/1) 粘質土-細砂を多く含む

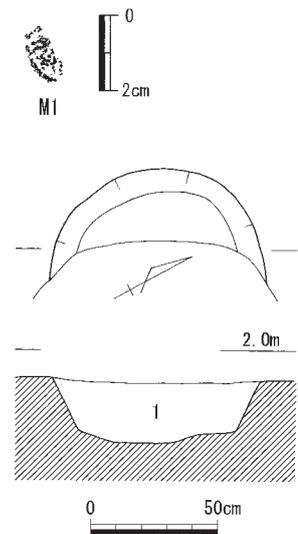
第28図 井戸1 (1/30)・出土遺物 (1/4)



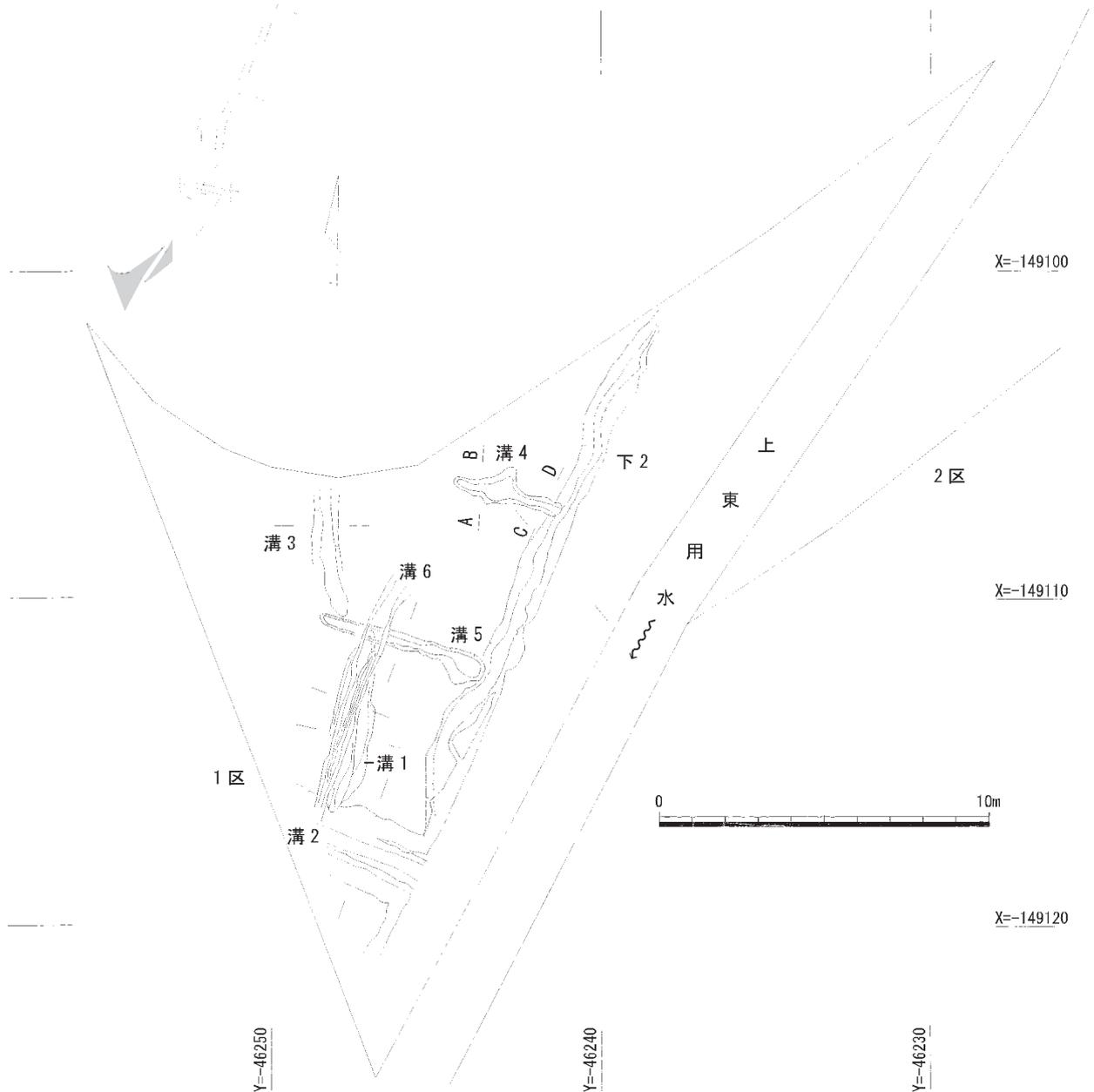
写真5 井戸1底部 (北西から)



第29図 配石遺構1 (1/30)・出土遺物 (1/2)



第30図 土坑5 (1/30)



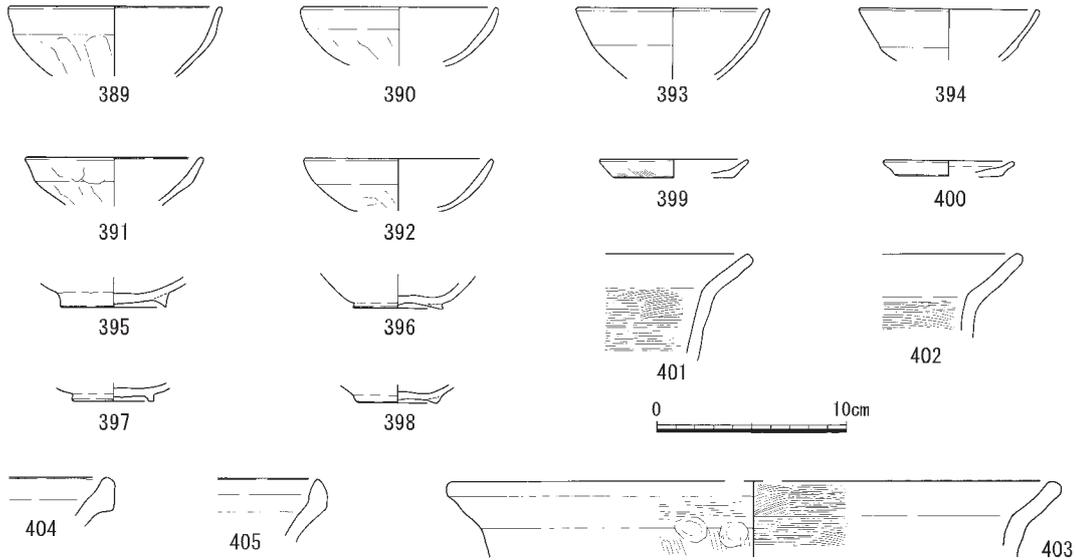
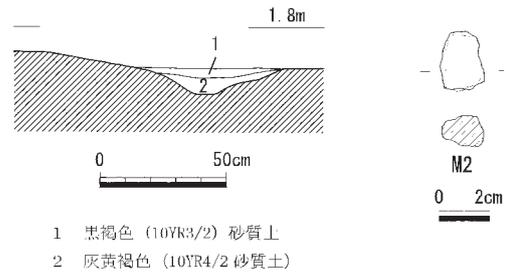
第31図 1区中世溝群 (1/200)

1区溝群 (第25・31図、図版3)

1区では溝6条と下がり1か所を検出した。これらの遺構は切り合い関係などからおおよそ3段階に掘削されたことが明らかである。最古段階は溝1・2、下がり2である。溝1は標高155cmから掘り始めたもので溝2に連結する。溝2は下がり2に連結する。以上からこれらは同時に機能していたと考える。第2段階目の掘削は溝3～5で、1区が北西から南東へ緩やかに傾斜している段階で掘削された。溝3・4の北端部は標高200cmほどから掘削し、深さは10cmである。溝3の南端部の底面標高は160cm、溝4南端の肩部の標高は178cm、底面は160cmである。溝4の南端は途切れた状態になっていたが、下がり2が埋没途中の段階にそこに繋がっていたと考える。このことは下がり2が第2段階にも機能していたことを示す。なお、溝4・5は平行する。最も新しい段階は溝6である。溝6は1区がおおむね平坦になった段階で掘削されており、検出面の標高は190cmほどであった。(上柁)

溝1 (第25・31・32図、写真6)

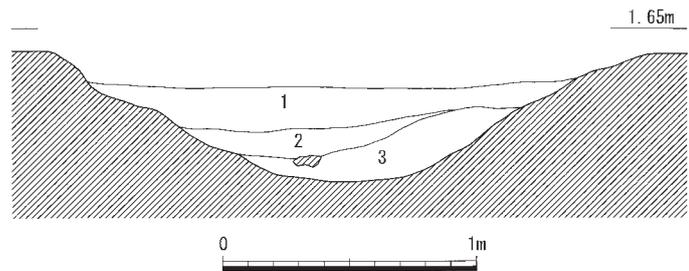
1区の西側に位置する溝である。幅92cm、深さ6cmの溝に、幅50cm、深さ10cmの溝が掘り込まれた状態であった。断面形は有段の挿鉢状を呈する。溝2に連結した状態で検出しており、同時機能と考える。一段深い溝から遺物が少量出土している。出土遺物から14世紀前半の遺構と判断できる。(上柩)



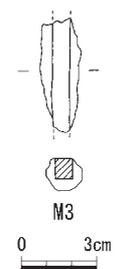
第32図 溝1 (1/30)・出土遺物 (1/3・1/4)

溝2 (第25・31・33・34図、写真6)

1区の南西端部に位置する溝である。溝1が底部から50cmほどの高さに連結しており、溝1から溝2への流れが考えられる。また、後述する下がり2にほぼ直角に連結している。下がり2は溝2との連結部分からさらに南東へ下がると思われる。溝2は北西から南東に流れると推察される。底部はやや二段状を呈し、掘り返しの可能性が推測される。第33図に示した断面図では第1・2層が掘り返し後の埋土で、第3層がそれ以前と判断できる。埋土中からは土師器の椀や杯、皿、鍋、東播系須恵器の捏鉢などが出土しており、14世紀前半と考えられる。(上柩)

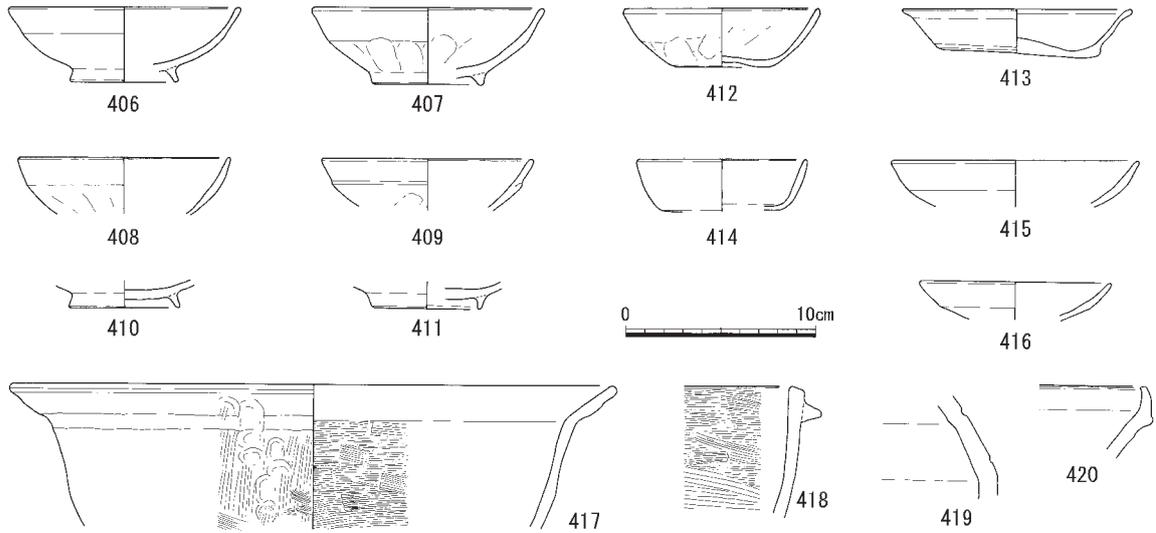


1 黒褐色 (10YR3/2) 砂質土 2 褐灰色 (10YR4/1) 砂質土 3 褐灰色 (10YR5/1) 砂質土



第33図 溝2 (1/30)

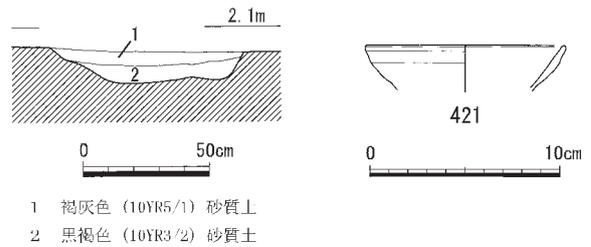
写真6 溝1・2、下がり2全景 (北東から) ・出土遺物 (1/3)



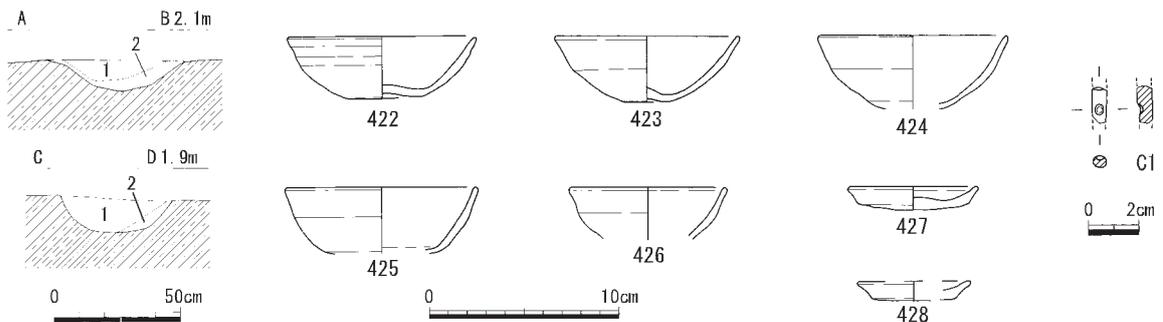
第34図 溝2出土遺物 (1/4)

溝3 (第25・31・35図)

1区北西側に位置する。北から南に下がる緩斜面に掘り込んでいたが、南側は包含層掘削時に掘削してしまい、深さ3cmほどしか残らなかった。平面図には確実に捉えることができた底部のみを図示している。緩斜面がある程度埋まった段階に溝を掘ったと考える。出土遺物は少なかった。時期は14世紀と考える。(上枠)



第35図 溝3 (1/30)・出土遺物 (1/4)



- 1 灰色 (5Y4/1) 砂質土・炭・焼土塊を多く含む
- 2 灰オリーブ色 (5Y5/2) 砂質土

第36図 溝4 (1/30)・出土遺物 (1/3・1/4)

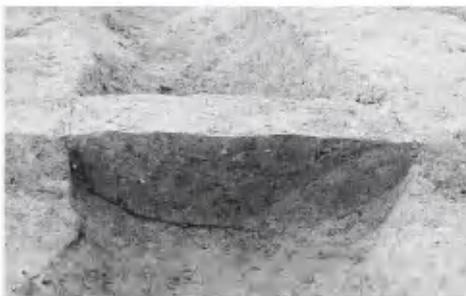
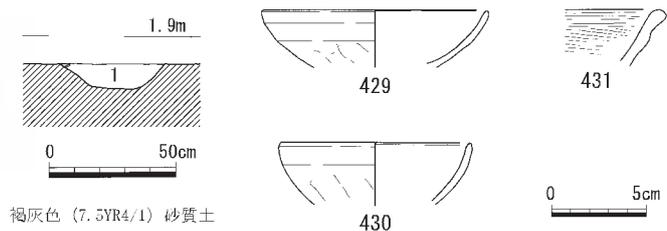
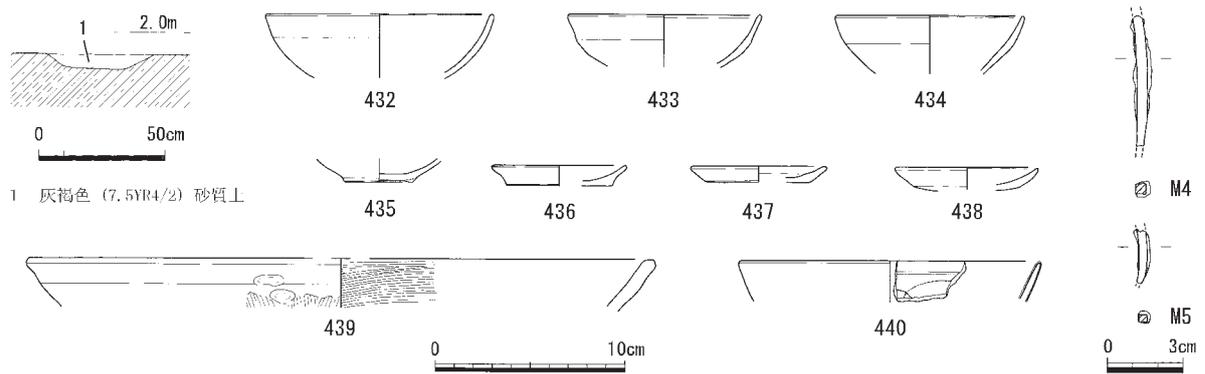


写真7 溝4断面 (A-B) (東から)



第37図 溝5 (1/30)・出土遺物 (1/4)



第38図 溝6 (1/30)・出土遺物 (1/3・1/4)

溝4 (第25・31・36図、写真7)

1区中央やや北寄りに位置する。平面形が「十」字状を呈する溝である。南東端部は下がり2の肩部から30cmほど延びている。下がり2が埋まりつつある中で掘削した溝で、下がり2に取り付いていたと考える。また、主軸は5mほど南西側にある溝5と平行し、北東-南西方向に延びる部分は溝6とおおよそ平行する。遺物としては土師器碗が多く出土し、また土師器の三足鍋の脚部のみや須恵器片も認められた。時期は14世紀中頃と考えられる。(上柁)

溝5 (第25・31・37図)

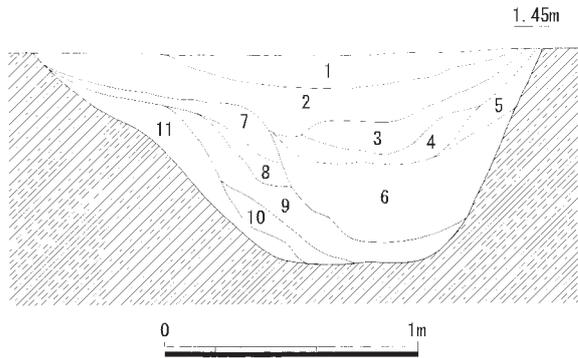
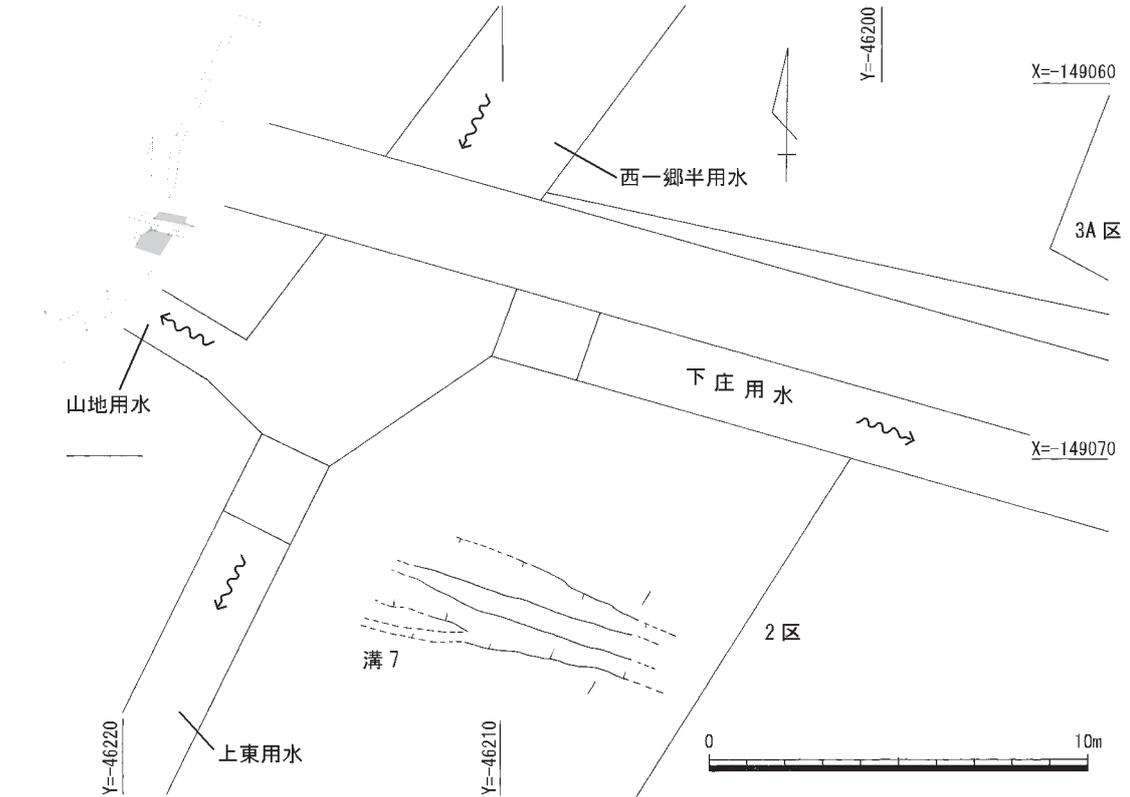
1区の中央付近に位置する溝である。溝4とは5mの間隔を開けて平行する。また、平面図では溝1および溝6と重なり合う状態であるが、重なる部分の標高は溝1の底面が184cm、溝5は肩部が177cmで底面が170cm、溝6は肩部が155cmで、いずれも切り合いではなく重層関係にあることが分かる。南東端部のみを拡張するが、深さはあまり変わらない。遺物は土師器碗、鍋が出土している。時期は14世紀中頃と考えられる。(上柁)

溝6 (第25・31・38図)

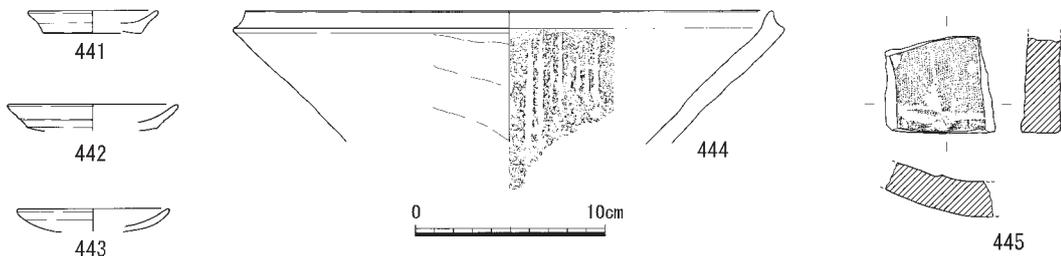
1区の西側に位置する溝で、1区がおおよそ平坦になった段階で掘削された溝である。流走方向がほぼ同じである溝1と重なる。また、溝2とも重層関係にあり、溝1・2が埋没した段階で掘削された溝と判断できる。北東側は平成19年度の試掘調査のトレンチ7により切られているが、トレンチ7の北東側では検出できなかった。時期は14世紀後半以降である。(上柁)

溝7 (第25・39図、図版3)

2区の北端に位置する。約5m東を南流する現代用水路の「下庄用水」とおおよそ平行し、「上東用水」に直行する溝である。掘削面では溝7と直行する方向の中世耕作痕を確認した。溝7に切られる耕作痕は確認できず、2区耕作面の北限を区画する溝と考える。溝7は1条の溝であるが、少なくとも2回の改修を行ったことが断面から判断できる。また、調査段階では溝7の上面全体を近代の粗砂が覆うように堆積していた。近代粗砂は溝7より南側へはあまり拡散しておらず、溝7の場所が近世、近代にもある程度の窪地の状態であった可能性を示す。なお、近代粗砂からは獣骨や人骨の破片が出土した。溝7から出土した出土遺物は少なく、その中でも小片が多かった。444の挿鉢は調整が粗く、器形の歪みも認められた。445は平瓦の破片である。凹部には細かい布目圧痕が認められた。時期は1区の溝群と同様に14世紀代と考えておきたい。後述する下がり2のところでも触れるが、溝7は「下庄用水」の前身用水路の可能性が考えられる。(上柁)



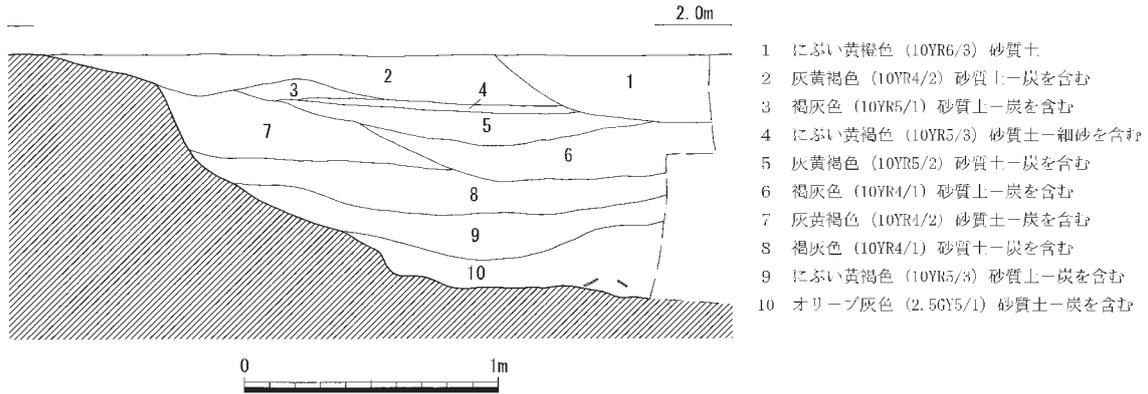
- 1 暗オリーブ灰色 (2.5GY4/1) 粘質土
- 2 暗緑灰色 (7.5GY4/1) 粘質土-粗砂を含む
- 3 暗緑灰色 (7.5GY4/1) 粘質土-細砂を多く含む
- 4 暗緑灰色 (7.5GY4/1) 粘質土-粗砂を多く含む
- 5 暗緑灰色 (7.5GY4/1) 粘質土
- 6 暗オリーブ灰色 (2.5YR4/1) 粘質土
- 7 暗オリーブ灰色 (2.5YR4/1) 粘質土-細砂を多く含む
- 8 暗緑灰色 (10GY4/1) 粘質土
- 9 暗緑灰色 (7.5GY4/1) 粘質土-細砂を含む
- 10 オリーブ灰色 (7.5GY5/1) 粘質土-細砂を多く含む
- 11 緑灰色 (10GY5/1) 粘質土-細砂を含む



第39図 溝7 (1/30・1/200)・出土遺物 (1/4)

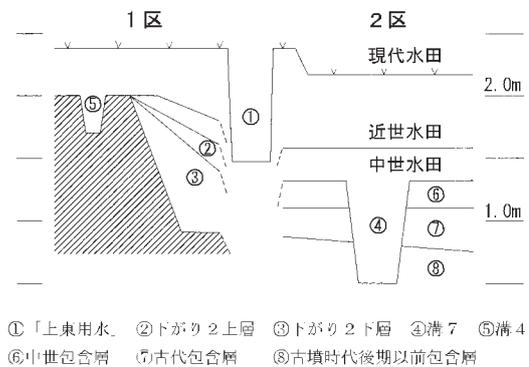
下がり2 (第25・31・40~45図、写真3、図版3)

1区の南側で現代用水路の「上東用水」と平行する斜面である。調査区北側では溝4が直行して付設する。下がり2南東側は現在も機能している「上東用水」へと続くため、今回の調査では北西側壁しか確認することはできなかった。そのため下がりとして報告したが、微高地の縁辺部を人為的に掘削していること、埋土がレンズ状もしくは水平近くに堆積していることから溝である可能性が高い。



第40図 下がり2 (1/30)

下がり2は「上東用水」側の下がり2であり、底部は確認できておらず、段状部分を検出した状態に留まる。この段状部分の標高は90cmである。「上東用水」を挟んで東側には2区が位置するが、この調査区では標高130cmの高さに中世耕作面が広がっていた。つまり、検出できた下がり2の段状部分より、「上東用水」を挟んで2区側が高いことになる。このことも下がり2が溝である可能性を推測させ、その場合の底部は「上東用水」の真下に位置することが推測できる。下がり2が溝で、その底部が「上東用水」の真下に想定されることから、下がり2は「上東用水」の前身用水路である可能性が高い。なお、2区で検出した溝7は、「下庄用水」の前身用水の可能性が考えられる。



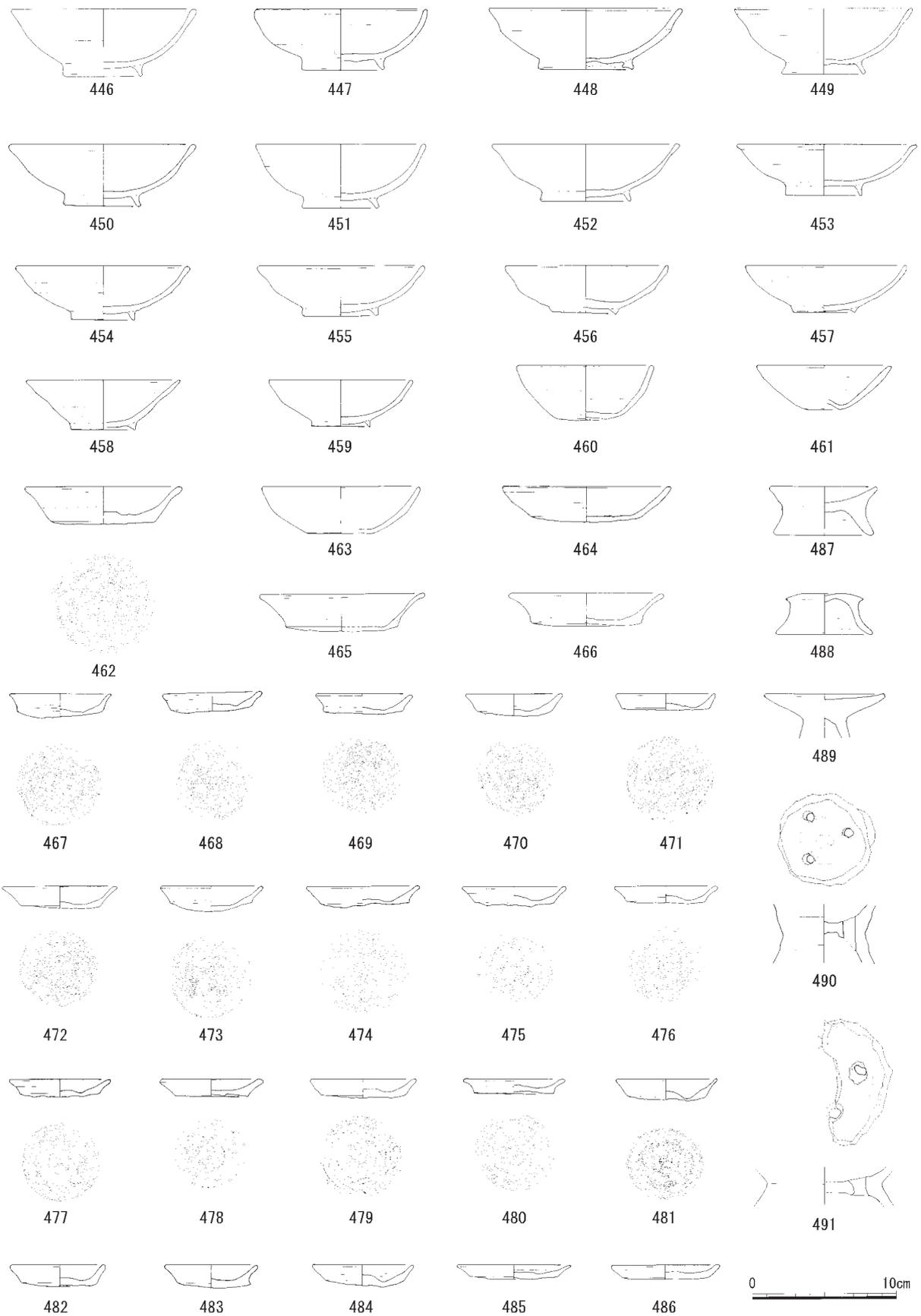
第41図 溝4・溝7・下がり2
・現代用水路断面模式図

溝7は中世水田面に伴うもので、近代粗砂および近世耕作面に覆われていた。「下庄用水」については、近世段階に現代の位置に付け替えられた可能性が考えられる。

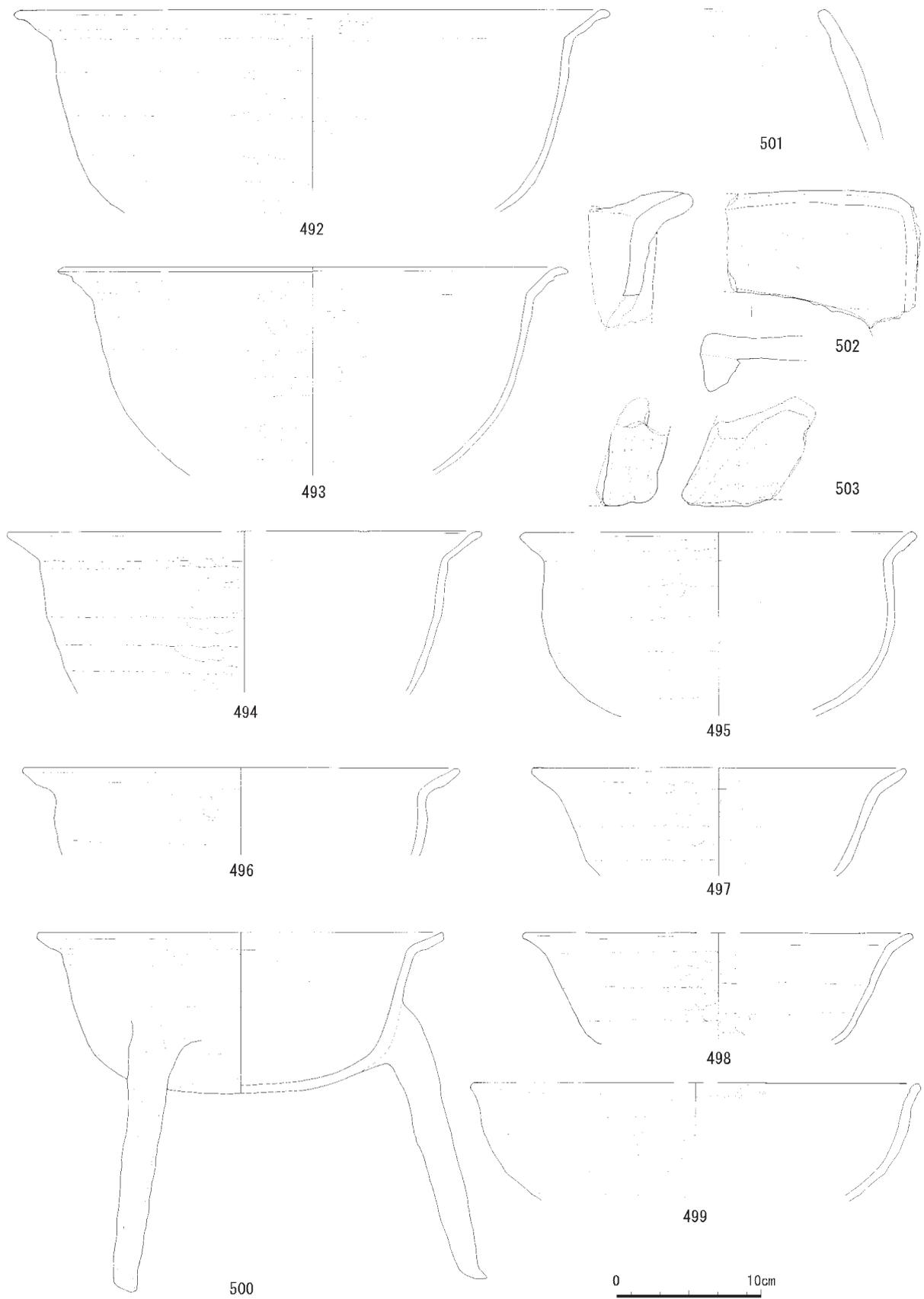
遺物には土師器、亀山焼、備前焼、東播系須恵器、瓦、土製品、石製品、金属製品などがある。出土遺物のうち高い割合を占める土師器碗は、上下逆さの状態出土する事例が多く認められた。土師器碗については、比較的復元可能な程度の破損のものが目立つ。また、高台が付かない杯や碗、小皿、鍋なども出土。四耳壺504は壁面に張り付くような状態で出土した。外面は格子状タタキが見られ、内面は指押さえとハケメが認められる。504の内面や口縁外面には黒色付着物が見られた。分析の結果、黒色付着物は漆の可能性が低く、タンニン（渋）を含むと考えられたが、具体的な内容までは分からなかった。513は備前焼の甕の底部で、窯の土が付着していた。瓦は平瓦と丸瓦を確認した。いずれも亀山焼と考えられる。C2は墨のような黒色物が付着しており、転用硯の可能性を考えた。また、羽口C6や鑿M11、砥石S71～S73や用途不明の破損した鉄器M13～M16も出土し、近隣の鍛冶作業が推測される。時期は出土遺物などから14世紀前葉～中葉と考えられる。 (上椿)

遺構に伴わない遺物 (第46・47図)

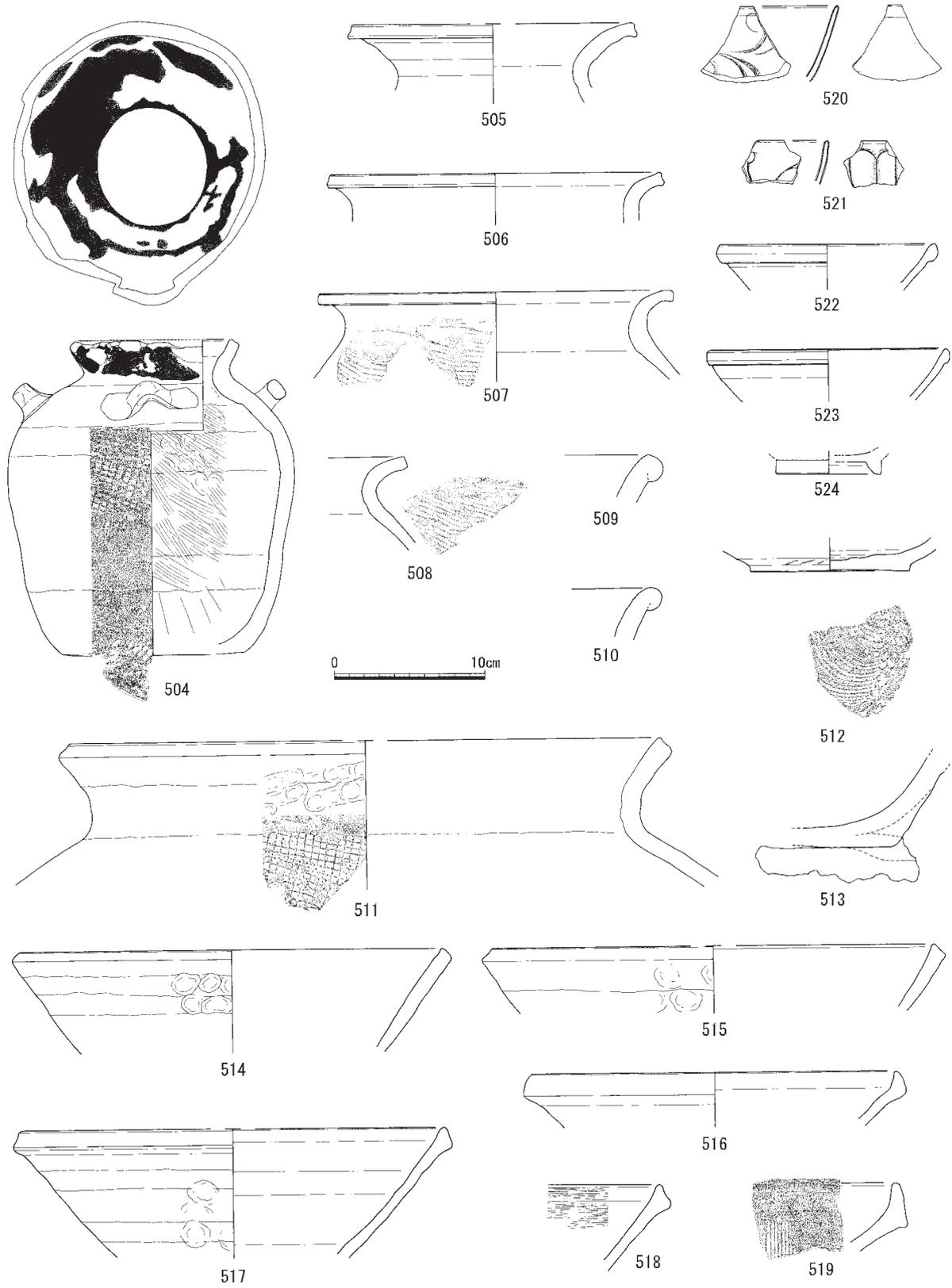
包含層出土遺物は1区を中心に出土している。2・3区は中世以降に耕作地として活用されるようになったが、中世の遺物は小片が多い。1区の中世遺物は下がり2出土土器とほぼ類似した組成を示す。羽口C11・C12や各種砥石S75～S76、鉄器片M20～M24は鍛冶作業を推測させる遺物である。



第42図 下がり2出土遺物① (1/4)

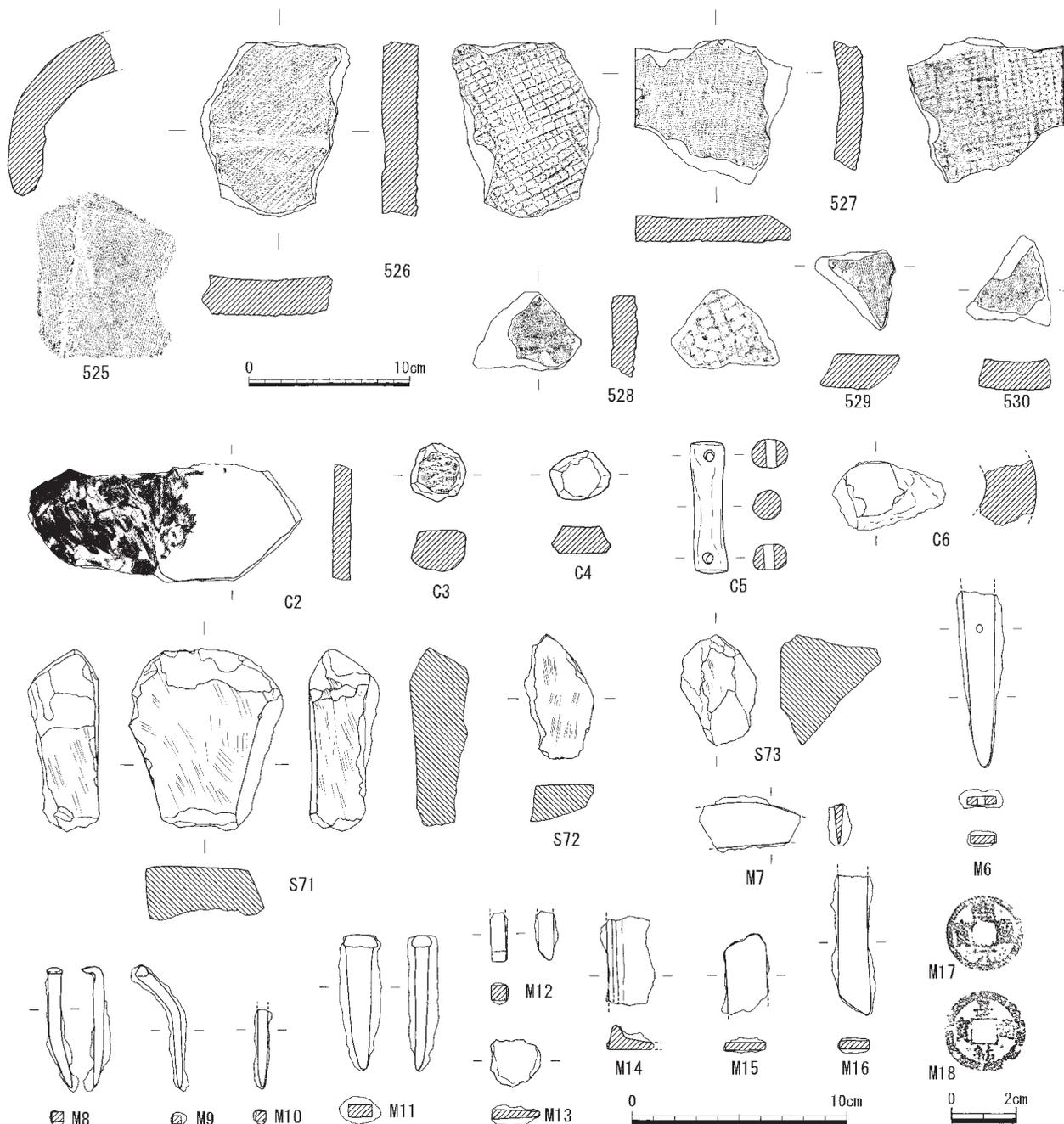


第43図 下がり2出土遺物② (1/4)

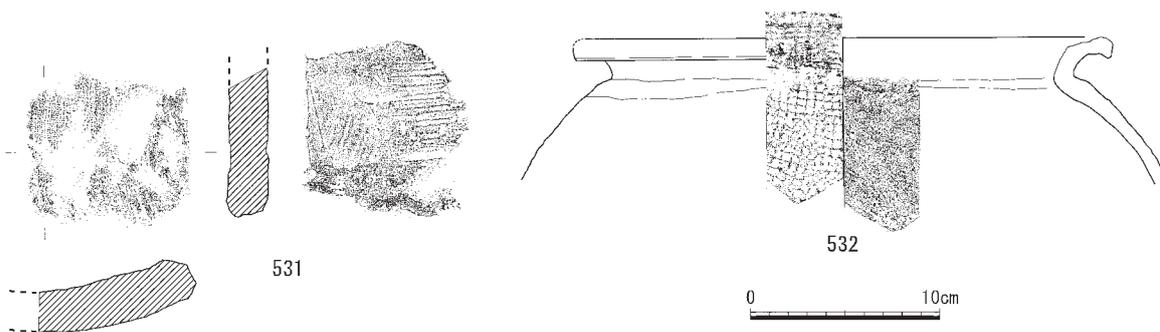


第44図 下がり2出土遺物③ (1/4)

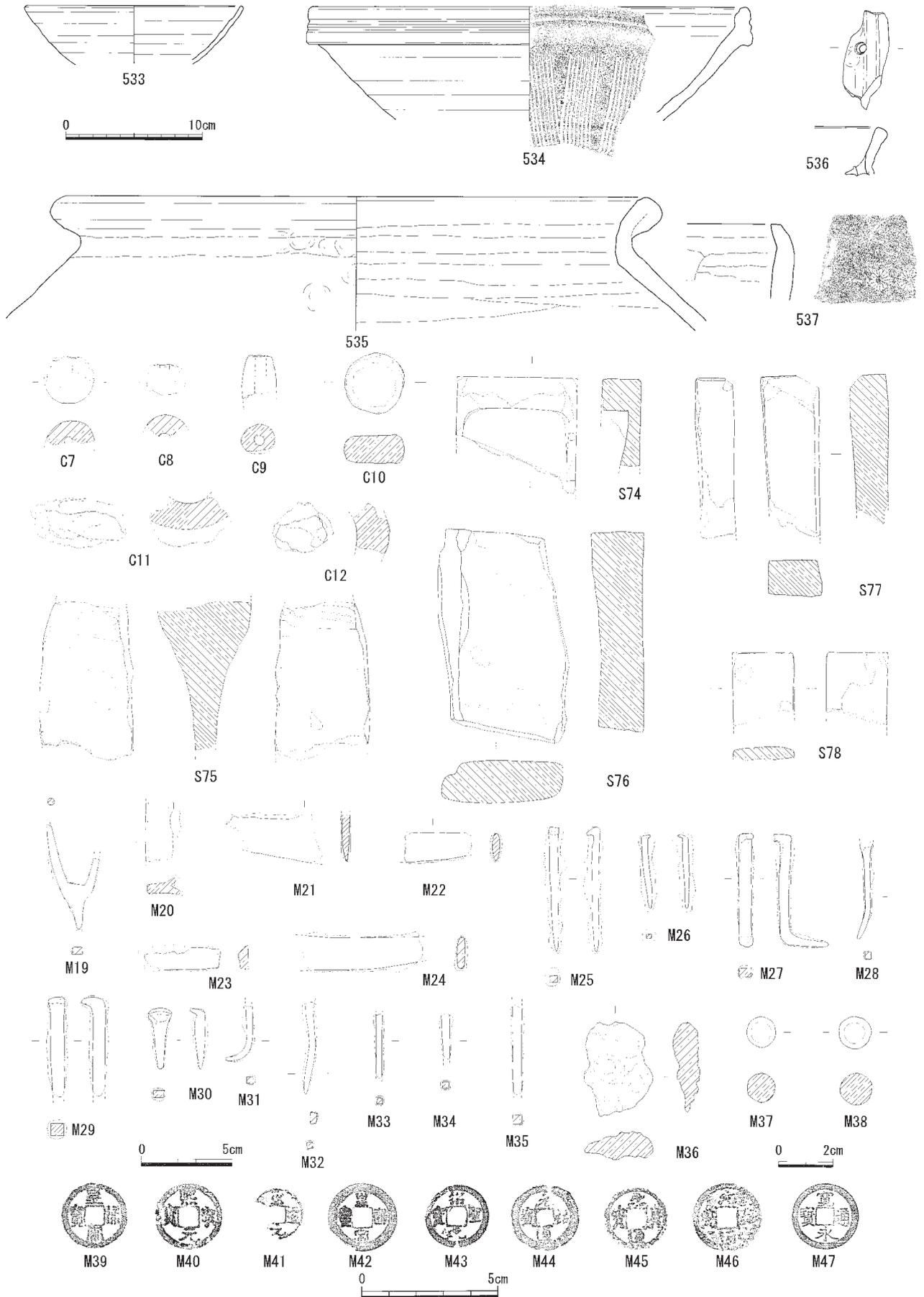
鉄釘も出土しているが、破損したものについては鍛冶用の鉄素材という可能性もある。M19は中世耕作痕の埋土中から出土した雁又鍬である。M36は用途不明の青銅塊であり、素材の可能性も考えられる。M47は2区の近世耕作痕の埋土で出土した寛永通寶である。(上柙)



第45図 下がり2出土遺物④ (1/2・1/3・1/4)



第46図 遺構に伴わない遺物① (1/4)



第47図 遺構に伴わない遺物② (1/2・1/3・1/4)

第4章 まとめ

1区は南に緩やかに傾斜する地形で微高地の縁辺部と判明し、斜面堆積で縄文土器や弥生土器、石器や剥片が出土した。下がり1では突帯文深鉢42と壺128が重なって見つかった。遺構では弥生時代後期後葉の土器棺と土壙、中世の柱穴列、井戸、配石遺構、土壙、溝を検出。これらから1区は弥生時代後期および中世集落の端部と判断し、縄文時代晩期には近隣に集落の存在が推測できた。2・3区は古代以前までは低位部であったが、中世以降に耕地化された。この耕地化は1区の溝群や2区の溝7の整備に伴うと考える。なお、今回の調査では鉄滓が1972.4g出土し、特に2区の標高1.2m以下の古代遺物包含層から1244.1gが見つかった。鉄滓には流動状の外観や炉壁粘土が付着したものがあり、製鉄炉内滓などと推測できた。古代には周辺域で製鉄が実施されたと考える。

1 縄文晩期土器

上東中嶋遺跡1区では、緩やかな斜面(下がり1)の堆積土や包含層から縄文土器が多く出土した。器種としては深鉢、浅鉢、壺があり、深鉢と浅鉢は細分できる(第48図)。

深鉢には刻目突帯文と胴部沈線文が見られた。前者を Ft 型、後者を Fc 型として検討したい。

刻目突帯文深鉢は突帯の条数で一条突帯と二条突帯に大別でき、さらに口縁部の形状から波状口縁と平口縁に分類可能である。一条突帯は肩部を持ち頸部と胴部が明確に分離できる屈曲形とくびれの見られない砲弾形、さらに球形に細分できた。一条突帯の屈曲形は頸部の長さでさらに細別可能で、9cm以上の長頸タイプとそれに満たない短頸タイプがある。なお、二条突帯深鉢は屈曲形のみである。二条突帯の波状口縁深鉢は長頸タイプに限られ、平口縁のものは長頸、短頸両タイプが確認できた。

以上から刻目突帯文深鉢を5分類する。Ft1型は一条突帯平口縁屈曲形(42)で、口縁部内面沈線の有無で細分できる。Ft2型は一条突帯平口縁砲弾形(44)。Ft3型は一条突帯波状口縁球形(304)。器形は壺形で、深鉢の要素を合わせ持つ。Ft4型は二条突帯平口縁屈曲形で(32)、口縁端部刻目の有無で細分可能。Ft5型は二条突帯波状口縁屈曲形で(26)、口縁端部刻目の有無で細分できる。

次に細部について検討したい。口縁端部は、面を作る角縁、丸く収める丸縁、尖らせる尖縁があり、いずれも一定量含まれる。また、刻目の有無でも大別できるが、刻目を入れる土器片は少数であった。刻目施文は口縁端部全体に真上から行う場合と口縁の角部に入れる場合があり、前者が主流である。

突帯の設置位置は「上」(口縁端部に接するもの)、「中」(口縁部との間隔5mm以内)、「下」(口縁部との間隔5mm以上)とされる〔山本1992〕。上東中嶋遺跡の突帯文深鉢は「下」が大半を占める。

また、突帯の刻目は、①上もしくは斜め上から押さえるものと②先端の鋭い工具を押し引くものがあり、前者は土器に対する工具の当たり方から「D」字や「V」字、「O」字、「C」字などの形状となる。他方、鋭い工具を引くことで刻みを入れる場合、刻みは「1」の字状で、器壁まで工具が達する事例もある。上東中嶋遺跡の場合、大多数の①にわずかに②が伴うといった状況であった。

沈線文深鉢は胴部最大径部分の外面に沈線を巡らせるもので、二条沈線(99)と一条沈線(100)に大別できる。仕上げ調整には丁寧なナデ、粗いナデ、沈線から下のみケズリで上部はナデがあった。

刻目突帯文深鉢および沈線文深鉢では、頸部外面にヘラ描き沈線文を施す場合がある。文様は上から放射状に広がる複数の沈線から構成され、沈線の間隔から粗(32)と密(250)が確認できた。

| | | | | | |
|--------------|-------|------------|-------|------|------|
| Ft1 型 | Ft2 型 | Ft4 型 | Fc1 型 | | |
| 42 0 10cm | 44 | 32 | 99 | | |
| | Ft3 型 | Ft5 型 | Fc2 型 | | |
| | 304 | 26 | 100 | | |
| A1 型 | A2a 型 | A2b 型 | A3 型 | A4 型 | A5 型 |
| 107 | 109 | 111 | 260 | 264 | 267 |
| A6 型 | A7a 型 | A7b 型 | 壺 | | |
| 270 | 276 | 277 279 | 128 | | |

第48図 縄文晩期土器分類図 (1/10)

深鉢の底部も一定量ある。底部は上げ底 (306)、平底、丸底 (130) に分類でき、平底が多く出土した。平底は、丸底状の底部に貼付高台状の粘土を接合して全体を平底に仕上げるタイプ (311) と底部となる円盤の端部に器壁を立てるタイプ (332) があり、前者が大半を占める。

次に浅鉢について検討する。浅鉢は形状から大きく7分類した。

A1型は方形浅鉢である (107)。波状口縁で波頂部は押さえにより突起状の表現をする。体部は大きく屈曲し、頸部外面は丁寧なナデやミガキ、胴部外面はケズリである。内面はミガキで仕上げる。

A2型は鍵状口縁浅鉢で、波状口縁の A2a 型 (109) と平口縁の A2b 型 (111) に細分できる。A2a 型の場合、内面に一条沈線と段があり、そこにベンガラを塗布する。A2b 型でも沈線にベンガラが確認できた資料もある (111・256)。内外面もしくは内面のみを丁寧なナデ調整で仕上げる。

A3型は内面に沈線2条を巡らせるが、外面は直線状に開く (260)。調整には精粗が見られた。

A4型は口縁部が直行もしくは外反する (264)。さらに口縁内部に沈線を巡らせるものと無いものに識別できる。丁寧なナデ仕上げのものとケズリや軽いナデ調整程度の仕上がりがある。

A5型は内傾する頸部に直立する短い口縁部が取り付くタイプ (267)。丁寧なナデで仕上げる。

A6型は胴部最大径部分で逆「く」の字形に屈曲し、内傾する頸部に外反する短い口縁部を付ける (270)。屈曲部の上に沈線を巡らせるものもある。内外面もしくは外面は丁寧なナデ仕上げである。

A7型は碗状を呈し、細分できる。波状口縁を A7a 型 (276)、平口縁を A7b 型 (277・279) とし、さらに A7b 型は器高で細分できる。丁寧なナデ調整で仕上げる場合と粗雑な調整のものがある。

壺は丸い胴部に内傾する頸部が付き、外反する口縁部が続く (128)。胴部と頸部の境には沈線を1条巡らせるが、一部段のような状況になる。内外面ともナデ調整で胎土はやや粗い。内傾接合のみ。

縄文晩期土器の特徴を以下にまとめる。①深鉢、浅鉢、壺から構成され、深鉢が主体。②深鉢は容

量の差が大きく、施文も各種ある。③二条刻目突帯文深鉢が一定量存在。④爪形文(145)や無刻目文土器(146・147)はわずかで、条痕調整(175)も少ない。⑤口縁端部の刻目は少量で、真上からの施文が多い。⑥深鉢と壺の特徴を合わせ持つ土器(304)が存在。⑦口縁端部の形状は角、丸、尖があり、角がやや多い。角縁には角をしっかり形成する場合と面取りに留める場合があり、後者が主流。⑧底部は平底が主体で、丸底が少量、上げ底がわずかに伴う。平底には丸底に高台状の粘土を貼り付けて平底にする場合と円盤状のものに器壁を立てる場合があり、前者が主体。⑨浅鉢は仕上げに精粗がある。⑩方形浅鉢や鍵状口縁浅鉢、逆「く」の字形に内傾する浅鉢を伴う。方形浅鉢107では楕円形黒斑を配した文様を確認した。同様の施文は岡山県総社市窪木遺跡の鉢106や愛媛県松山市大淵遺跡第一次調査の壺659で確認でき、カジ(なすび)文と呼ばれる場合がある〔栗田2000〕。

上記特徴を既研究と照合すると、上東中嶋遺跡の縄文土器は突帯文期を3区分した平井泰男のVb期に相当し〔平井泰2000〕、平井勝の「津島岡大式」〔平井1992〕併行期と考えられる。

2 サヌカイト製石器の製作

今回の調査ではサヌカイト製石器および剥片、残核、チップが3600.8g出土した。石器以外の剥片やチップなどはサイズ、重量ともに大小が認められ、調査地周辺で石器を製作した可能性が高い。

剥片には厚みがあるブロック状のもの(S13・S14)(厚さ2.1cm)と薄い板状のもの(厚さ1cm前後)、薄く剥ぎ取られた剥片がある。厚いブロック状剥片と薄い板状剥片は側面に自然面を残す資料が、薄く剥ぎ取られたものは背面に自然面を残す資料が含まれる。ブロック状剥片はその厚みが遺跡に持ち込まれた大型素材剥片の厚さを示す可能性が考えられ、遺跡内での分割作業が推測できる。薄い板状剥片の場合、搬入された素材剥片そのものの厚さと厚みのある素材を薄く割った結果という2つの可能性がある。薄い板状剥片も分割して石器製作に利用する。これらの資料から、上東中嶋遺跡では「洗谷型剥片剥離技術」〔竹広2003〕により素材分割が実施されたと判断できる。なお、薄く剥ぎ取った剥片は、刃部調整を加えてスクレイパー(S69)として活用する場合もあった。

さらに石器製作を考える上で重要な資料として楔形石器を取り上げる。楔形石器は対面する両極に敲打痕を持つ石器を指す〔岡村1983〕。栄一郎は岡山市津島岡大遺跡出土の楔形石器に、目的剥片生産のための石核が存在すると指摘した〔栄1986〕。また、高田浩司は岡山市南方遺跡の弥生時代石器を分析し、サヌカイト製石器768点中204点を楔形石器が占める偏りから、全ての楔形石器を楔と考えることは不自然とし、石核の可能性を考えた〔高田2001〕。同様の状況は上東中嶋遺跡でも確認できる。上東中嶋遺跡ではサヌカイト製石器が149点出土し、楔形石器が71点認められた。それ以外は石鏃36点、石錐9点、石鋏2点、スクレイパー9点、RF22点である。なお、敲打痕が見られる小型剥片も22点出土し、これも含めると敲打痕のある資料は石器類全体の62%となり、数的偏りが確認できる。

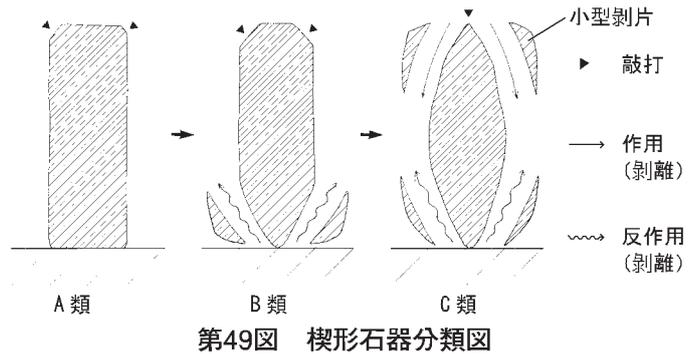
さて、上東中嶋遺跡で出土した楔形石器は、縦長剥片を用いたもの、横長剥片を用いたものがあり、またサイズも大小ある。平面形は長方形、方形、台形と様々である。唯一共通する特徴は敲打痕が確認できる点のみと言える。敲打痕が認められる軸の対極軸端部は裁断面の場合がほとんどである。ここでは敲打の状況や厚さから楔形石器の分類を行いたい。

楔形石器A類は断面長方形で、2つの角部に敲打痕が認められる。上からの加撃に対する反作用が十分に生じていない段階の資料と考える(S15)。1点のみの出土で、厚さは0.8cmである。

楔形石器B類は片側が両刃状、逆側が方形状で、方形状部の角に敲打痕がある。敲打の反作用で台石に置いた側が剥離した資料と考える(S6・S52・S53)。厚さは0.4~1.35cmである。

楔形石器C類は両端が刃部状である（S3～S5・S7・S54～S66）。加撃と台石からの反作用で両極剥離が進行した資料と推測する。厚さは0.45～2.1cmである。

上東中嶋遺跡出土の楔形石器を3分類したが、これは剥離作業の進行に対応する（第49図）。作業は素材を台石に据えて上から打撃を加えるというものである。この作業では台



石に接する側が打撃の反作用により剥離していく（A類→B類）。さらに作業の進行に伴い打撃側からも小型剥片が剥離する（B類→C類）。なお、片側端部に敲打痕があり、その対極が薄くなるもしくは折損する小型剥片も認められたが、これはA類→B類→C類の工程で生じた小型剥片と考える。

上記から上東中嶋遺跡では両極技法による小型剥片の連続剥離が行われ、楔形石器はこの作業で生じた残核と考える。楔形石器は裁断面が見られる資料がほとんどであることから、両極技法の対象となった剥片は板状素材を分割したものと判断できる。また、B・C類は厚さに差が認められたが、このことは両極技法の対象素材に厚薄があったと分かり、遺跡に搬入された素材の厚さとも関わる。

なお、楔形石器の中には長軸、短軸ともに1cmにも満たない小型品も存在するが、小型の楔形石器から石器素材となる剥片剥離は困難である。ただ、摘み部上端に敲打痕が明瞭に認められる石錐S50が出土したことから、楔形石器からの石器製作も判明した。また、S64は敲打痕がある軸と直交する向きに剥離が加えられており、S64も楔形石器からの石器製作を示す。

石器の破損品に両極技法を加えて剥片剥離を行った遺物も認められた。S53・S60は表面に摩耗が認められることから、石鏃破損品に両極技法を加えてB・C類それぞれの楔形石器になったと考える。

ところで、石鏃S67のような大型石器は、両極技法ではなく板状素材に直接調整を加えて製作する。搬入した板状素材から手頃なサイズを選択して、それに直接調整を加えて完成させたのであろう。

小型石器にも両極技法によらない資料がある。S68は形態、サイズが石鏃S45に近いことから石鏃未製品と推測する。S68に敲打痕は認められず、両極技法の確証は得られない。分割工程で生じた剥片を加工して形状を整えたが、押圧剥離による仕上げ調整を行う前段階の資料と考えておきたい。

以上が上東中嶋遺跡で確認できた石器製作の内容である。作業場所は特定できないが、土器と同様の出土状況から調査区外で作業を行い残核や剥片、破損品を緩斜面に投棄したと考える。（上柙）

参考文献

- ・岡村道雄1983「ピエス・エスキーユ、楔形石器」『縄文文化の研究』7 雄山閣
- ・栗田茂敏2000「まとめ」『大淵遺跡』松山市教育委員会・財団法人 松山市生涯学習振興財団・埋蔵文化財センター
- ・栄 一郎1986「石器類の分析」『岡山大学津島地区遺跡群の調査』Ⅱ 岡山大学埋蔵文化財調査室
- ・高田浩司2001「吉備における弥生時代中期の石器の生産と流通」『古代吉備』第23集 古代吉備研究会
- ・竹広文明2003『サヌカイトと先史社会』溪水社
- ・平井 勝1988「岡山県における縄文晩期突帯文土器の様相」『古代吉備』第10集 古代吉備研究会
- ・平井 勝1992「弥生時代への移行」『吉備の考古学的研究』上 山陽新聞社
- ・平井泰男2000「中部瀬戸内地方における縄文時代後期末葉から晩期の土器編年試案」『突帯文と遠賀川』土器持寄会
- ・山本悦世1992「縄文時代晩期の土器群について」『津島岡大遺跡』3 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター

付載 上東中嶋遺跡出土動物遺存体

岡山理科大学
富岡直人

上東中嶋遺跡では、縄文時代晩期から近代の堆積層が把握され、それらより表1のような動物遺存体が出土した。その帰属層位や生物学的特徴について詳細な内容は表2に示す。

1. 縄文時代晩期

水成堆積層の下がり1下層と上層よりイノシシ類とニホンジカが出土した。種が同定されたものはイノシシ類とニホンジカであり、出土部位は頭蓋と歯であった。

この時期の堆積層中にイノシシ類の下顎骨が3点以上存在していたことが左下顎骨第3後臼歯の出土状況から推定される。これらに穿孔はみられなかったが、破損しているため、孔が失われた可能性も残る。このように下顎骨がまとまって出土することは、近くでは岡山市南方遺跡の弥生時代の例で知られているが、本資料は縄文時代晩期に属し時期はやや古い。縄文時代にもイノシシ類の顎骨が集積することは、宮城県西の浜貝塚などで知られているので、本資料もそのような例かもしれない。

イノシシ類第3臼歯 (No. 4) や目不明資料 (No. 8) は白色を呈し、火を受け高い温度になった痕跡と考えられる。このように白色化したイノシシ類の骨格は、山梨県金生遺跡で数多く発見され、金子浩昌らによって祭祀との関わりが指摘されているが、本資料については点数が少なく、積極的に祭祀との関わりを論ずるのは困難と考えられる。

2. 中世

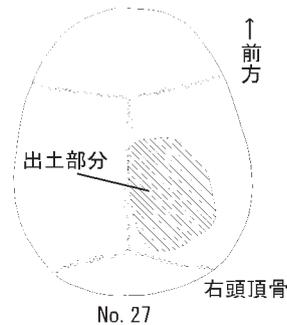
下がり2、溝7からニホンジカとウシが出土した。それ以外にも下がり2と溝2等から哺乳類と考えられる骨格が出土している。

残念ながら、ウシの体高は復元することが出来なかったが、県内では百間川米田遺跡などで確認されている比較的小さい体躯のものであったと推定される。

3. 中世～近代およびそれ以降

水成堆積層中より中世以降のウシ、近代のウシ・ウマ・ヒト、近代以降のウシが検出されている。

近代の水成堆積層（粗砂層）より出土したヒト頭頂骨 (No.27) は矢状縫合の硬骨化が終了していなかった。この部分の縫合が完了するのは30～40歳頃であることから、この資料はそれ以前の年齢段階のもものと推定される。破片であることから性別不明、身長推定不能である。内面側の動脈溝などが看取され、風化・水磨の程度は比較的軽微であり、比較的近い地点（墓地など?）で散乱した死体から供給された可能性が高いと考えられる。



第1図 出土ヒト頭蓋
上面観模式図

表1 出土動物遺存体リスト

| | |
|-----------|---------------------------------|
| 軟体動物門 | Mollusca |
| 斧足綱 | Bivalvia |
| ハマグリ目 | Heterodonta |
| シジミガイ科 | Corbiculidae |
| ヤマトシジミ | <i>Corbicula japonica</i> |
| 脊椎動物門 | Vertebrata |
| 哺乳綱 | Mammalia |
| 偶蹄目 | Artiodactyla |
| イノシシ科 | Suidae |
| イノシシ類 | <i>Sus scrofa</i> subsp. indet. |
| シカ科 | Cervidae |
| ニホンジカ | <i>Cervus nippon</i> |
| ウシ科 | Bovidae |
| ウシ | <i>Bos taurus domesticus</i> |
| ウマ目 (奇蹄目) | Perissodactyla |
| ウマ科 | Equidae |
| ウマ | <i>Equus caballus</i> |
| サル目 (霊長目) | Primates |
| ヒト科 | Hominidae |
| ヒト | <i>Homo sapiens</i> |

表2 出土動物遺存体属性表

| 報告書 整理番号 | 発掘時 整理番号 | 旧出土 地区 | 遺構 | 層位 | 時期 | 大分類 | 小分類 | 部位 | LRMI | 部分 | 成長度 | 破損 | 色調 | 計測値 (mm) | 備考 |
|-------------|-------------|-----------|--------------|---------|------|-----|---------------|--------|------|-----------------------------|------------------------------|-----|--------|--|-----------------|
| 1 | 7 | 1 | 下がりI西 | 上層 | 縄文晩期 | 哺乳綱 | イノシシ類 | 下顎臼歯 | ? | 歯冠部 | 不明 | 不明 | 茶褐色 | | |
| 2 | 11 | 1 | 下がりI | 下層 | 縄文晩期 | 哺乳綱 | イノシシ類 | 下顎骨 | L | 臼歯部、第2,3臼歯 | 成 ^{***} 、M2小窩 連結 | なし? | 茶褐色 | M3L:39.50, Ba:15.45, Bm: 14.65, Bp:13.20, M2 Bp:12.40 | |
| 3 | 8 | 1 | 下がりI西 | 上層 | 縄文晩期 | 哺乳綱 | イノシシ類 | 下顎第3臼歯 | L | 歯冠部 | 萌出途次 | なし? | 茶褐色 | L: 33.15, Ba: 17.25, Bm: 17.00, 14.40 | |
| 4 | 7 | 1 | 下がりI西 | 上層 | 縄文晩期 | 哺乳綱 | イノシシ類 | 下顎第3臼歯 | L | 歯冠部 | 成獣、咬頭2列 咬耗開始 | 不明 | 白色 | M3Bp: 13.20 | |
| 5 | 9 | 1 | 下がりI西 | 上層 | 縄文晩期 | 哺乳綱 | ニホンジカ | 臼歯 | L | 歯冠部破片 | 不明 | 不明 | 茶褐色? | — | |
| 6 | 8 | 1 | 下がりI西 | 上層 | 縄文晩期 | 哺乳綱 | ニホンジカ | 上顎骨 | R | 第1後臼歯冠部完形一部欠 損、第2後臼歯冠部破片 | エナメル質咬耗 開始? | 不明 | 茶褐色 | L: (19.90) | |
| 7 | 6 | 1 | 下がりI西 | 上層 | 縄文晩期 | 哺乳綱 | 目不明 | 不明 | ? | 骨幹部 | 不明 | 不明 | 茶褐色 | — | |
| 8 | 8 | 1 | 下がりI西 | 上層 | 縄文晩期 | 哺乳綱 | 目不明 | 不明 | ? | 骨幹部 | 不明 | 不明 | 白色 | — | |
| 9 | 10 | 1 | 下がりI | 下層 | 縄文晩期 | 哺乳綱 | 目不明 | 不明 | ? | 骨幹部 | 不明 | 不明 | 茶褐色 | — | |
| 10 | 4 | 1 | 下がり2 | 下層 | 中世 | 哺乳綱 | ニホンジカ | 上腕骨 | L | 遠位端+骨幹部 | dit | 不明 | 茶褐色 | — | 偽切創(遠 位端) |
| 11 | 19 | 2 | 溝7 | | 中世 | 哺乳綱 | ウシ | 上腕骨 | R | 遠位端 | dit | 不明 | 茶褐色 | — | |
| 12 | 19 | 2 | 溝7 | | 中世 | 哺乳綱 | ウシ | 大腿骨 | R | 骨幹部 | 不明 | 不明 | 茶褐色 | — | |
| 13 | 1 | 1 | 下がり2 | | 中世 | 哺乳綱 | 目不明(中型) | 四肢骨? | ? | 骨幹部 | 不明 | 不明 | 茶褐色 | — | |
| 14 | 2 | 1 | 下がり2 | 上層 | 中世 | 哺乳綱 | 目不明(中型) | 椎骨 | ? | 破片 | 不明 | 不明 | white | — | 火葬人骨の 可能性あり |
| 15 | 4 | 1 | 下がり2 | 下層 | 中世 | 哺乳綱 | 目不明(中型) | 不明 | ? | 骨幹部 | 不明 | 不明 | 茶褐色 | — | 風化が著しく 進んでいる |
| 16 | 5 | 1 | 溝2 | | 中世 | 哺乳綱 | 目不明(中型) | 不明 | ? | 骨幹部 | 不明 | 不明 | 茶褐色 | — | |
| 17 | 12 | 1 | 中世骨 | | 中世 | 哺乳綱 | 目不明 | 不明 | ? | 骨幹部 | 不明 | 不明 | 茶褐色 | — | |
| 18 | 22 | 2 | 包含層 | L=1.2m | 中世以降 | 足綱 | ヤマトシジミ | 殻体 | R | 殻質+殻皮・完形 | 不明 | なし? | 茶褐色 | 殻長 ≥ 21.65mm、殻高 ≥ 18.55mm | 保存良好 |
| 19 | 14 | 1 | 包含層 | L=1.9 m | 中世以降 | 哺乳綱 | ウシ | 上顎臼歯 | ? | 歯冠部破片 | 小窩独立 | 不明 | normal | — | |
| 20 | 15 | 1 | 包含層 | L=1.8m | 中世以降 | 哺乳綱 | ウシ | 上顎臼歯 | ? | 歯冠部破片 | 小窩独立 | 不明 | normal | — | |
| 21 | 26 | 3B | 包含層 | L=1.53m | 中世以降 | 哺乳綱 | ウシ | 中手骨 | R | 骨幹部+近位端 | pf | 不明 | 茶褐色 | Bp: 53.55, SD: 29.10 | |
| 22 | 17 | 2 | 包含層 | 粗砂 | 近代 | 哺乳綱 | ウシ | 距骨 | R | 近位端 | f | 不明 | 茶褐色 | — | |
| 23 | 21 | 2 | 包含層 | 粗砂 | 近代 | 哺乳綱 | ウシ | 上腕骨 | R | 骨幹部 | 不明 | 不明 | 茶褐色 | — | |
| 24 | 18 | 2 | 包含層 | 粗砂 | 近代 | 哺乳綱 | ウマ | 上顎第1臼歯 | L | 完形 | 小窩連結 | 不明 | 茶褐色 | L: 27.35, B: 24.90, 齒冠 長: 57.90 | |
| 25 | 18 | 2 | 包含層 | 粗砂 | 近代 | 哺乳綱 | ウマ | 上顎第2臼歯 | L | 完形 | 小窩連結 | 不明 | 茶褐色 | L: 26.70, B: 23.65, 齒冠 長: 60.45 | |
| 26 | 18 | 2 | 包含層 | 粗砂 | 近代 | 哺乳綱 | ウマ | 上腕骨 | R | 骨幹部+遠位端 | dit | 不明 | 茶褐色 | SD: 26.40 | 偽切創 (遠位端) |
| 27 | 20 | 2 | 包含層 | 粗砂 | 近代 | 哺乳綱 | ヒト | 頭頂骨 | R | 完形一部欠損 | 矢状縫合骨化未了 | 不明 | 茶褐色 | — | |
| 28 | 17 | 2 | 包含層 | 粗砂 | 近代 | 哺乳綱 | 目不明 | 不明 | ? | 骨幹部 | 不明 | 不明 | 茶褐色 | — | |
| 29 | 16 | 2 | 包含層 | 粗砂 | 近代 | 哺乳綱 | 目不明 | 不明 | ? | 骨幹部+骨幹部 | f | 不明 | 茶褐色 | — | |
| 30 | 27 | 3B | 包含層 | 表土掘削中 | 近代以降 | 哺乳綱 | ウシ | 下顎骨 | L | 関節突起 | pf | 不明 | 茶褐色 | — | |
| 31 | 25 | 3A | トレンチ (最終) | | ? | 哺乳綱 | ウシ | 脛骨 | R | 骨幹部 | 不明 | 不明 | 茶褐色 | — | |
| 32 | 23 | 3A | 側溝 | | ? | 哺乳綱 | 目不明 (中~大型) | 四肢骨? | ? | 骨幹部 | 不明 | 不明 | 白色 | — | |
| 33 | 13 | 1 | 清掃中 | | ? | 哺乳綱 | 目不明 | 不明 | ? | 骨幹部 | 不明 | 不明 | 茶褐色 | — | 風化が著しく 進んでいる |

※破損のspはspiralの略



1. ヤマトシジミ (No.18) 2-3. イノシシ類 (2. 下顎骨 No.2、3. 下顎第3後臼歯 No.3) 4. ニホンジカ (上顎骨 No.6)

写真1 出土動物遺存体 (貝類・哺乳類)



1-3. ウシ (1. 距骨 No.22、2. 中手骨 No.21、3. 脛骨 No.31)
4-6. ウマ (4. 上顎第1後臼歯 No.24、5. 上顎第2後臼歯 No.25、6. 上腕骨 No.26) 7. ヒト (頭頂骨 No.27)

写真2 出土動物遺存体 (哺乳類)

遺構一覧表

土器棺

| 掲載 番号 | 旧遺構名 | | 平面形 | 計測値(cm) | | | 断面形 | 底面海拔高(cm) | 出土遺物 | 時期 |
|----------|------|----|-----|---------|----|----|-----|-----------|------|-------|
| | 区 | No | | 長さ | 幅 | 深さ | | | | |
| 1 | 1 | 16 | 楕円形 | (71) | 70 | 21 | 逆台形 | 175 | 弥生土器 | 弥生後期末 |

柱穴列

| 掲載 番号 | 旧遺構名 | | 計測値(cm) | | | 柱穴 | | | | 主軸方位 | 出土遺物 | 時期 |
|----------|------|----|---------|-----|---------|-------|--------|-------|--------|---------|------|--------|
| | 区 | No | 間数 | 長さ | 柱間 | 平面形 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 深さ(cm) | | | |
| 1 | 1 | 9 | 3 | 759 | 235~278 | 不整楕円形 | 76 | 55 | 70 | N-68°-E | 土師器 | 14世紀前半 |

井戸

| 掲載 番号 | 旧遺構名 | | 平面形 | 計測値(cm) | | | 断面形 | 底面海拔高(cm) | 出土遺物 | 時期 |
|----------|------|----|-----|---------|-----|-----|-----|-----------|-------------|------|
| | 区 | No | | 長さ | 幅 | 深さ | | | | |
| 1 | 1 | 4 | 楕円形 | 121 | 117 | 240 | 円形 | -50 | 土師器・備前焼・須恵器 | 14世紀 |

配石遺構

| 掲載 番号 | 旧遺構名 | | 平面形 | 計測値(cm) | | | 出土遺物 | 時期 |
|----------|------|----|-------|---------|-------|----|--------|----|
| | 区 | No | | 長さ | 幅 | 深さ | | |
| 1 | 1 | 8 | 不整長方形 | (185) | (170) | 17 | 土師器・銭貨 | 中世 |

土壇

| 掲載 番号 | 旧遺構名 | | 平面形 | 計測値(cm) | | | 断面形 | 底面海拔高(cm) | 出土遺物 | 時期 |
|----------|------|----|-------|---------|-----|----|-----|-----------|---------|--------|
| | 区 | No | | 長さ | 幅 | 深さ | | | | |
| 1 | 1 | 15 | 不整楕円形 | 131 | 75 | 29 | 逆台形 | 162 | 弥生土器 | 弥生後期後半 |
| 2 | 1 | 17 | 不整楕円形 | (100) | 90 | 34 | 二段 | 124 | 弥生土器 | 弥生時代 |
| 3 | 1 | 18 | 楕円形 | (124) | 84 | 47 | 碗 | 123 | 弥生土器 | 弥生時代 |
| 4 | 1 | 19 | 不整円形 | 113 | 102 | 20 | 逆台形 | 147 | 弥生土器 | 弥生時代 |
| 5 | 1 | 2 | 円形 | 87 | - | 24 | 逆台形 | 163 | 土師器・須恵器 | 中世 |

溝

| 掲載 番号 | 旧遺構名 | | 計測値(cm) | | | 断面形 | 流走方向 | 底面海拔高 (cm) | 出土遺物 | 時期 |
|----------|------|----|---------|-----|----|-----|---------|---------------|----------------|----------|
| | 区 | No | 検出長 | 幅 | 深さ | | | | | |
| 1 | 1 | 11 | 580 | 92 | 16 | 溝鉢 | N-12°-E | 153 | 土師器・須恵器・鉄器 | 14世紀前半 |
| 2 | 1 | 12 | 340 | 235 | 51 | 碗 | N-69°-W | 104 | 土師器・須恵器・備前焼・鉄器 | 14世紀前半 |
| 3 | 1 | 13 | 450 | 77 | 12 | 逆台形 | N-6°-W | 188 | 土師器 | 14世紀 |
| 4 | 1 | 14 | 330 | 115 | 14 | 碗 | N-74°-W | 164 | 土師器・須恵器・土製品 | 14世紀中頃 |
| 5 | 1 | 7 | 525 | 110 | 9 | 逆台形 | N-75°-W | 169 | 土師器・備前焼 | 14世紀中頃 |
| 6 | 1 | 6 | 770 | 10 | 7 | 逆台形 | N-16°-E | 185 | 土師器・青磁・鉄器 | 14世紀後半以降 |
| 7 | 2 | 6 | 1040 | 370 | 82 | 逆台形 | N-70°-W | 51 | 土師器・須恵器・龟山焼 | 14世紀 |

下がり

| 掲載 番号 | 旧遺構名 | | 計測値(cm) | | 流定方向 | 底面海拔高 (cm) | 出土遺物 | 時期 |
|----------|------|----|---------|----|---------|---------------|--|-----------|
| | 区 | No | 検出長 | 深さ | | | | |
| 1 | 1 | 20 | 1100 | 30 | N-19°-E | 120 | 縄文土器・石器・剣片・獣骨 | 縄文時代晩期末 |
| 2 | 1 | 10 | 2075 | 96 | N-21°-E | 90 | 土師器・須恵器・備前焼・龟山焼・青磁・白磁・瓦質土器・石器・土製品・金属製品 | 14世紀前半~中葉 |

遺物一覧表

土器・陶器

| 番号 | 調査区 | 遺構名 | 種別 | 器種 | 計測値(cm) | | | | 色調 | 胎土 | 状態 | 備考 |
|----|-----|------|--------|----|---------|------|------|------|----------------|---------|----------|--|
| | | | | | 口径 | 底径 | 底幅 | 器高 | | | | |
| 1 | 1区 | T7 | 縄文土器 | 深鉢 | 25.6 | - | - | - | 灰白(10YR8/2) | | 1/16 | 外-一条刻目突帯・ナデ・ケズリ 内-ナデ |
| 2 | 3A区 | T8 | 弥生土器 | 壺 | - | - | - | - | 灰白(7.5YR8/2) | | | 外-木葉文・ナデ 内-ナデ |
| 3 | - | T2 | 土師器 | 小皿 | 8.1 | - | 6.4 | 1.7 | にぶい黄澄(10YR7/2) | | 3/4 | 外-ヨコナデ 内-ナデ 底部ヘラ切り |
| 4 | 11区 | T7 | 土師器 | 碗 | 9.5 | - | 3.5 | 3.6 | にぶい黄澄(10YR7/2) | | 完存 | 外-ヨコナデ・ナデ 内-ナデ |
| 5 | 11区 | T7 | 土師器 | 碗 | 9.8 | - | 5.7 | 3.5 | にぶい橙(7.5YR7/3) | | 2/3 | 内外-指押さえ・ナデ |
| 6 | - | T3 | 土師器 | 碗 | - | - | 6.3 | - | 灰白(2.5YR8/1) | | | 内外-ヨコナデ・ナデ 貼付高台 |
| 7 | 11区 | T7 | 備前焼 | 甕 | - | - | - | - | 灰(N5/) | | | 内外-ヨコナデ |
| 8 | 11区 | T7 | 備前焼 | 搦鉢 | - | - | - | - | 灰赤(2.5YR4/2) | | | 外-ナデ 内-ナデ・搦鉢 |
| 9 | 11区 | T7 | 東播系須恵器 | 搦鉢 | - | - | - | - | 灰(N5/) | | | 内外-ナデ |
| 10 | 11区 | 土器箱1 | 弥生土器 | 壺 | 24.0 | 44.8 | 12.5 | 46.5 | 橙(5YR6/8) | | 4/5 | 頸部から分割して、胴部を棺に転用 外-凹線・ハケメ・ミガキ 内-ハケメ・ミガキ・ケズリ |
| 11 | 11区 | 土器箱1 | 弥生土器 | 鉢 | 41.1 | 42.7 | - | - | 橙(5YR6/6) | 長石・石英 多 | 3/4 | 内外-ハケメ・ミガキ 楕に転用 |
| 12 | 11区 | 土壇1 | 弥生土器 | 甕 | 13.0 | - | - | - | 橙(5YR6/6) | | | 口縁部1/7 外-凹線・ナデ 内-ナデ |
| 13 | 11区 | 土壇1 | 弥生土器 | 甕 | 13.4 | - | - | - | 明赤褐(5YR5.8) | | | 口縁部1/7 外-凹線・ナデ 内-ナデ |
| 14 | 11区 | 土壇1 | 弥生土器 | 甕 | 15.2 | - | - | - | 橙(5YR6/6) | 長石 多 | | 外-凹線 内外-摩滅著しい |
| 15 | 11区 | 土壇1 | 弥生土器 | 甕 | 13.0 | 18.0 | - | - | 橙(7.5YR6/6) | 長石・石英 多 | 1線~胴部1/8 | 外-摩滅著しい 内-ヨコナデ・ケズリ |
| 16 | 11区 | 土壇1 | 弥生土器 | 甕 | 16.2 | - | - | - | にぶい橙(7.5YR6/4) | 長石 多 | | 外-摩滅著しい 内-ナデ・ケズリ |
| 17 | 11区 | 土壇1 | 弥生土器 | 甕 | 17.8 | - | - | - | にぶい黄澄(10YR7/3) | 長石・石英 多 | 1線部1.8 | 外-摩滅著しい 内-ナデ・ケズリ |
| 18 | 11区 | 土壇1 | 弥生土器 | 甕 | 9.8 | 11.6 | - | - | にぶい黄澄(10YR7/3) | | 口縁~胴部1.8 | 外-ナデ 内-ナデ・ケズリ |
| 19 | 11区 | 土壇1 | 弥生土器 | 甕 | 16.8 | 17.8 | - | - | 橙(5YR6/8) | | 口縁~胴部1.8 | 外-ナデ・ミガキ 内-ナデ・ケズリ |
| 20 | 11区 | 土壇1 | 弥生土器 | 甕 | - | - | - | - | 明赤褐(2.5YR5.6) | 長石・石英 多 | | 外-ナデ 内-ナデ・ケズリ |
| 21 | 11区 | 土壇1 | 弥生土器 | 甕 | - | - | - | - | 明赤褐(2.5YR5.6) | | | 外-ナデ 内-ナデ・ケズリ |
| 22 | 11区 | 土壇1 | 弥生土器 | 甕 | - | 26.8 | 6.8 | - | にぶい橙(7.5YR5/4) | 長石・石英 多 | 胴部下半1/3 | 外-ミガキ 内-ケズリ |
| 23 | 11区 | 土壇1 | 弥生土器 | 高杯 | 21.8 | - | - | - | 橙(5YR6/6) | 長石・石英 多 | 1線部破片 | 内外-ミガキ |
| 24 | 11区 | 土壇1 | 弥生土器 | 鉢 | - | - | 7.4 | - | にぶい橙(7.5YR6/4) | 長石・石英 多 | 底部3/4 | 外-ミガキ・指押さえ 内-工具の当たり痕 |
| 25 | 11区 | 土壇1 | 弥生土器 | 鉢 | - | - | 10.3 | - | にぶい橙(7.5YR6/4) | 長石 多 | 底部完存 | 外-摩滅著しい |

土器・陶器

| 番号 | 調査区 | 遺構名 | 種別 | 器種 | 計測値(cm) | | | | 色調 | 胎土 | 状態 | 備考 |
|-----|-----|------|------|----|---------|-------|----|----|----------------|------------|-----------|---|
| | | | | | 口径 | 最大径 | 底径 | 器高 | | | | |
| 26 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | 28.6 | - | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 石英 多 | 口縁部 1/8 | 外-二条刻目突帯・口縁刻目・ナデ 内-沈線1条・ナデ |
| 27 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | 39.0 | - | - | - | 橙(5YR6/8) | 長石・石英 多 | 口縁-胴部 1/7 | 外-二条刻目突帯・ナデ・ケズリ 内-沈線1条・ナデ |
| 28 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 黒褐(2.5Y 3/1) | | 口縁部 1/5 | 外-沈線1条・ナデ・ケズリ 内-沈線1条・ナデ |
| 29 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 褐灰(7.5YR4/1) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・口縁刻目・ナデ 内-沈線1条・ナデ |
| 30 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/4) | | | 外-一条沈線・山形文・ナデ・ケズリ 内-ナデ |
| 31 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/4) | | | 外-一条沈線・山形文・ナデ・ケズリ 内-ナデ |
| 32 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | 39.2 | - | - | - | にぶい橙(7.5YR7/4) | 長石・石英 多 | 口縁-胴部 1/4 | 外-二条刻目突帯・山形文 内外-ナデ・ケズリ |
| 33 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | 26.6 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | 長石・石英・雲母 多 | 口縁-胴部 1/6 | 外-二条刻目突帯・口縁刻目・ナデ・ケズリ 内-ナデ・種子痕 |
| 34 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | 29.8 | - | - | - | にぶい黄褐(10YR6/3) | 長石・石英 多 | 口縁-胴部 1/5 | 外-二条刻目突帯 内外-ナデ |
| 35 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | 25.6 | - | - | - | 橙(7.5YR7/7) | 長石・石英 多 | 口縁部 1/4 | 外-二条刻目突帯・ナデ・ケズリ 内-ナデ |
| 36 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | 31.6 | - | - | - | 黒褐(10YR3/2) | 長石 多 | 口縁部 1/8 | 外-二条刻目突帯・ナデ 内-貝殻条痕 |
| 37 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄褐(10YR5/3) | | | 外-一条刻目突帯 内外-ナデ |
| 38 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ |
| 39 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・石英 多 | | 外-一条刻目突帯 内外-ナデ |
| 40 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ |
| 41 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 黒褐(10YR3/1) | 長石・石英・雲母 | | 外-刻目突帯・ナデ 内-貼付突起・ナデ |
| 42 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | 27.0 | 29.2 | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | 長石 多 | 1/6 | 外-一条刻目突帯・ケズリ・煤付着 内-ナデ AMS:2570=30YR BP (cal. BC 802-753年) |
| 43 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | 28.6 | - | - | - | 黄灰(2.5Y 4/1) | 長石・石英 多 | 口縁-胴部 1/6 | 外-一条刻目突帯・ナデ・ケズリ 内-沈線1条・ナデ |
| 44 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | 26.0 | - | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石・石英 多 | 口縁部 1/8 | 外-一条刻目突帯・ケズリ・ナデ 内-ナデ |
| 45 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | 23.0 | - | - | - | 褐灰(7.5YR4/1) | 長石・石英 多 | | 外-一条刻目突帯・ケズリ 内-貝殻条痕 |
| 46 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | 24.8 | - | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石・石英 多 | 口縁部 1/8 | 外-一条刻目突帯 内外-ナデ |
| 47 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | | | 外-刻目突帯・口縁刻目 内外-ナデ |
| 48 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・口縁刻目 内外-ナデ |
| 49 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 黒褐(7.5Y 3/1) | 長石・石英 多 | | 外-一条刻目突帯・ケズリ 内-ナデ |
| 50 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | 13.7 | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・石英 多 | 口縁部 1/6 | 外-刻目突帯・ケズリ 内-ナデ |
| 51 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 黄灰(2.5Y 4/1) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ |
| 52 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 浅黄(2.5Y 7/3) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ |
| 53 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・ケズリ 内-ナデ |
| 54 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 黒褐(7.5YR3/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・ナデ 内-沈線1条・ナデ |
| 55 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい橙(7.5YR6/4) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・ナデ 内-沈線1条・ナデ |
| 56 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰褐(7.5YR4/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・ナデ 内-沈線1条・ナデ |
| 57 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 浅黄(2.5Y 7/3) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・貝殻条痕 内-沈線1条・ナデ |
| 58 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄褐(10YR5/3) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・ナデ 内-沈線1条・ナデ |
| 59 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰白(10YR8/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・ナデ 内-沈線1条・ナデ |
| 60 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・ナデ 内-沈線1条・ナデ |
| 61 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・ナデ 内-沈線1条・ナデ |
| 62 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄(2.5Y 7/2) | | | 外-刻目突帯・ナデ 内-沈線1条・ナデ |
| 63 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ |
| 64 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 褐灰(10YR4/1) | | | 外-刻目突帯 内外-ナデ |
| 65 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい褐(7.5YR5/4) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ |
| 66 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄褐(10YR5/3) | | | 外-刻目突帯 内外-ナデ |
| 67 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 橙(5YR6/6) | | | 外-刻目突帯 内外-ナデ |
| 68 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 黄灰(2.5Y 6/1) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ |
| 69 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | | | 外-刻目突帯 内外-ナデ |
| 70 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 黄灰(2.5Y 5/1) | 長石 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ |
| 71 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ |
| 72 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | | | 外-刻目突帯 内外-ナデ |
| 73 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい赤褐(5YR5/4) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ |
| 74 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄(2.5Y 6/3) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ |
| 75 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ |
| 76 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ |
| 77 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい橙(7.5YR7/3) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ |
| 78 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | | | 外-刻目突帯 内外-ナデ |
| 79 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄褐(10YR5/3) | 長石・石英 多 | | 外-胴部刻目突帯・ナデ・ケズリ 内-ナデ |
| 80 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 橙(5YR6/6) | 長石・石英 多 | | 外-胴部刻目突帯・ナデ・ケズリ 内-ナデ |
| 81 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/4) | 長石・石英 多 | | 外-胴部刻目突帯・ナデ 内-ケズリ |
| 82 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 黒褐(10YR3/1) | 長石・石英 多 | | 外-胴部刻目突帯 内外-ナデ |
| 83 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄褐(10YR4/3) | 長石・石英 多 | | 外-胴部刻目突帯 内外-ナデ |
| 84 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | 長石・石英 多 | | 外-胴部刻目突帯・ナデ 内-ナデ |
| 85 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石 多 | | 外-胴部刻目突帯 内外-貝殻条痕 |
| 86 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・石英 多 | | 外-胴部刻目突帯・ナデ・ケズリ 内-ナデ |
| 87 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 橙(5YR6/6) | 長石・石英 多 | | 外-胴部刻目突帯 内外-ナデ |
| 88 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | | | 外-胴部刻目突帯 内外-ナデ |
| 89 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | 長石・石英 多 | | 外-胴部刻目突帯 内外-ナデ |
| 90 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 橙(5YR7/6) | | | 外-胴部刻目突帯 内外-ナデ |
| 91 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 褐(7.5YR4/3) | | | 外-胴部刻目突帯 内外-ナデ |
| 92 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | 長石 多 | | 外-胴部刻目突帯・ケズリ 内-ナデ |
| 93 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 橙(5YR6/6) | | | 外-胴部刻目突帯 内外-ナデ |
| 94 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | | | 外-胴部刻目突帯 内外-ナデ |
| 95 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | 長石・石英 多 | | 外-胴部刻目突帯 内外-ナデ |
| 96 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR4/2) | 長石・石英 多 | | 外-胴部刻目突帯・ナデ・ケズリ 内-ナデ |
| 97 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 橙(5YR6/6) | 長石・石英 多 | | 外-胴部刻目突帯 内外-ナデ |
| 98 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい褐(7.5YR5/4) | | | 外-無刻目突帯(縦方向) 内外-ナデ |
| 99 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (291) | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | | 胴部 1/8 | 外-沈線2条(ベンガラ塗布) 内外-ミガキ |
| 100 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (270) | - | - | 灰黄(2.5Y 7/2) | 長石・石英 多 | | 外-沈線1条 内外-ナデ・ケズリ |
| 101 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | | | 外-沈線1条 内外-ミガキ |
| 102 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | | | 外-沈線1条 内外-ナデ |
| 103 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 褐灰(10YR4/1) | 長石・石英 多 | | 外-沈線1条・ナデ・ケズリ 内-ナデ |
| 104 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 黒褐(10YR3/1) | 長石 多 | | 外-沈線1条・ナデ 内-ミガキ |

土器・陶器

| 番号 | 調査区 | 遺構名 | 種別 | 器種 | 計測値(cm) | | | | 色調 | 胎土 | 状態 | 備考 |
|-----|-----|-----------|------|----|---------|------|--------|----------------|----------|-----------|------------------------------|----|
| | | | | | 口径 | 最大径 | 底径 | 器高 | | | | |
| 105 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 浅黄(2.5Y7/3) | 長石・石英 多 | | 外-沈線1条・ナデ・ケズリ 内-貝殻条痕 | |
| 106 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 灰黄褐(10YR4/2) | | | 外-沈線1条 内外-ナデ | |
| 107 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 浅鉢 | 35.6 | - | - | にぶい橙(7.5YR6/4) | 長石 多 | 1/4 | 外-ナデ・ケズリ・黒斑文様 内-沈線・ミガキ | |
| 108 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | にぶい赤褐(5YR5/3) | | | 内外-ミガキ | |
| 109 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | 黒褐(10YR3/1) | 長石・石英 多 | | 内-沈線(ベンガラ塗布) 内外-ナデ | |
| 110 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | 褐灰(10YR4/1) | | | 外-ナデ・ミガキ 内-沈線1条・ミガキ | |
| 111 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石・石英 多 | | 外-沈線・ナデ・ケズリ 内-沈線(ベンガラ塗布)・ミガキ | |
| 112 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | | | 外-ナデ・ケズリ 内-ナデ | |
| 113 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | 黄灰(2.5Y4/1) | 長石・石英 多 | | 外-1口唇凹み・ナデ 内-沈線1条・ナデ | |
| 114 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | にぶい黄褐(10YR5/3) | | | 内-沈線1条 内外-ナデ | |
| 115 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | 黒褐(10YR3/1) | | | 内-沈線1条 内外-ナデ | |
| 116 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 浅鉢 | 18.6 | - | - | 褐灰(10YR4/1) | | 口縁-一部1/6 | 外-ナデ・ケズリ 内-沈線1条・ナデ | |
| 117 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | 灰褐(10YR4/2) | | | 内-沈線2条 内外-ナデ | |
| 118 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | 褐灰(10YR5/1) | 長石・石英 多 | | 内-沈線2条 内外-ナデ | |
| 119 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・石英 多 | | 内-沈線1条 内外-ナデ | |
| 120 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 浅鉢 | 19.8 | - | - | 黒褐(10YR3/2) | 長石・石英 多 | 口縁-一部1/8 | 内外-ナデ | |
| 121 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | 暗灰黄(2.5Y5/2) | 長石・石英 多 | | 内外-ナデ | |
| 122 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | 黄灰(2.5Y4/1) | 長石 多 | | 内外-ナデ | |
| 123 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | にぶい橙(7.5YR6/4) | | | 外-ナデ 内-沈線1条・ミガキ | |
| 124 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | 黒褐(2.5Y3/1) | 長石 多 | | 内-沈線1条 内外-ナデ | |
| 125 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | | | 外-ナデ 内-沈線1条・ミガキ | |
| 126 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | 明赤褐(2.5YR5/6) | 長石・石英 多 | | 外-ナデ・ケズリ 内-沈線1条・ナデ | |
| 127 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | | | 内外-ナデ | |
| 128 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 壺 | 17.7 | 38.8 | - | にぶい橙(7.5YR6/4) | 長石・石英 多 | 口縁部1/4 | 外-沈線1条 内外-ナデ | |
| 129 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 壺 | - | 10.0 | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | 長石・石英 多 | 頸-肩部1/3 | 外-沈線1条 内外-ナデ | |
| 130 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 橙(5YR6/6) | 長石・石英 多 | 底部完存 | 丸底 外-ケズリ 内-ナデ | |
| 131 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | にぶい橙(7.5YR6/4) | | | 丸底 内外-ナデ | |
| 132 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 橙(5YR6/6) | | | 丸底 外-ケズリ 内-ナデ | |
| 133 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | にぶい褐(7.5YR5/4) | 長石・石英 多 | | 外-ケズリ 内-ナデ | |
| 134 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | 7.0 | 橙(5YR6/6) | 長石・石英 多 | 底部1/4 | 平底 内外-ナデ | |
| 135 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (8.0) | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石・石英 多 | 底部1/8 | 平底 外-ケズリ 内-ナデ | |
| 136 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | 8.0 | 橙(7.5YR6/6) | | 底部1/3 | 平底 内外-ナデ | |
| 137 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (10.0) | 黄灰(2.5Y 5/1) | 長石・雲母 多 | | 平底 内外-ナデ | |
| 138 | 1区 | 下が功1 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | 7.0 | 黄灰(2.5Y 4/1) | | 底部1/4 | 平底 内外-ミガキ | |
| 139 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | 18.0 | - | - | 灰褐(7.5YR4/2) | 長石・石英 多 | 口縁部1/4 | 外-刻目突帯 内外-ナデ | |
| 140 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | 21.2 | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・黒色粒 多 | 口縁部1/4 | 外-刻目突帯・口唇刻目 内外-ナデ | |
| 141 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | 42.0 | - | - | 黒褐(10YR3/2) | 長石・石英 多 | 口縁部1/6 | 外-刻目突帯・貝殻条痕 内-ナデ | |
| 142 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | 28.0 | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石・石英 多 | 1口縁-胴部1/4 | 外-刻目突帯 内外-ナデ | |
| 143 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | 22.4 | - | - | 黒褐(7.5YR3/1) | | 1口縁-胴部1/4 | 外-刻目突帯・ナデ・ケズリ 内-沈線1条・ナデ | |
| 144 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | 11.8 | 13.0 | 6.0 | 灰褐(7.5YR6/2) | 長石・石英 多 | 1/5 | 外-刻目突帯 内外-ナデ | |
| 145 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | 長石・石英 多 | | 外-丸形文 内外-ナデ | |
| 146 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | 長石・石英 多 | | 外-無刻目突帯 内外-ナデ | |
| 147 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | にぶい褐(7.5YR5/4) | 長石・石英 多 | | 外-無刻目突帯 内外-ナデ | |
| 148 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR5/3) | 長石・石英 多 | | 外-突帯文・刺突文 内外-ナデ | |
| 149 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | にぶい橙(5YR7/4) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・口唇凹み 内外-ナデ | |
| 150 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石 多 | | 外-刻目突帯・口唇刻目・山形文 内外-ナデ | |
| 151 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石 多 | | 外-刻目突帯・口唇刻目・山形文 内外-ナデ | |
| 152 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・山形文・ナデ 内-沈線1条・ナデ | |
| 153 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・山形文 内外-ナデ | |
| 154 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | 長石 多 | | 外-刻目突帯・口唇刻目 内外-ナデ | |
| 155 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 灰白(10YR8/2) | | | 外-刻目突帯・口唇刻目 内外-ナデ | |
| 156 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 橙(5YR7/6) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・口唇刻目 内外-ナデ | |
| 157 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・口唇刻目 内外-ナデ | |
| 158 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・口唇刻目 内外-ナデ | |
| 159 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・口唇刻目 内外-ナデ | |
| 160 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・口唇刻目 内外-ナデ | |
| 161 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・口唇刻目 内外-ナデ | |
| 162 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/4) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・口唇刻目 内外-ナデ | |
| 163 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 灰黄(2.5Y7/2) | 長石 多 | | 外-刻目突帯・口唇刻目 内外-ナデ | |
| 164 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 黒(10YR2/1) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・口唇刻目 内外-ナデ | |
| 165 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・口唇刻目 内外-ナデ | |
| 166 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・口唇刻目 内外-ナデ | |
| 167 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・ナデ 内-沈線2条・ナデ | |
| 168 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 灰褐(7.5YR5/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・ナデ 内-沈線1条・ナデ | |
| 169 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | にぶい橙(7.5YR6/4) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・ナデ 内-沈線1条・ナデ | |
| 170 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・ナデ 内-沈線1条・ナデ | |
| 171 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・ナデ 内-沈線1条・ナデ | |
| 172 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 灰黄(2.5Y7/2) | | | 外-刻目突帯 内外-ナデ | |
| 173 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 灰黄褐(10YR4/2) | 長石 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ | |
| 174 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ | |
| 175 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯 内外-貝殻条痕 | |
| 176 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | にぶい黄褐(10YR4/3) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・ナデ・ケズリ 内-ナデ | |
| 177 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 灰黄(2.5Y7/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ | |
| 178 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 橙(5YR6/6) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ | |
| 179 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | 長石 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ | |
| 180 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯 内外-貝殻条痕 | |
| 181 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯 (突帯が途切れる) 内外-ナデ | |
| 182 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ | |
| 183 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 橙(5YR6/6) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ | |
| 184 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ | |
| 185 | 1区 | 遺構に併わない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | 明赤褐(2.5YR5/6) | 長石 多 | | 外-刻目突帯 内外-ナデ | |

土器・陶器

| 番号 | 調査区 | 遺構名 | 種別 | 器種 | 計測値(cm) | | | | 色調 | 胎土 | 状態 | 備考 |
|-----|-----|-----------|------|----|---------|--------|----|----|----------------|------------|------------------|----------------------|
| | | | | | 口径 | 最大径 | 底径 | 器高 | | | | |
| 186 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 187 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 褐灰(10YR4/1) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 内外-貝殻条痕 |
| 188 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 褐灰(10YR4/1) | 角閃石 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 189 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 暗灰黄(2.5Y5/2) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 190 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 191 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 192 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 193 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/4) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 194 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 橙(5YR6/6) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 195 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰(N4/) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 196 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR4/2) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 197 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 198 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい橙(7.5YR6/4) | 長石 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 199 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 200 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 褐灰(10YR4/1) | 長石 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 201 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 貝殻条痕 内-ナデ |
| 202 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 203 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 黄灰(2.5Y4/1) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 204 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄(2.5Y6/2) | | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 205 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 206 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR4/2) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 207 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 208 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 209 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい橙(7.5YR7/3) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 210 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 211 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい橙(7.5YR6/4) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | ケズリ 内-ナデ |
| 212 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 213 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/4) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 214 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰褐(7.5YR4/2) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | ナデ・ハケメ 内-ナデ |
| 215 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ・ケズリ |
| 216 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 217 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | 長石 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 218 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 219 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 褐灰(10YR4/1) | 長石 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 220 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | 長石 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 221 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 222 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 煤付着 内外-ナデ |
| 223 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰白(2.5Y8/2) | 長石 多 | 外-刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 224 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | 長石・石英 多 | 外-刻目突帯 | 突帯が途切れる 内外-ナデ |
| 225 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | 長石・雲母 多 | 外-刻目突帯 | 山形文 内外-ナデ |
| 226 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい褐(7.5YR5/4) | 長石 多 | 外-胴部刻目突帯 | 山形文 内外-ナデ |
| 227 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄褐(10YR5/3) | 長石・石英 多 | 外-胴部刻目突帯 | 内外-ナデ |
| 228 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (36.0) | - | - | にぶい橙(7.5YR6/4) | 長石・雲母 多 | 胴部 1/8 | 外-沈線1条・ナデ 内-ナデ・種子圧痕 |
| 229 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (20.6) | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石・石英 多 | 胴部 1/7 | 外-沈線1条・ケズリ 内-ナデ |
| 230 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい橙(5YR6/4) | 長石・石英 多 | 外-沈線1条 | ナデ・ケズリ 内-ナデ |
| 231 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 褐灰(10YR6/1) | | 外-沈線1条 | 内外-ナデ |
| 232 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | 長石・雲母 多 | 外-沈線1条 | 内外-ナデ |
| 233 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | 長石・石英 多 | 外-沈線1条 | ケズリ 内-ナデ |
| 234 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR4/2) | 長石・石英 多 | 外-沈線1条 | 内外-ナデ |
| 235 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石・雲母 多 | 外-沈線1条 | 内外-ナデ |
| 236 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 褐灰(5YR4/1) | 長石・雲母 多 | 外-沈線2条 | 内外-ナデ |
| 237 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR4/2) | 長石・石英 多 | 外-無刻目突帯2条 | 内外-ナデ |
| 238 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | | 外-沈線1条 | 内外-ナデ |
| 239 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/4) | 長石・石英 多 | 外-沈線1条 | 山形文・ケズリ 内-ナデ |
| 240 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/4) | 長石・雲母 多 | 外-沈線1条 | 山形文 内外-ナデ |
| 241 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰褐(7.5YR6/2) | 雲母 多 | 外-山形文 | 内外-ナデ |
| 242 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 黒褐(2.5Y3/1) | 長石・石英 多 | 外-山形文 | 内外-ナデ |
| 243 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 橙(7.5YR6/6) | 長石 多 | 外-山形文 | 内外-ナデ |
| 244 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄(7.5YR6/4) | 長石・雲母 多 | 外-山形文 | 内外-ナデ |
| 245 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石 多 | 外-山形文 | 内外-ナデ |
| 246 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | 長石 多 | 外-山形文 | 内外-ナデ |
| 247 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | 長石・雲母 多 | 外-山形文 | 内外-ナデ |
| 248 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/4) | 長石・雲母 多 | 外-山形文 | 内外-ナデ |
| 249 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | 長石・石英 多 | 外-山形文 | 内外-ナデ |
| 250 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/4) | 長石・石英・雲母 多 | 外-山形文 | 内外-ナデ |
| 251 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | 長石・石英・雲母 多 | 外-山形文 | 内外-ナデ |
| 252 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい褐(7.5YR5/3) | 長石・雲母 多 | 外-山形文 | 内外-ナデ |
| 253 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい橙(7.5YR6/4) | 長石 多 | 外-山形文 | 内外-ナデ |
| 254 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | 37.7 | - | - | - | 褐灰(10YR4/1) | | 口縁部 1/8 | 外-ナデ・ケズリ 内-沈線・ナデ・ミガキ |
| 255 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 黒褐(10YR3/1) | | 内外-沈線・ナデ | |
| 256 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 褐灰(10YR4/1) | 長石 多 | 外-ナデ・ケズリ 内-沈線 | (ベンガラ塗り)・ナデ |
| 257 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 黒褐(10YR3/1) | 長石 多 | 外-ナデ・ケズリ 内-沈線・ナデ | |
| 258 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 暗灰黄(2.5Y5/2) | 長石・石英・雲母 多 | 内-沈線2条 | 内外-ナデ |
| 259 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR4/2) | 長石・石英 多 | 内-沈線2条 | 内外-ナデ |
| 260 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 黒褐(10YR3/1) | 長石・雲母 多 | 内-沈線2条 | 内外-ナデ |
| 261 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 黄灰(2.5Y5/1) | | 内-沈線1条 | 内外-ナデ |
| 262 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 褐灰(10YR4/1) | 長石・石英 多 | 内-沈線1条 | 内外-ナデ |
| 263 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石・石英 多 | 内-沈線2条 | 内外-ナデ |
| 264 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | 16.8 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | 長石・石英・雲母 多 | 内-沈線1条 | 内外-ナデ |
| 265 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | にぶい橙(7.5YR6/4) | | 内-沈線1条 | 内外-ナデ |
| 266 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 灰黄(2.5Y7/2) | 長石 多 | 内-沈線1条 | 内外-ナデ |

土器・陶器

| 番号 | 調査区 | 遺構名 | 種別 | 器種 | 計測値(cm) | | | | 色調 | 胎土 | 状態 | 備考 |
|-----|-----|-----------|------|------|---------|--------|-------|----|----------------|------------|-----------|------------------------------|
| | | | | | 口径 | 最大径 | 底径 | 器高 | | | | |
| 267 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 黒褐(10YR3/1) | 長石 多 | | 外-沈線1条 内外-ナデ |
| 268 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 褐灰(10YR4/1) | 長石・石英 多 | | 内外-ナデ |
| 269 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | にぶい粉(7.5YR6/4) | 長石・石英 多 | | 内外-ナデ |
| 270 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | (34.6) | (39.4) | - | - | 褐灰(10YR5/1) | 長石・石英・雲母 多 | 口縁-胴部 1/6 | 外-ナデ・ミガキ 内-ナデ |
| 271 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 黒褐(10YR3/2) | 長石・石英 多 | | 内外-ナデ |
| 272 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 黒褐(10YR3/2) | 長石 多 | | 内外-ナデ |
| 273 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | (31.0) | - | - | にぶい粉(7.5YR6/4) | 長石 多 | | 内外-ナデ |
| 274 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | (28.9) | - | - | 黄灰(2.5Y5/1) | 長石・石英 多 | | 内外-ナデ |
| 275 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | (20.9) | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | 長石・石英 多 | | 外-沈線1条 内外-ナデ |
| 276 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | 35.8 | - | - | - | 灰黄褐(10YR4/2) | 長石・石英・雲母 多 | 口縁-胴部 1/4 | 内-種子丘痕(3か所) 内外-ナデ |
| 277 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | (17.8) | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石 多 | 口縁 1/8 | 内外-ナデ |
| 278 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 黒褐(10YR3/1) | 長石・雲母 多 | | 内外-ナデ |
| 279 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | 17.6 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/4) | 長石・石英 多 | 1/4 | 内外-ナデ |
| 280 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | (21.5) | - | - | - | 明褐灰(7.5YR7/2) | 長石・石英・雲母 多 | 口縁-胴部 1/8 | 内外-ナデ |
| 281 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | (16.8) | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | 長石・雲母 多 | | 外-ミガキ 内-ミガキ・淺 |
| 282 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | (14.2) | - | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石・石英 多 | | 外-ナデ 内-ケズリ・ナデ |
| 283 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR4/2) | 長石・石英 多 | | 外-1口唇凹み・ナデ 内-沈線1条・ナデ |
| 284 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 灰(7.5Y5/1) | 長石・石英 多 | | 外-1口唇凹み・ナデ 内-沈線1条・ナデ |
| 285 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR5/3) | 長石・石英 多 | | 外-1口唇凹み 内外-ナデ |
| 286 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | 長石・石英 多 | | 外-1口唇凹み(ベンガラ塗布)・ナデ 内-沈線1条・ナデ |
| 287 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・石英 多 | | 外-1口唇凹み・ナデ 内-沈線1条・ナデ |
| 288 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR4/2) | 長石・石英 多 | | 外-沈線1条・ナデ 内-沈線1条・ミガキ |
| 289 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 褐灰(10YR5/1) | 長石 多 | | 内外-ナデ |
| 290 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 黄灰(2.5Y4/1) | 長石 多 | | 内外-ミガキ |
| 291 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 黄灰(2.5Y4/1) | 長石 多 | | 内外-ミガキ |
| 292 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 灰黄(2.5Y6/2) | 長石・石英 多 | | 内外-ナデ |
| 293 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 灰黄(2.5Y6/2) | 長石・石英 多 | | 内外-ナデ |
| 294 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | 長石・石英・雲母 多 | | 内外-ナデ |
| 295 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | (19.6) | - | - | - | 褐灰(5YR4/1) | 長石・雲母 多 | 口縁部 1/8 | 内外-ナデ・ミガキ |
| 296 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 褐灰(10YR4/1) | 長石 多 | | 内外-ミガキ 焼成後両面穿孔 |
| 297 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・石英 多 | | 内外-ナデ 焼成後両面穿孔 |
| 298 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・石英 多 | | 内外-ナデ 焼成後両面穿孔 |
| 299 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 褐灰(10YR4/1) | 長石 多 | | 内外-ナデ 焼成後片面穿孔 |
| 300 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 黒褐(10YR3/1) | 長石 多 | | 内外-ナデ 焼成後両面穿孔 |
| 301 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | - | - | - | 黒褐(10YR3/2) | 長石・石英 多 | | 内外-ナデ |
| 302 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 壺 | (14.4) | - | - | - | 浅黄(2.5Y7/3) | 長石・石英・雲母 多 | 口縁部 1/8 | 外-ナデ 内-ナデ・指押さえ |
| 303 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 壺 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/4) | 長石・石英 多 | | 外-ナデ・ケズリ 内-ナデ・指押さえ |
| 304 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 壺形深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・ナデ 内-ナデ・種子丘痕 |
| 305 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 壺 | 7.3 | - | - | - | 暗灰黄(2.5Y5/2) | 長石 多 | | 内外-ナデ |
| 306 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (6.2) | - | 明赤褐(5YR5/6) | 長石・石英 多 | 底部 1/4 | 上げ底 内外-ナデ |
| 307 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | 6.3 | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | 長石 多 | 底部宛存 | 平底 内外-ナデ |
| 308 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (5.0) | - | 浅黄(2.5Y7/3) | 長石・雲母 多 | 底部 1/7 | 高台状 外-ケズリ・ナデ 内-ケズリ |
| 309 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (5.8) | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | 長石・雲母 多 | 底部 1/6 | 平底 内外-ナデ |
| 310 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (6.8) | - | にぶい粉(7.5YR7/3) | 長石 多 | 底部 1/7 | 平底 内外-ナデ |
| 311 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | 7.3 | - | にぶい粉(7.5YR7/4) | 長石・石英 多 | 底部 2/3 | 平底 外-ケズリ・ナデ 内-ナデ・種子丘痕 |
| 312 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (7.0) | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | 長石・雲母 多 | 底部 1/2 | 平底 外-ナデ・指押さえ 内-ナデ |
| 313 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (6.6) | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・雲母 多 | 底部 1/4 | 平底 外-ケズリ・ナデ 内-ナデ |
| 314 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (7.0) | - | 粉(7.5YR7/6) | 長石・石英・雲母 多 | 底部 1/4 | 平底 内外-ナデ |
| 315 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (5.6) | - | にぶい粉(5YR7/4) | 長石・石英・雲母 多 | 底部 1/4 | 平底 内外-ナデ・ケズリ |
| 316 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | 長石・石英 多 | | 平底 内外-ナデ |
| 317 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (7.7) | - | 灰褐(5YR4/2) | 長石 多 | 底部 1/4 | 平底 内外-ナデ |
| 318 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (9.2) | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石 多 | 底部 1/4 | 平底 内外-ナデ・指押さえ |
| 319 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (7.6) | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石 多 | 底部 1/4 | 平底 外-ナデ 内-ミガキ |
| 320 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (7.0) | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石 多 | 底部 1/4 | 平底 外-ナデ 内-ナデ・指押さえ |
| 321 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (8.2) | - | にぶい粉(7.5YR6/4) | 長石・雲母 多 | 底部 1/6 | 平底 内外-ナデ |
| 322 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (5.2) | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | 長石・石英・雲母 多 | 底部 1/4 | 平底 外-ケズリ 内-ナデ |
| 323 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (8.6) | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石・雲母 多 | 底部 1/4 | 平底 内外-ナデ |
| 324 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (6.6) | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | 長石・雲母 多 | 底部 1/2 | 平底 外-ナデ・ケズリ 内-ナデ・種子丘痕 |
| 325 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (5.6) | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・雲母 多 | 底部 1/4 | 平底 外-ケズリ・ナデ 内-ナデ |
| 326 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (7.8) | - | にぶい黄橙(10YR7/4) | 長石・雲母 多 | 底部 1/6 | 平底 内外-ナデ |
| 327 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (6.7) | - | にぶい黄橙(10YR7/4) | 長石・雲母 多 | | 平底 内外-ナデ・工具痕 |
| 328 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | 7.1 | - | 褐灰(10YR4/1) | 長石 多 | | 平底 外-ナデ・ケズリ 内-ナデ |
| 329 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (7.0) | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | 長石・石英 多 | 底部 1/3 | 平底 内外-ナデ |
| 330 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (5.2) | - | にぶい粉(7.5YR6/3) | 長石・石英 多 | 底部 1/2 | 平底 内外-ナデ |
| 331 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (6.6) | - | 浅黄橙(7.5YR8/4) | 長石・石英・雲母 多 | 底部 1/4 | 平底 内外-ナデ |
| 332 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | 5.2 | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | 長石・石英・雲母 多 | | 平底 内外-ナデ |
| 333 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | (8.8) | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石・石英 多 | 底部 1/2 | 平底 外-ナデ 内-ナデ・指押さえ |
| 334 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | 長石・雲母 多 | | 九底 内外-ナデ |
| 335 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | 長石・雲母 多 | | 九底 内外-ナデ |
| 336 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 深鉢 | - | - | - | - | 灰黄褐(10YR5/2) | 長石・石英 多 | | 九底 外-ナデ・指押さえ 内-ナデ |
| 337 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 壺 | (19.2) | - | - | - | 橙(7.5YR6/6) | 長石・石英 多 | 口縁-肩部 1/6 | 外-創面突帯・沈線・浅キ 内-創面突帯・指押さえ・ナデ |
| 338 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 壺 | (13.0) | - | - | - | 灰口(2.5Y8/2) | 長石・石英 多 | | 外-創面突帯・ナデ 内-沈線2条・ナデ |
| 339 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 壺 | (13.8) | - | - | - | にぶい粉(7.5YR7/4) | 長石・石英 多 | 口縁部 1/8 | 外-段・ナデ・指押さえ 内-ナデ |
| 340 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 壺 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | 長石・石英 多 | | 外-刻目突帯・口唇刻目 内外-ナデ |
| 341 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 壺 | - | - | - | - | にぶい粉(7.5YR6/3) | 長石・石英 多 | | 外-1口唇刻目 内外-ナデ |
| 342 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 壺 | 24.2 | - | - | - | 灰口(10YR8/2) | 長石・石英 多 | 口縁部 1/5 | 外-段 内外-指押さえ・ナデ |
| 343 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 壺 | - | - | - | - | にぶい粉(7.5YR5/4) | 長石・石英 多 | | 外-口唇刻目 内外-ナデ |
| 344 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 壺 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | 長石・石英 多 | | 外-口唇刻目 内外-ナデ |
| 345 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 壺 | 14.0 | - | - | - | 明赤褐(5YR5/6) | 長石 多 | 口縁-肩部 1/9 | 外-ナデ・ハケメ 内-ナデ |
| 346 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 壺 | 12.8 | - | - | - | にぶい粉(7.5YR6/4) | 長石 多 | 口縁部 1/6 | 内外-ナデ |
| 347 | 1区 | 遺構に付かない遺物 | 縄文土器 | 高杯 | 19.8 | - | - | - | 明赤褐(2.5YR5/8) | 長石 多 | 口縁-腰部 1/6 | 外-凹線・ナデ 内-ミガキ |

土器・陶器

| 番号 | 調査区 | 遺構名 | 種別 | 器種 | 計測値(cm) | | | | 色調 | 胎土 | 状態 | 備考 |
|-----|-----|-----------|--------|------|---------|--------|--------|-----|----------------|----------|-----------|-----------------------------|
| | | | | | 口径 | 最大径 | 底径 | 器高 | | | | |
| 348 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 弥生土器 | 高杯 | (20.0) | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/4) | | 口縁部1/12 | 外-ナデ 内-ミガキ |
| 349 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 弥生土器 | 鉢 | - | - | 10.6 | - | にぶい褐(7.5YR6/3) | 長石 多 | 口縁部-脚部1.8 | 外-ナデ・指押さえ 穿孔 |
| 350 | 3B区 | 遺構に伴わない遺物 | 弥生土器 | 器台 | - | - | - | - | にぶい黄(7.5YR7/4) | 長石・雲母 多 | | 外-弧帯文?・鋸歯文 内外-ナデ |
| 351 | 11区 | 遺構に伴わない遺物 | 弥生土器 | 器台 | - | - | 20.2 | - | 橙(5YR6/6) | 長石・石英 多 | | 外-四線・ナデ 内-ナデ スカシ孔 |
| 352 | 3A区 | 遺構に伴わない遺物 | 弥生土器 | 製塩土器 | - | - | 5.9 | - | 灰黄褐(10YR6/2) | 長石 多 | | 外-ケズリ・指押さえ・ナデ 内-ナデ |
| 353 | 2区 | 遺構に伴わない遺物 | 弥生土器 | 製塩土器 | - | - | 5.0 | - | にぶい橙(5YR6/4) | 長石・石英 多 | | 外-ケズリ・ナデ 内-ナデ |
| 354 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 弥生土器 | 製塩土器 | - | - | 3.9 | - | 橙(7.5YR7/4) | 長石・石英 多 | | 内外-指押さえ・ナデ |
| 355 | 11区 | 遺構に伴わない遺物 | 土師器 | 甕 | 13.9 | - | - | - | にぶい橙(7.5YR6/4) | 長石・角閃石 多 | 口縁部1/4 | 外-ナデ 内-ナデ・ケズリ |
| 356 | 2区 | 遺構に伴わない遺物 | 土師器 | 甕 | 11.4 | (16.9) | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | | 口縁部-胴部3/4 | 内外-ナデ・ハケメ・ケズリ |
| 357 | 2区 | 遺構に伴わない遺物 | 土師器 | 甕 | 14.9 | (16.7) | - | - | にぶい橙(7.5YR7/3) | 長石・石英 多 | 口縁部-胴部1/2 | 外-ナデ・ハケメ 内-ナデ・ケズリ・指押さえ |
| 358 | 2区 | 遺構に伴わない遺物 | 土師器 | 杯 | 11.5 | - | - | 3.9 | 灰黄褐(10YR6/2) | | ほぼ完成形 | 内外-工具ナデ |
| 359 | 2区 | 遺構に伴わない遺物 | 土師器 | 杯 | 11.3 | - | - | 3.9 | にぶい褐(7.5YR6/3) | | 1/2 | 外-ナデ・指押さえ 内-ナデ |
| 360 | 2区 | 遺構に伴わない遺物 | 土師器 | 杯 | 11.3 | - | - | 3.8 | にぶい黄橙(10YR6/3) | | ほぼ完成形 | 内外-ナデ |
| 361 | 2区 | 遺構に伴わない遺物 | 須恵器 | 杯 | 10.6 | 12.0 | 6.3 | 3.5 | 灰白(10YR7/1) | | 完成形 | 外-ナデ・ケズリ・指押さえ 内-ナデ・指押さえ |
| 362 | 2区 | 遺構に伴わない遺物 | 須恵器 | 杯蓋 | - | - | - | - | 灰白(5Y8/1) | 長石 多 | | 内外-ナデ |
| 363 | 2区 | 遺構に伴わない遺物 | 須恵器 | 杯蓋 | (10.4) | - | - | - | 灰白(7.5Y7/1) | 長石 多 | 1/8 | 内外-ナデ |
| 364 | 2区 | 遺構に伴わない遺物 | 須恵器 | 杯 | 11.9 | - | 6.9 | 3.6 | 灰(N4) | 長石・石英 多 | 4/5 | 外-ナデ・ヘラ切り 内-ナデ |
| 365 | 2区 | 遺構に伴わない遺物 | 須恵器 | 杯 | - | - | (10.1) | - | 灰白(5Y7/1) | 長石・石英 多 | 底部1/10 | 外-ナデ・ケズリ 内-ナデ |
| 366 | 2区 | 遺構に伴わない遺物 | 須恵器 | 高杯 | 12.2 | - | 8.5 | 9.5 | 黄灰(2.5Y5/1) | | 2/3 | 内外-ナデ |
| 367 | 2区 | 遺構に伴わない遺物 | 須恵器 | 円面碓 | - | - | - | - | 灰(N4) | | | 外-沈線・波状文・ナデ 内-ナデ スカシ孔 |
| 368 | 2区 | 遺構に伴わない遺物 | 須恵器 | 帯 | (20.0) | - | - | - | 灰(N6) | | 口縁部1/2 | 外-波状文・ナデ 内-ナデ |
| 369 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 須恵器 | 甕 | (40.0) | - | - | - | 灰(N4) | | 口縁部1/7 | 外-ナデ・ハケメ・格子状タテ 内-ナデ・ハケメ・同心門 |
| 370 | 1区 | 柱穴列1 P1 | 土師器 | 碗 | 10.2 | - | 1.4 | 3.1 | 灰白(10YR8/2) | | 1/2 | 外-貼付高台(・無い)・ヨコナデ 内-ヨコナデ・ナデ |
| 371 | 1区 | 柱穴列1 P1 | 土師器 | 碗 | 11.0 | - | (5.2) | 3.2 | 灰白(10YR8/2) | | 1/5 | 外-1階血取り・ヨコナデ・ナデ 内-ナデ |
| 372 | 1区 | 柱穴列1 P1 | 土師器 | 碗 | 10.2 | - | - | - | 灰白(10YR8/2) | | 口縁部-体部1/5 | 外-ヨコナデ・ナデ 内-ヨコナデ |
| 373 | 1区 | 柱穴列1 P1 | 土師器 | 碗 | 9.4 | - | - | - | 灰白(10YR8/2) | | 口縁部-体部1/8 | 外-ヨコナデ・ナデ 内-ヨコナデ |
| 374 | 1区 | 柱穴列1 P1 | 土師器 | 碗 | 9.0 | - | - | - | にぶい橙(7.5YR7/3) | | 口縁部-体部1/5 | 外-ヨコナデ・ナデ 内-ヨコナデ |
| 375 | 1区 | 柱穴列1 P1 | 土師器 | 小皿 | 6.5 | - | 4.9 | 1.3 | にぶい橙(7.5YR6/4) | | 1/4 | 内外-ヨコナデ 底部ヘラ切り |
| 376 | 1区 | 柱穴列1 P1 | 土師器 | 小皿 | 7.2 | - | 5.5 | 1.0 | にぶい橙(7.5YR6/4) | | 1/4 | 内外-ヨコナデ 底部ヘラ切り |
| 377 | 1区 | 井戸1 下層 | 土師器 | 碗 | (10.0) | - | - | - | 黄灰(2.5Y7/2) | | 口縁部1/12 | 内外-ヨコナデ |
| 378 | 1区 | 井戸1 上層 | 土師器 | 碗 | 9.1 | - | - | - | 灰白(10YR8/2) | | 1/5 | 外-ヨコナデ・ナデ 内-ヨコナデ 重ね焼き痕 |
| 379 | 1区 | 井戸1 上層 | 土師器 | 碗 | - | - | 5.0 | - | 灰白(10YR8/2) | | 底部1/4 | 外-貼付高台・ヨコナデ 内-ナデ 重ね焼き痕 |
| 380 | 1区 | 井戸1 上層 | 土師器 | 碗 | - | - | 5.0 | - | 黄灰(2.5YR5/1) | | 底部1/5 | 外-貼付高台・ヨコナデ 内-ナデ |
| 381 | 1区 | 井戸1 上層 | 土師器 | 小皿 | 9.0 | - | - | - | にぶい橙(2.5YR6/4) | | 口縁部1/6 | 内外-ヨコナデ |
| 382 | 1区 | 井戸1 下層 | 土師器 | 小皿 | 7.0 | - | 6.0 | 1.1 | にぶい黄橙(10YR6/3) | | 1/8 | 外-ヨコナデ・ナデ 内-ヨコナデ |
| 383 | 1区 | 井戸1 下層 | 土師器 | 小皿 | 7.0 | - | 5.8 | 1.2 | 灰褐(5YR5/2) | | 1/7 | 外-ヨコナデ・ナデ 内-ヨコナデ・ハケメ |
| 384 | 1区 | 井戸1 下層 | 土師器 | 小皿 | 7.0 | - | 5.0 | - | 灰黄褐(10YR6/2) | | 口縁部1/8 | 外-ヨコナデ・ナデ 内-ナデ |
| 385 | 1区 | 井戸1 下層 | 土師器 | 小皿 | 6.0 | - | 5.1 | 1.3 | 橙(5YR6/6) | | 1/4 | 外-ヨコナデ・ナデ 内-ヨコナデ |
| 386 | 1区 | 井戸1 上層 | 甕前焼 | 甕 | - | - | - | - | 黒褐(5YR3/1) | 長石・石英 多 | | 内外-ナデ |
| 387 | 1区 | 井戸1 上層 | 甕前焼 | 甕 | - | - | - | - | にぶい褐(7.5YR5/3) | | | 内外-ナデ |
| 388 | 1区 | 井戸1 下層 | 東播系須恵器 | 控針 | - | - | - | - | 灰(N5) | | | 内外-ナデ |
| 389 | 1区 | 溝1 | 土師器 | 碗 | 11.2 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | | 口縁部-体部1/8 | 外-ヨコナデ・ナデ 内-ヨコナデ |
| 390 | 1区 | 溝1 | 土師器 | 碗 | 10.2 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | | 口縁部-体部1/7 | 外-ヨコナデ・ナデ 内-ヨコナデ |
| 391 | 1区 | 溝1 | 土師器 | 碗 | 9.3 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | | 口縁部-体部1/5 | 外-ナデ 内-ヨコナデ |
| 392 | 1区 | 溝1 | 土師器 | 碗 | 10.0 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | | 口縁部-体部1/8 | 外-ヨコナデ・ナデ 内-ヨコナデ |
| 393 | 1区 | 溝1 | 土師器 | 碗 | 10.1 | - | - | - | 灰白(10YR8/2) | | 口縁部-体部1/4 | 外-ヨコナデ・ナデ 内-ヨコナデ |
| 394 | 1区 | 溝1 | 土師器 | 碗 | 9.5 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | | 口縁部-体部1/5 | 外-ヨコナデ・ナデ 内-ヨコナデ |
| 395 | 1区 | 溝1 | 土師器 | 碗 | - | - | 5.5 | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | | 底部完存 | 外-貼付高台・ナデ 内-ナデ・指押さえ |
| 396 | 1区 | 溝1 | 土師器 | 碗 | - | - | 4.8 | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | | 底部完存 | 外-貼付高台・ヨコナデ・ナデ 内-ヨコナデ・ナデ |
| 397 | 1区 | 溝1 | 土師器 | 碗 | - | - | 4.2 | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | | 底部1/4 | 外-貼付高台・ヨコナデ 内-ヨコナデ |
| 398 | 1区 | 溝1 | 土師器 | 碗 | - | - | 4.2 | - | 灰褐(7.5YR5/2) | | 底部1/4 | 外-貼付高台・ヨコナデ・ナデ 内-ナデ |
| 399 | 1区 | 溝1 | 土師器 | 小皿 | 7.9 | - | 6.2 | 1.0 | 浅黄橙(10YR8/3) | | 1/8 | 外-ヨコナデ・ナデ・ハケメ 内-ヨコナデ 底部ヘラ切り |
| 400 | 1区 | 溝1 | 土師器 | 小皿 | 6.8 | - | 5.8 | 0.9 | 灰黄褐(10YR6/2) | | 1/7 | 外-ヨコナデ・ナデ 内-ヨコナデ 底部ヘラ切り |
| 401 | 1区 | 溝1 | 土師器 | 小皿 | - | - | - | - | にぶい橙(7.5YR6/4) | | | 外-ヨコナデ・指押さえ・ハケメ 内-ヨコナデ・ハケメ |
| 402 | 1区 | 溝1 | 土師器 | 鍋 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/4) | | | 内外-ヨコナデ・ハケメ |
| 403 | 1区 | 溝1 | 土師器 | 鍋 | (31.7) | - | - | - | 褐灰(10YR5/1) | | 口縁部1/9 | 外-ヨコナデ・指押さえ・ハケメ 内-ヨコナデ・ハケメ |
| 404 | 1区 | 溝1 | 東播系須恵器 | 控針 | - | - | - | - | 灰(N4) | | | 内外-ナデ |
| 405 | 1区 | 溝1 | 東播系須恵器 | 控針 | - | - | - | - | 褐灰(10YR6/1) | | | 内外-ナデ |
| 406 | 1区 | 溝2 | 土師器 | 碗 | 12.1 | - | 5.6 | 4.0 | 灰白(10YR8/2) | | 1/3 | 外-貼付高台・ヨコナデ 内-ヨコナデ 重ね焼き痕 |
| 407 | 1区 | 溝2 | 土師器 | 碗 | 12.0 | - | 5.8 | 4.1 | にぶい黄橙(10YR7/2) | | 1/4 | 外-貼付高台・ヨコナデ・指押さえ 内-ヨコナデ・ナデ |
| 408 | 1区 | 溝2 | 土師器 | 碗 | 11.0 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | | 口縁部-体部1/8 | 内外-ヨコナデ・ナデ |
| 409 | 1区 | 溝2 | 土師器 | 碗 | 11.0 | - | - | - | 灰白(10YR8/2) | | 口縁部1/7 | 外-ヨコナデ・ナデ 内-ヨコナデ |
| 410 | 1区 | 溝2 | 土師器 | 碗 | - | - | 5.8 | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | | 底部1/3 | 外-貼付高台・ヨコナデ・ナデ 内-ナデ |
| 411 | 1区 | 溝2 | 土師器 | 碗 | - | - | 5.5 | - | 灰白(10YR8/2) | | 底部1/2 | 外-貼付高台・ナデ 内-ナデ |
| 412 | 1区 | 溝2 | 土師器 | 碗 | 10.2 | - | 4.8 | 3.1 | にぶい黄橙(10YR7/2) | | 2/3 | 内外-ヨコナデ・ナデ |
| 413 | 1区 | 溝2 | 土師器 | 皿 | 12.0 | - | 8.5 | 2.6 | にぶい黄橙(10YR8/3) | | 1/2 | 外-ヨコナデ 内-ヨコナデ・ナデ 底部ヘラ切り後ナデ |
| 414 | 1区 | 溝2 | 土師器 | 杯 | 8.8 | - | 6.3 | 2.8 | にぶい褐(7.5YR6/3) | | 1/4 | 内外-ヨコナデ・ナデ |
| 415 | 1区 | 溝2 | 土師器 | 杯 | 13.0 | - | - | - | 灰白(10YR8/2) | | 口縁部1/3 | 内外-ヨコナデ |
| 416 | 1区 | 溝2 | 土師器 | 杯 | 10.2 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | | 口縁部1/10 | 内外-ヨコナデ |
| 417 | 1区 | 溝2 | 土師器 | 鍋 | 31.6 | - | - | - | にぶい橙(7.5YR6/4) | | 口縁部-体部1/6 | 外-ハケメ・ヨコナデ・指押さえ 内-ハケメ・ヨコナデ |
| 418 | 1区 | 溝2 | 土師器 | 羽釜 | - | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/4) | | | 外-沈線2条・ナデ 内-ナデ |
| 419 | 1区 | 溝2 | 甕前焼 | 鉢 | - | - | - | - | 灰(N3) | | | 内外-ナデ |
| 420 | 1区 | 溝2 | 東播系須恵器 | 鉢 | - | - | - | - | 灰(N6) | | | 内外-ナデ |
| 421 | 1区 | 溝3 | 土師器 | 碗 | 10.4 | - | - | - | 浅黄橙(10YR8/3) | | | 内外-ヨコナデ |
| 422 | 1区 | 溝3 | 土師器 | 碗 | 9.8 | - | 3.8 | 3.4 | 灰黄褐(10YR5/2) | | 5/6 | 内外-ヨコナデ |
| 423 | 1区 | 溝3 | 土師器 | 碗 | 9.7 | - | 2.2 | 3.5 | にぶい黄橙(10YR7/3) | 長石・石英 多 | 1/3 | 内外-ヨコナデ |
| 424 | 1区 | 溝3 | 土師器 | 碗 | 10.0 | - | - | - | 浅黄橙(10YR8/3) | 長石・石英 多 | 口縁部1/3 | 内外-ヨコナデ |
| 425 | 1区 | 溝3 | 土師器 | 碗 | 10.0 | - | - | - | 浅黄橙(10YR8/3) | | 1/4 | 内外-ヨコナデ |
| 426 | 1区 | 溝3 | 土師器 | 碗 | 8.2 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | | | 外-ヨコナデ 内-ナデ |
| 427 | 1区 | 溝3 | 土師器 | 小皿 | 6.6 | - | 5.8 | 1.3 | にぶい黄橙(10YR6/3) | | 1/2 | 内外-ヨコナデ 底部ヘラ切り |
| 428 | 1区 | 溝3 | 土師器 | 小皿 | (5.8) | - | (4.1) | 1.0 | にぶい橙(7.5YR7/4) | | 口縁部1/8 | 内外-ヨコナデ |

土器・陶器

| 番号 | 調査区 | 遺構名 | 種別 | 器種 | 計測値(cm) | | | | 色調 | 胎土 | 状態 | 備考 |
|-----|-----|------|-----|-----|---------|------|-------|------|-----------------|----------|-----------|-----------------------------|
| | | | | | 口径 | 最大径 | 底径 | 器高 | | | | |
| 429 | 1区 | 溝5 | 土師器 | 碗 | 11.8 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/3) | | 口縁~体部1/8 | 外-ヨコナデ・ナデ 内-ヨコナデ |
| 430 | 1区 | 溝5 | 土師器 | 碗 | 10.0 | - | - | - | にぶい橙(7.5YR7/3) | | 11縁~体部1/4 | 外-ヨコナデ・ナデ 内-ヨコナデ |
| 431 | 1区 | 溝5 | 土師器 | 銅 | - | - | - | - | にぶい褐(7.5YR5/3) | | | 外-ヨコナデ 内-ハケメ・ヨコナデ |
| 432 | 1区 | 溝6 | 土師器 | 碗 | (12.0) | - | - | - | 橙(5YR6/6) | | 口縁~体部1/12 | 内外-ヨコナデ |
| 433 | 1区 | 溝6 | 土師器 | 碗 | 10.0 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | | 口縁~体部1/8 | 内外-ヨコナデ |
| 434 | 1区 | 溝6 | 土師器 | 碗 | 9.8 | - | - | - | 灰白(7.5YR8/2) | | 11縁~体部1/8 | 内外-ヨコナデ |
| 435 | 1区 | 溝6 | 土師器 | 碗 | - | - | 3.6 | - | 灰白(10YR8/2) | | 底部1/4 | 外-貼付高台(一周しない) 内-ヨコナデ |
| 436 | 1区 | 溝6 | 土師器 | 小皿 | 7.0 | - | 5.6 | 1.1 | 濁灰(10YR4 1) | | 1/8 | 内外-ヨコナデ |
| 437 | 1区 | 溝6 | 土師器 | 小皿 | 7.0 | - | 5.6 | 0.8 | にぶい橙(7.5YR6/4) | | 1/8 | 内外-ヨコナデ 底部ナデ |
| 438 | 1区 | 溝6 | 土師器 | 小皿 | 7.6 | - | 5.8 | 1.3 | にぶい橙(7.5YR6/4) | | 1/5 | 内外-ヨコナデ 底部ナデ |
| 439 | 1区 | 溝6 | 土師器 | 銅 | (32.8) | - | - | - | 灰黄褐(10YR4/2) | | 11縁部1/12 | 外-ハケメ・ヨコナデ・指押さえ 内-ハケメ・ヨコナデ |
| 440 | 1区 | 溝6 | 青磁 | 碗 | 15.8 | - | - | - | 灰オリーブ(5Y6 2) | | 口縁部1/12 | 素地 灰(5Y6 1) 同安窯 |
| 441 | 2区 | 溝7 | 土師器 | 小皿 | 6.8 | - | 5.4 | 1.2 | にぶい褐(7.5YR5/4) | | 1/5 | 内外-ヨコナデ 底部ナデ |
| 442 | 2区 | 溝7 | 土師器 | 小皿 | 9.0 | - | 6.9 | 1.4 | 灰白(10YR8/2) | | 1/7 | 内外-ヨコナデ 底部ナデ |
| 443 | 2区 | 溝7 | 土師器 | 小皿 | 8.0 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | | 1/8 | 内外-ヨコナデ |
| 444 | 2区 | 溝7 | 須恵器 | 摺鉢 | 27.8 | - | - | - | 暗灰(N3 1) | | 口縁~体部1 8 | 外-ナデ 内-ナデ・蓋目 |
| 445 | 2区 | 溝7 | 瓦 | 平瓦 | - | - | - | - | 灰(5Y6/1) | | | 凹部-布目圧痕 凸部-ナデ |
| 446 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 碗 | 12.7 | - | 5.2 | 4.7 | にぶい黄橙(10YR7/2) | | 体部1/3 | 外-11唇面取り・貼付高台 内外-ナデ |
| 447 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 碗 | 11.6 | - | 5.5 | 4.3 | 灰白(10YR8/2) | | 2/3 | 外-11唇面取り・貼付高台 内外-ナデ 重ね焼き痕 |
| 448 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 碗 | 13.2 | - | 6.4 | 4.2 | にぶい褐(7.5YR6/3) | | 完形 | 外-貼付高台 内外-ナデ |
| 449 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 碗 | 12.2 | - | 5.6 | 4.6 | 灰白(10YR8/2) | | 体部1 4 | 外-貼付高台・ナデ 内-ナデ・種子圧痕 |
| 450 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 碗 | 12.8 | - | 5.1 | 4.4 | 灰白(10YR8/2) | | 1/2 | 外-貼付高台 内外-ナデ 重ね焼き痕 |
| 451 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 碗 | 11.7 | - | 5.2 | 4.5 | にぶい黄橙(10YR7/2) | | 1/2 | 外-貼付高台 内外-ナデ |
| 452 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 碗 | 12.8 | - | (6.3) | 4.0 | 灰白(10YR8/2) | | 1/7 | 外-貼付高台 内外-ナデ 重ね焼き痕 |
| 453 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 碗 | 12.3 | - | 5.3 | 3.6 | 灰白(10YR8/2) | | 口縁部1 8 | 外-貼付高台 内外-ナデ |
| 454 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 碗 | 12.0 | - | (4.4) | 3.8 | 浅黄橙(10YR8/3) | | 1/2 | 外-貼付高台 内外-ナデ 重ね焼き痕 |
| 455 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 碗 | 11.4 | - | 5.3 | 3.6 | 灰白(2.5Y8/2) | 石英 多 | 3/4 | 外-貼付高台 内外-ナデ |
| 456 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 碗 | 11.2 | - | 4.5 | 3.4 | 灰白(7.5YR8/2) | | 完形 | 外-貼付高台 内外-ナデ |
| 457 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 碗 | 11.0 | - | 4.3 | 3.3 | 浅黄橙(10YR8/3) | 長石 多 | 口縁部1 4 | 外-貼付高台 内外-ナデ |
| 458 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 碗 | 10.6 | - | (4.4) | 3.5 | 灰白(10YR8 1) | | 1/6 残 | 外-貼付高台 内外-ナデ |
| 459 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 碗 | 9.7 | - | 4.0 | 3.4 | 灰白(2.5Y7 1) | | 体部1/9 | 外-貼付高台 内外-ナデ 重ね焼き痕 |
| 460 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 碗 | 9.3 | - | 3.3 | 3.9 | 灰白(10YR8/2) | 長石・石英 多 | ほぼ完形 | 外-ナデ・指押さえ 内-ナデ |
| 461 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 碗 | 9.2 | - | (2.3) | 3.1 | にぶい橙(7.5YR7/3) | | 1/4 | 内外-指押さえ・ナデ |
| 462 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 皿 | 10.6 | - | 7.2 | 2.6 | にぶい黄橙(10YR7/3) | | ほぼ完形 | 内外-ナデ 底部ヘラ切り |
| 463 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 杯 | 10.8 | - | (4.6) | 3.3 | 灰白(10YR7/1) | | 1/4 | 外-ナデ 内-ナデ・工具ナデ |
| 464 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 皿 | 11.6 | - | (7.7) | 2.4 | にぶい橙(7.5YR6/4) | | 1/2 | 内外-ナデ 底部ヘラ切り |
| 465 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 皿 | 11.2 | - | 7.8 | 2.6 | にぶい橙(7.5YR7/4) | 長石・石英 多 | 3/4 | 内外-ナデ |
| 466 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 皿 | 10.4 | - | (7.5) | 2.3 | にぶい黄橙(10YR7/3) | | 口縁~体部1 7 | 内外-ナデ |
| 467 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 小皿 | 6.9 | - | 5.9 | 1.7 | 灰黄(2.5Y 7 2) | | 完形 | 内外-ナデ 底部ヘラ切り |
| 468 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 小皿 | 6.7 | - | 5.6 | 1.4 | にぶい黄橙(10YR7/3) | | 完形 | 内外-ナデ 底部ヘラ切り・ヘラ起こし |
| 469 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 小皿 | 6.6 | - | 5.5 | 1.5 | にぶい黄橙(10YR7/2) | 石英 多 | ほぼ完形 | 内外-ナデ 底部ヘラ切り |
| 470 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 小皿 | 6.6 | - | 5.1 | 1.6 | にぶい黄橙(10YR7/2) | 長石・石英 多 | 完形 | 内外-ナデ 底部ヘラ切り |
| 471 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 小皿 | 6.7 | - | 6.1 | 1.2 | 灰白(10YR8/2) | 石英 多 | 完形 | 内外-ナデ 底部ヘラ切り |
| 472 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 小皿 | 7.8 | - | 5.5 | 1.6 | 灰黄(2.5Y 7 2) | | ほぼ完形 | 内外-ナデ 底部ヘラ切り |
| 473 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 小皿 | 6.9 | - | 5.7 | 1.8 | 灰白(10YR8/2) | | ほぼ完形 | 内外-ナデ 底部ヘラ切り |
| 474 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 小皿 | 7.7 | - | 6.2 | 1.5 | 灰白(10YR8/2) | | 完形 | 内外-ナデ 底部ヘラ切り |
| 475 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 小皿 | 7.1 | - | 5.4 | 1.4 | 灰白(10YR8/2) | 石英 多 | ほぼ完形 | 内外-ナデ 底部ヘラ切り・ヘラ起こし |
| 476 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 小皿 | 7.0 | - | 5.4 | 1.3 | 灰白(2.5Y8 2) | | ほぼ完形 | 内外-ナデ 底部ヘラ切り |
| 477 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 小皿 | 6.9 | - | 5.5 | 1.3 | 灰白(5Y7 1) | | 完形 | 内外-ナデ 底部ヘラ切り 口縁内面煤付着 |
| 478 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 小皿 | 6.8 | - | 5.0 | 1.3 | 灰黄(2.5Y7 2) | 石英 多 | 完形 | 内外-ナデ 底部ヘラ切り・ヘラ起こし |
| 479 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 小皿 | 7.2 | - | 6.0 | 1.4 | にぶい橙(7.5YR7/3) | 長石・石英 多 | 完形 | 内外-ナデ 底部ヘラ切り |
| 480 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 小皿 | 6.8 | - | 5.5 | 1.0 | にぶい黄橙(10YR7 2) | | ほぼ完形 | 内外-ナデ 底部ヘラ切り |
| 481 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 小皿 | 6.8 | - | 5.3 | 1.6 | にぶい橙(7.5YR6/4) | | 2 3 | 内外-ナデ 底部ヘラ切り 底部に穴 |
| 482 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 小皿 | 6.4 | - | 5.2 | 1.5 | 橙(5YR6/6) | 長石・石英 多 | ほぼ完形 | 内外-ナデ 底部ヘラ切り |
| 483 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 小皿 | 6.3 | - | 5.0 | 1.6 | にぶい橙(7.5YR6/4) | | 2 3 | 内外-ナデ |
| 484 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 小皿 | 6.9 | - | 5.4 | 1.6 | にぶい橙(7.5YR7/3) | | ほぼ完形 | 内外-ナデ 底部ヘラ切り・ヘラ起こし |
| 485 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 小皿 | 7.9 | - | 6.0 | 1.0 | にぶい黄橙(10YR7 3) | | 1 4 | 内外-ナデ 指紋 |
| 486 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 小皿 | 7.4 | - | 5.9 | 1.0 | にぶい黄橙(10YR7 3) | 長石 多 | 1 4 | 外-ナデ・ヘラ切り 内-ナデ |
| 487 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 器台 | (7.3) | - | 6.6 | 3.4 | にぶい黄橙(10YR7 2) | 長石・石英 多 | 体部ほぼ完形 | 外-ナデ・ヘラ切り 内-ナデ |
| 488 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 器台 | 5.4 | - | 6.5 | 2.8 | にぶい黄橙(10YR7 2) | | 1 2 | 内外-ナデ |
| 489 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 器台 | (8.2) | - | - | - | 橙(7.5YR7 6) | | 口縁~脚柱部1 3 | 内外-ナデ |
| 490 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 瓶 | - | - | - | - | 灰白(10YR8/2) | | | 内外-ナデ 穿孔3個 |
| 491 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 瓶 | - | - | - | - | 灰白(10YR8/2) | | | 内外-ナデ 穿孔4個 |
| 492 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 銅 | 40.4 | - | - | - | 灰黄(2.5Y4 1) | 長石・石英 多 | 11縁~胴部1/4 | 外-ハケメ・指押さえ・ナデ・煤付着 内-ハケメ |
| 493 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 銅 | 34.1 | - | - | - | 灰黄褐(10YR6/2) | | 口縁~杯部1 8 | 外-ハケメ・ナデ・煤付着 内-ハケメ・ナデ |
| 494 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 銅 | (33.5) | - | - | - | にぶい褐(7.5YR5/3) | | 口縁~杯部1/12 | 外-ハケメ・指押さえ・ナデ・煤付着 内-ハケメ・ナデ |
| 495 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 銅 | 26.9 | - | - | - | にぶい黄橙(7.5YR6/4) | 長石 多 | 11縁~胴部1/4 | 外-ハケメ・指押さえ・ナデ・煤付着 内-ハケメ |
| 496 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 銅 | 30.0 | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7/2) | | 11縁部1/9 | 外-ハケメ・指押さえ 内-ハケメ |
| 497 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 銅 | 25.6 | - | - | - | 橙(5YR6/6) | | 口縁~胴部1 8 | 内外-ハケメ・ナデ |
| 498 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 銅 | (26.6) | - | - | - | にぶい黄橙(10YR7 3) | | 口縁部1/6 | 内外-ナデ・ハケメ・指押さえ 煤付着 |
| 499 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 銅 | (31.6) | - | - | - | にぶい黄橙(10YR6/3) | 長石 多 | 11縁部1/12 | 内外-ナデ・ハケメ 煤付着 |
| 500 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 銅 | 28.0 | - | 15.0 | 25.0 | にぶい黄橙(10YR6/3) | | 11縁~体部3/4 | 外-煤付着 内外-ハケメ・ナデ |
| 501 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 甕 | - | - | - | - | 石英長石雲母 多 | | | 外-ハケメ・ナデ・指押さえ 内-ハケメ・ナデ |
| 502 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 甕 | - | - | - | - | 黒濁(10YR3 1) | 石英長石雲母 多 | | 外-ハケメ・ナデ・指押さえ 内-ナデ・指押さえ |
| 503 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 甕 | - | - | - | - | にぶい橙(5YR6/4) | 石英長石雲母 多 | | 内外-指押さえ・ナデ |
| 504 | 1区 | 下が均2 | 須恵器 | 四耳壺 | 10.4 | 19.0 | 12.1 | 21.0 | 灰白(5Y7 1) | 長石 多 | 11縁~胴部1/2 | 外-格子目タタキ・ナデ 内-ナデ・指押さえ 黒色付着物 |
| 505 | 1区 | 下が均2 | 須恵器 | 壺 | (18.4) | - | - | - | 灰(N5 1) | 長石 多 | | 内外-ナデ 自然焼付着 |
| 506 | 1区 | 下が均2 | 須恵器 | 壺 | 21.8 | - | - | - | 暗灰(N3 1) | | 口縁部1 8 | 内外-ナデ |
| 507 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 壺 | 23.6 | - | - | - | 灰(N4 1) | | 口縁~肩部1 6 | 外-タタキ・ナデ 内-ナデ |
| 508 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 壺 | - | - | - | - | 灰(N5 1) | | | 外-タタキ・ナデ 内-ナデ |
| 509 | 1区 | 下が均2 | 土師器 | 甕 | - | - | - | - | 灰(10Y6/1) | 長石 多 | | 内外-ナデ |

土器・陶器

| 番号 | 調査区 | 遺構名 | 種別 | 器種 | 計測値(cm) | | | 色調 | 胎土 | 状態 | 備考 |
|-----|-----|-----------|--------|----|---------|----|--------|----------------|---------|----------|-----------------------|
| | | | | | 口径 | 長さ | 底径 | | | | |
| 510 | 1区 | 下がり2 | 備前焼 | 甕 | - | - | - | 灰(10Y6/1) | 長石 多 | | 内外-ナデ |
| 511 | 1区 | 下がり2 | 亀山焼 | 甕 | (39.0) | - | - | 灰(N4/) | 長石 多 | 口縁部 1/6 | 外-格子目タタキ・ナデ・指押さえ 内-ナデ |
| 512 | 1区 | 下がり2 | 土師器 | 甕 | - | - | (10.6) | 稔(5YR6/6) | | 底部 1/4 | 外-ナデ・糸切り 内-ナデ |
| 513 | 1区 | 下がり2 | 備前焼 | 甕 | - | - | - | 灰褐(5YR4/2) | | | 外-ナデ・窯床面粘土付着 内-ナデ |
| 514 | 1区 | 下がり2 | 東播系須恵器 | 控鉢 | 28.0 | - | - | 灰(N4/) | 長石・石英 多 | 口縁部 1/8 | 外-ナデ・指押さえ 内-ナデ |
| 515 | 1区 | 下がり2 | 東播系須恵器 | 控鉢 | (29.3) | - | - | 灰白(N8/) | | 口縁部 1/10 | 内外-ナデ |
| 516 | 1区 | 下がり2 | 東播系須恵器 | 控鉢 | 24.4 | - | - | 灰(10Y5/1) | 長石・石英 多 | 口縁部 1/10 | 内外-ナデ 重ね焼き痕 |
| 517 | 1区 | 下がり2 | 東播系須恵器 | 控鉢 | (28.0) | - | - | 灰(7.5Y5/1) | | 口縁部 1/12 | 内外-ナデ 重ね焼き痕 |
| 518 | 1区 | 下がり2 | 土師器 | 鉢 | - | - | - | 灰白(10YR8/2) | | | 外-ハケメ・指押さえ・ナデ 内-ハケメ |
| 519 | 1区 | 下がり2 | 備前焼 | 控鉢 | - | - | - | 土赤(2.5YR5/4) | | | 外-ナデ 内-ナデ・掘目 |
| 520 | 1区 | 下がり2 | 青磁 | 碗 | - | - | - | 灰オリーブ(5Y6/2) | | | 素地 灰(5Y6/1) 同安窯 |
| 521 | 1区 | 下がり2 | 青磁 | 碗 | - | - | - | 灰オリーブ(7.5Y5/3) | | | 素地 灰(N6/1) 龍泉窯 |
| 522 | 1区 | 下がり2 | 白磁 | 碗 | (14.1) | - | - | 灰白(7.5Y7/1) | | 口縁部 1/9 | 素地 灰白(5Y7/1) |
| 523 | 1区 | 下がり2 | 白磁 | 碗 | (15.8) | - | - | 灰白(5Y7/1) | | | 素地 灰白(2.5Y7/1) |
| 524 | 1区 | 下がり2 | 白磁 | 碗 | - | - | (7.0) | 灰白(5Y7/1) | | 底部 1/8 | 素地 灰白(5Y7/1) |
| 525 | 1区 | 下がり2 | 瓦 | 瓦 | - | - | - | 黄灰(2.5Y6/1) | | | 凹部-布目 凸部-ナデ |
| 526 | 1区 | 下がり2 | 瓦 | 平瓦 | - | - | - | 黄灰(2.5Y5/1) | 長石・石英 多 | | 凹部-布目 凸部-格子目タタキ |
| 527 | 1区 | 下がり2 | 瓦 | 平瓦 | - | - | - | 灰白(5Y7/1) | | | 凹部-布目 凸部-格子目タタキ |
| 528 | 1区 | 下がり2 | 瓦 | 平瓦 | - | - | - | 黄灰(2.5Y6/1) | | | 凹部-布目 凸部-格子目タタキ |
| 529 | 1区 | 下がり2 | 瓦 | 平瓦 | - | - | - | 灰(N5/) | 長石・石英 多 | | 凹部-布目 凸部-ナデ |
| 530 | 1区 | 下がり2 | 瓦 | 平瓦 | - | - | - | 灰白(5Y7/1) | 長石・石英 多 | | 凹部-布目 凸部-ナデ |
| 531 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 瓦 | 平瓦 | - | - | - | 灰白(2.5Y7/1) | 長石・石英 多 | | 凹部-布目 凸部-タタキ目 |
| 532 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 瓦質土器 | 甕 | 28.4 | - | - | 灰(N4/) | 長石・石英 多 | 口縁部 1/5 | 外-格子目タタキ・ナデ 内-ナデ |
| 533 | 2区 | 遺構に伴わない遺物 | 須恵器 | 碗 | 15.6 | - | - | 灰(N6/) | | 口縁部 1/7 | 内外-ナデ |
| 534 | 2区 | 遺構に伴わない遺物 | 備前焼 | 控鉢 | 31.6 | - | - | 赤褐(10YR5/3) | 長石・石英 多 | 口縁部 1/8 | 外-ナデ 内-ナデ・掘目 |
| 535 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 備前焼 | 甕 | 42.2 | - | - | 灰褐(10YR4/1) | | 口縁部 1/8 | 外-ナデ・指押さえ 内-ナデ |
| 536 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 瓦質土器 | 鍋 | - | - | - | 褐灰(10YR6/1) | 長石・石英 多 | | 外-ハケメ・ナデ 内-ハケメ 穿孔2個 |
| 537 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 瓦質土器 | 火鉢 | - | - | - | 灰白(5Y7/1) | 長石 多 | | 外-ナデ・菊花文 内-ナデ |

石製品

| 番号 | 調査区 | 遺構名 | 器種 | 計測値(cm) | | | 重量(g) | 石材 | 時期 | 備考 |
|-----|------|-----------|----------|---------|--------|------|--------|-------|--------|--------------|
| | | | | 長さ | 幅 | 厚さ | | | | |
| S1 | 1区 | T7 | 砥石 | (8.3) | 5.15 | 3.95 | 229.49 | 流紋岩 | 中世 | |
| S2 | 1区 | 下がり1 | 石鏃 | 1.57 | 1.06 | 0.25 | 0.3 | サスカイト | 縄文晩期末 | 三角形平基式 |
| S3 | 1区 | 下がり1 | 楔形石器 | 2.55 | 2.4 | 0.85 | 6.33 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S4 | 1区 | 下がり1 | 楔形石器 | 2.35 | 2.15 | 0.6 | 2.88 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S5 | 1区 | 下がり1 | 楔形石器 | 2.75 | 1.9 | 0.55 | 3.37 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S6 | 1区 | 下がり1 | 楔形石器 | 2.2 | 3.0 | 0.4 | 3.18 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S7 | 1区 | 下がり1 | 楔形石器 | 4.55 | 6.75 | 1.1 | 33.49 | サスカイト | 縄文晩期末 | 自然面残存 |
| S8 | 1区 | 下がり1 | スクレイパー | 3.2 | 4.9 | 0.3 | 6.04 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S9 | 1区 | 下がり1 | スクレイパー | 3.5 | 1.75 | 1.35 | 17.47 | サスカイト | 縄文晩期末 | 自然面残存 |
| S10 | 1区 | 下がり1 | 石鏃 | (4.95) | 5.3 | 1.3 | 32.82 | サスカイト | 縄文晩期末 | 一部摩耗 |
| S11 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 四石・敲石 | 9.8 | 8.6 | 5.0 | 615.83 | 砂岩 | 縄文晩期末? | 両面・外面面に敲打痕跡 |
| S12 | 3B1区 | 遺構に伴わない遺物 | 紡錘車 | 3.77 | 3.77 | 1.35 | 16.58 | 滑石 | 古墳時代 | 孔径 6.8mm |
| S13 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 剥片 | 4.7 | 3.2 | 2.15 | 42.33 | サスカイト | 縄文晩期末 | 自然面残存 |
| S14 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 剥片 | 4.1 | 3.15 | 2.1 | 31.41 | サスカイト | 縄文晩期末 | 敲打痕跡 |
| S15 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 剥片(楔形石器) | 2.75 | 3.7 | 0.8 | 9.38 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S16 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 1.55 | 1.0 | 0.25 | 0.36 | サスカイト | 縄文晩期末 | 三角形田基式 |
| S17 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | (1.45) | 1.6 | 0.3 | 0.48 | サスカイト | 縄文晩期末 | 三角形田基式 |
| S18 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 1.58 | 1.3 | 0.3 | 0.52 | サスカイト | 縄文晩期末 | 三角形平基式 |
| S19 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 1.48 | 1.4 | 0.28 | 0.52 | サスカイト | 縄文晩期末 | 三角形平基式 |
| S20 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 1.74 | 1.25 | 0.3 | 0.6 | サスカイト | 縄文晩期末 | 三角形平基式 |
| S21 | 2区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | (1.42) | (0.9) | 0.2 | 0.27 | サスカイト | 縄文晩期末 | 三角形 |
| S22 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 1.78 | 1.15 | 0.26 | 0.4 | サスカイト | 縄文晩期末 | 三角形平基式 |
| S23 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 1.75 | 1.38 | 0.25 | 0.54 | サスカイト | 縄文晩期末 | 三角形平基式 |
| S24 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 1.73 | 1.33 | 0.23 | 0.42 | サスカイト | 縄文晩期末 | 五角形凹基式 |
| S25 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | (2.13) | 1.0 | 0.45 | 0.95 | サスカイト | 縄文晩期末 | 凸基式 |
| S26 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 2.1 | 1.2 | 0.38 | 0.72 | サスカイト | 縄文晩期末 | 三角形平基式 |
| S27 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 2.25 | 1.7 | 0.35 | 1.1 | サスカイト | 縄文晩期末 | 三角形平基式 |
| S28 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 2.15 | 1.45 | 0.24 | 0.55 | サスカイト | 縄文晩期末 | 五角形平基式 |
| S29 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 2.55 | 1.55 | 0.4 | 0.97 | サスカイト | 縄文晩期末 | 三角形凹基式 |
| S30 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | (2.5) | 1.68 | 0.43 | 1.09 | サスカイト | 縄文晩期末 | 三角形凹基式 |
| S31 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 2.13 | 1.53 | 0.3 | 0.61 | サスカイト | 縄文晩期末 | 三角形凹基式 |
| S32 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 2.23 | 1.6 | 0.6 | 1.66 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S33 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 2.13 | (1.35) | 0.3 | 0.84 | サスカイト | 縄文晩期末 | 三角形平基式 |
| S34 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | (1.63) | 1.6 | 0.3 | 0.65 | サスカイト | 縄文晩期末 | 凹基式 |
| S35 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | (1.43) | 1.45 | 0.25 | 0.47 | サスカイト | 縄文晩期末 | 凹基式 |
| S36 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | (1.62) | 1.64 | 0.38 | 0.87 | サスカイト | 縄文晩期末 | 凹基式 |
| S37 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | (1.9) | 1.75 | 0.32 | 0.85 | サスカイト | 縄文晩期末 | 凹基式 |
| S38 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 2.4 | (1.35) | 0.27 | 0.67 | サスカイト | 縄文晩期末 | 三角形凹基式 |
| S39 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 2.8 | 1.6 | 0.3 | 1.08 | サスカイト | 縄文晩期末 | 三角形凹基式 |
| S40 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | (2.9) | (1.88) | 0.3 | 1.14 | サスカイト | 縄文晩期末 | 三角形凹基式 |
| S41 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 3.25 | (1.75) | 0.4 | 1.5 | サスカイト | 縄文晩期末 | 三角形凹基式 |
| S42 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 2.65 | 1.7 | 0.63 | 2.54 | サスカイト | 縄文晩期末 | 三角形凹基式・自然面残存 |
| S43 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 3.05 | 2.12 | 0.63 | 2.53 | サスカイト | 縄文晩期末 | 三角形平基式 |
| S44 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 2.95 | 1.8 | 0.65 | 2.46 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S45 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 2.5 | 2.3 | 0.5 | 2.74 | サスカイト | 縄文晩期末 | 五角形平基式 |
| S46 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | (2.25) | (1.9) | 0.33 | 1.0 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S47 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | (1.55) | (0.4) | 0.25 | 0.17 | サスカイト | 縄文晩期末 | |

石製品

| 番号 | 調査区 | 遺構名 | 器種 | 計測値(cm) | | | 重量(g) | 石材 | 時期 | 備考 |
|-----|-----|-----------|--------|---------|--------|-------|--------|-------|-------|----------|
| | | | | 長さ | 幅 | 厚さ | | | | |
| S48 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 4.9 | 2.8 | 0.75 | 6.04 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S49 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | (2.6) | (1.55) | 0.55 | 1.87 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S50 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 2.1 | 2.4 | 0.7 | 2.15 | サスカイト | 縄文晩期末 | 楔形石器から作成 |
| S51 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | (2.72) | (0.9) | 0.5 | 1.27 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S52 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 楔形石器 | 4.3 | 4.1 | 0.65 | 14.09 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S53 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 楔形石器 | 5.1 | 1.9 | 1.3 | 52.08 | サスカイト | 縄文晩期末 | 一部摩耗 |
| S54 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 楔形石器 | 2.7 | 2.3 | 0.7 | 5.44 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S55 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 楔形石器 | 2.9 | 2.4 | 1.1 | 6.45 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S56 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 楔形石器 | 2.5 | 2.5 | 0.8 | 3.86 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S57 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 楔形石器 | 3.6 | 2.0 | 0.7 | 6.58 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S58 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 楔形石器 | 2.1 | 1.5 | 0.5 | 2.17 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S59 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 楔形石器 | 2.45 | 3.6 | 0.73 | 7.31 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S60 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 楔形石器 | 4.4 | 2.25 | 0.9 | 10.27 | サスカイト | 縄文晩期末 | 一部摩耗 |
| S61 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 楔形石器 | 3.85 | 3.8 | 0.67 | 9.38 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S62 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 楔形石器 | 2.8 | 3.25 | 0.95 | 7.73 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S63 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 楔形石器 | 4.65 | 6.2 | 1.9 | 60.95 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S64 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 楔形石器 | 2.35 | 2.35 | 0.45 | 2.74 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S65 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 楔形石器 | 7.35 | 2.0 | 1.1 | 22.37 | サスカイト | 縄文晩期末 | 自然面残存 |
| S66 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 楔形石器 | 7.2 | 4.45 | 2.1 | 44.57 | サスカイト | 縄文晩期末 | |
| S67 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 石鏃 | 9.35 | 5.1 | 1.3 | 67.75 | サスカイト | 縄文晩期末 | 一部摩耗 |
| S68 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 剥片 | 2.85 | 2.25 | 0.6 | 4.32 | サスカイト | 縄文晩期末 | 石鏃の未製品? |
| S69 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | スクレイパー | 7.2 | 3.85 | 1.0 | 21.58 | サスカイト | 縄文晩期末 | 自然面残存 |
| S70 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | スクレイパー | 4.85 | 3.9 | 1.1 | 11.55 | サスカイト | 縄文晩期末 | 自然面残存 |
| S71 | 1区 | 下がり2 | 砥石 | (8.5) | 7.2 | (3.2) | 257.43 | 流紋岩 | 中世 | |
| S72 | 1区 | 下がり2 | 砥石 | (5.8) | (3.2) | (2.0) | 32.33 | 花崗岩 | 中世 | 被熱 |
| S73 | 1区 | 下がり2 | 砥石 | (5.15) | (3.5) | (4.7) | 61.7 | 流紋岩 | 中世 | |
| S74 | 2区 | 遺構に伴わない遺物 | 硯 | (6.1) | 6.6 | 2.13 | 81.75 | 流紋岩 | 近世以降 | |
| S75 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 砥石 | (8.8) | 5.2 | 5.1 | 201.8 | 流紋岩 | 中世 | |
| S76 | 3B区 | 遺構に伴わない遺物 | 砥石 | 11.85 | 7.2 | 2.95 | 441.74 | 緑色片岩 | 中世以降 | |
| S77 | 3A区 | 遺構に伴わない遺物 | 砥石 | (8.9) | 3.2 | 2.1 | 100.32 | 粘板岩 | 中世以降 | |
| S78 | 3B区 | 遺構に伴わない遺物 | 砥石 | (4.07) | 3.35 | 0.75 | 14.16 | 泥岩 | 中世以降 | |

土製品

| 掲載番号 | 調査区 | 遺構・土層名 | 器種 | 計測値(cm) | | | | 重量(g) | 色調 | 胎土 | 焼成 | 時期 | 備考 |
|------|-----|-----------|-----|---------|--------|------|-------|-------|----------------|--------|----|----|----------------|
| | | | | 長さ | 幅 | 厚さ | 孔径 | | | | | | |
| C1 | 1区 | 溝4 | 不明 | (1.44) | 0.6 | 0.6 | - | 0.49 | 橙(5YR6/6) | | 良好 | 中世 | 直径4mm、深さ2mmの凹み |
| C2 | 1区 | 下がり2 | 転用硯 | 12.75 | 5.41 | 0.83 | - | 84.83 | 灰白(5Y7/1) | | 良好 | 中世 | 須恵器の転用 墨付着 |
| C3 | 1区 | 下がり2 | 円盤 | 2.7 | 2.5 | 1.95 | - | 13.5 | 灰白(5Y7/1) | | 良好 | 中世 | 須恵器の転用 |
| C4 | 1区 | 下がり2 | 円盤 | 2.3 | 2.85 | 1.25 | - | 9.77 | 灰白(5Y7/1) | | 良好 | 中世 | 須恵器の転用 |
| C5 | 1区 | 下がり2 | 土鏃 | 6.22 | 1.67 | 1.36 | 0.5 | 16.2 | 灰白(10Y8/2) | 長石・石英多 | 良好 | 中世 | |
| C6 | 1区 | 下がり2 | 羽口 | (5.26) | (3.2) | 2.46 | (3.2) | 31.88 | 橙(5YR6/6) | 長石多 | 良好 | 中世 | |
| C7 | 3A区 | 遺構に伴わない遺物 | 土鏃 | (2.6) | (2.69) | 1.27 | (0.5) | 9.32 | 黄灰(2.5Y7/1) | 長石・石英多 | 良好 | 中世 | |
| C8 | 3A区 | 遺構に伴わない遺物 | 土鏃 | (1.7) | (2.12) | 10.7 | (0.6) | 4.03 | 黄灰(2.5Y6/1) | 長石多 | 良好 | 中世 | |
| C9 | 2区 | 遺構に伴わない遺物 | 土鏃 | (2.34) | (1.91) | 5.9 | 5.9 | 6.82 | におい黄橙(10YR7/3) | | 良好 | 近世 | |
| C10 | 3A区 | 遺構に伴わない遺物 | 円盤 | 3.43 | 3.43 | 1.6 | - | 22.33 | 灰白(2.5Y8/1) | | 良好 | 近代 | |
| C11 | 3B区 | 遺構に伴わない遺物 | 羽口 | (5.43) | (4.5) | 2.53 | (2.8) | 59.82 | 橙(5YR6/6) | 長石多 | 良好 | 中世 | |
| C12 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 羽口 | (2.78) | (3.33) | 1.87 | (3.5) | 13.56 | 橙(5YR6/6) | | 良好 | 中世 | |

金属製品

| 掲載番号 | 調査区 | 遺構名 | 器種 | 計測値(cm) | | | 重量(g) | 材質 | 時期 | 備考 |
|------|-----|-----------|-----|---------|--------|------|-------|----|------|---------------|
| | | | | 長さ | 幅 | 厚さ | | | | |
| M1 | 1区 | 配石遺構1 | 銭貨 | (1.57) | (0.9) | 0.1 | 0.39 | 青銅 | 中世 | |
| M2 | 1区 | 溝1 | 鉄塊 | 2.4 | 1.7 | 1.2 | 5.5 | 鉄 | 中世 | |
| M3 | 1区 | 溝2 | 釘 | (4.5) | 0.7 | 0.7 | 14.27 | 鉄 | 中世 | |
| M4 | 1区 | 溝6 | 釘 | (5.2) | 0.4 | 0.4 | 3.37 | 鉄 | 中世 | |
| M5 | 1区 | 溝6 | 釘 | (2.2) | 0.3 | 0.3 | 0.73 | 鉄 | 中世 | |
| M6 | 1区 | 下がり2 | 刀柄 | (8.1) | 1.45 | 0.45 | 22.29 | 鉄 | 中世 | 直径3mmの日釘穴 |
| M7 | 1区 | 下がり2 | 鎌 | (4.4) | 2.0 | 0.4 | 15.73 | 鉄 | 中世 | |
| M8 | 1区 | 下がり2 | 釘 | 5.7 | 0.6 | 0.5 | 6.04 | 鉄 | 中世 | |
| M9 | 1区 | 下がり2 | 釘 | 6.2 | 0.5 | 0.45 | 3.33 | 鉄 | 中世 | |
| M10 | 1区 | 下がり2 | 釘 | (3.75) | 0.5 | 0.5 | 2.78 | 鉄 | 中世 | |
| M11 | 1区 | 下がり2 | 鑿 | 6.4 | 1.3 | 0.6 | 2.2 | 鉄 | 中世 | |
| M12 | 1区 | 下がり2 | 鑿? | (2.2) | 0.8 | 0.8 | 2.58 | 鉄 | 中世 | |
| M13 | 1区 | 下がり2 | 鉄片 | (2.1) | (2.3) | 0.45 | 6.93 | 鉄 | 中世 | |
| M14 | 1区 | 下がり2 | 鉄片 | (4.2) | (2.2) | 1.2 | 12.06 | 鉄 | 中世 | 突帯(铸造鉄器片?) |
| M15 | 1区 | 下がり2 | 鉄片 | (3.6) | (2.0) | 0.4 | 6.53 | 鉄 | 中世 | |
| M16 | 1区 | 下がり2 | 鉄片 | (6.5) | 1.5 | 0.4 | 14.51 | 鉄 | 中世 | |
| M17 | 1区 | 下がり2 | 銭貨 | 2.4 | 2.4 | 0.1 | 2.28 | 青銅 | 中世 | 開元通寶(960年初铸) |
| M18 | 1区 | 下がり2 | 銭貨 | 2.58 | 2.58 | 0.1 | 2.4 | 青銅 | 中世 | 嘉祐通寶(1056年初铸) |
| M19 | 3A区 | 中世耕作痕 | 鉄鏃 | (5.8) | 2.0 | 0.4 | 5.0 | 鉄 | 中世 | 雁又式 |
| M20 | 3B区 | 遺構に伴わない遺物 | 鋸跡丸 | (3.4) | (1.9) | 0.9 | 11.6 | 鉄 | 中世以降 | |
| M21 | 3A区 | 遺構に伴わない遺物 | 刃物 | (4.7) | (2.65) | 0.5 | 14.62 | 鉄 | 近世以降 | |
| M22 | 3A区 | 遺構に伴わない遺物 | 鉄片 | (3.6) | 1.6 | 0.45 | 7.45 | 鉄 | 近世以降 | |
| M23 | 3A区 | 遺構に伴わない遺物 | 鉄片 | (4.5) | (1.3) | 0.4 | 10.34 | 鉄 | 中世 | 铸造鉄器片? |
| M24 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 鉄片 | (6.6) | 1.9 | 0.4 | 18.4 | 鉄 | 中世 | |
| M25 | 1区 | 柱穴 | 釘 | 7.0 | 0.6 | 0.5 | 6.04 | 鉄 | 中世 | |
| M26 | 1区 | 柱穴 | 釘 | 4.2 | 0.3 | 0.3 | 5.14 | 鉄 | 中世 | |
| M27 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 釘 | 8.3 | 0.7 | 0.6 | 10.41 | 鉄 | 中世 | |

金属製品

| 掲載 番号 | 調査区 | 遺構名 | 器種 | 計測値(cm) | | | 重量(g) | 材質 | 時期 | 備考 |
|----------|-----|-----------|-----|---------|------|------|-------|----|------|----------------|
| | | | | 長さ | 幅 | 厚さ | | | | |
| M28 | 3B区 | 遺構に伴わない遺物 | 釘 | (5.4) | 0.5 | 0.5 | 2.67 | 鉄 | 中世以降 | |
| M29 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 釘 | (5.5) | 0.8 | 0.75 | 9.04 | 鉄 | 中世 | |
| M30 | 3A区 | 遺構に伴わない遺物 | 釘 | 3.4 | 0.8 | 0.6 | 4.73 | 鉄 | 中世以降 | |
| M31 | 3A区 | 遺構に伴わない遺物 | 釘 | (3.9) | 0.35 | 0.4 | 2.21 | 鉄 | 近世 | |
| M32 | 3B区 | 遺構に伴わない遺物 | 釘 | (5.2) | 0.5 | 0.7 | 4.78 | 鉄 | 近世 | 側面が一部潰れている |
| M33 | 3A区 | 遺構に伴わない遺物 | 釘 | (3.6) | 0.4 | 0.4 | 1.99 | 鉄 | 中世以降 | |
| M34 | 3B区 | 遺構に伴わない遺物 | 釘 | (2.5) | 0.4 | 0.4 | 1.96 | 鉄 | 中世 | |
| M35 | 3A区 | 遺構に伴わない遺物 | 釘 | (5.0) | 0.55 | 0.55 | 3.71 | 鉄 | 中世 | |
| M36 | 2区 | 遺構に伴わない遺物 | 青銅塊 | 5.2 | 3.8 | 1.4 | 86.58 | 青銅 | 中世 | 凹凸著しい |
| M37 | 2区 | 遺構に伴わない遺物 | 弾丸 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 7.14 | 鉛 | 近代 | |
| M38 | 2区 | 遺構に伴わない遺物 | 弾丸 | 1.19 | 1.19 | 1.19 | 9.32 | 鉛 | 近代 | |
| M39 | 1区 | 柱穴 | 銭貨 | 2.45 | 2.45 | 0.15 | 3.07 | 青銅 | 中世 | 皇宋通寶 (1038年初鑄) |
| M40 | 1区 | 柱穴 | 銭貨 | 2.47 | 2.47 | 0.18 | 2.8 | 青銅 | 中世 | 熙寧元寶 (1068年初鑄) |
| M41 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 銭貨 | 1.93 | 1.93 | 0.12 | 0.76 | 青銅 | 中世 | 至道元寶 (995年初鑄) |
| M42 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 銭貨 | 2.56 | 2.56 | 0.13 | 1.8 | 青銅 | 中世 | 皇宋通寶 (1038年初鑄) |
| M43 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 銭貨 | 2.37 | 2.37 | 0.13 | 1.42 | 青銅 | 中世 | 紹聖元寶 (1094年初鑄) |
| M44 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 銭貨 | 2.56 | 2.56 | 0.13 | 1.8 | 青銅 | 中世 | 元祐通寶 (1086年初鑄) |
| M45 | 3A区 | 遺構に伴わない遺物 | 銭貨 | 2.34 | 2.34 | 0.1 | 1.7 | 青銅 | 中世 | 元符通寶 (1098年初鑄) |
| M46 | 1区 | 遺構に伴わない遺物 | 銭貨 | 2.57 | 2.57 | 0.15 | 2.92 | 青銅 | 中世 | 元□通寶 |
| M47 | 2区 | 近世耕作痕 | 銭貨 | 2.48 | 2.48 | 0.12 | 2.93 | 青銅 | 近世 | 寛永通寶 (1636年初鑄) |



1 遺跡遠景（南上空から）

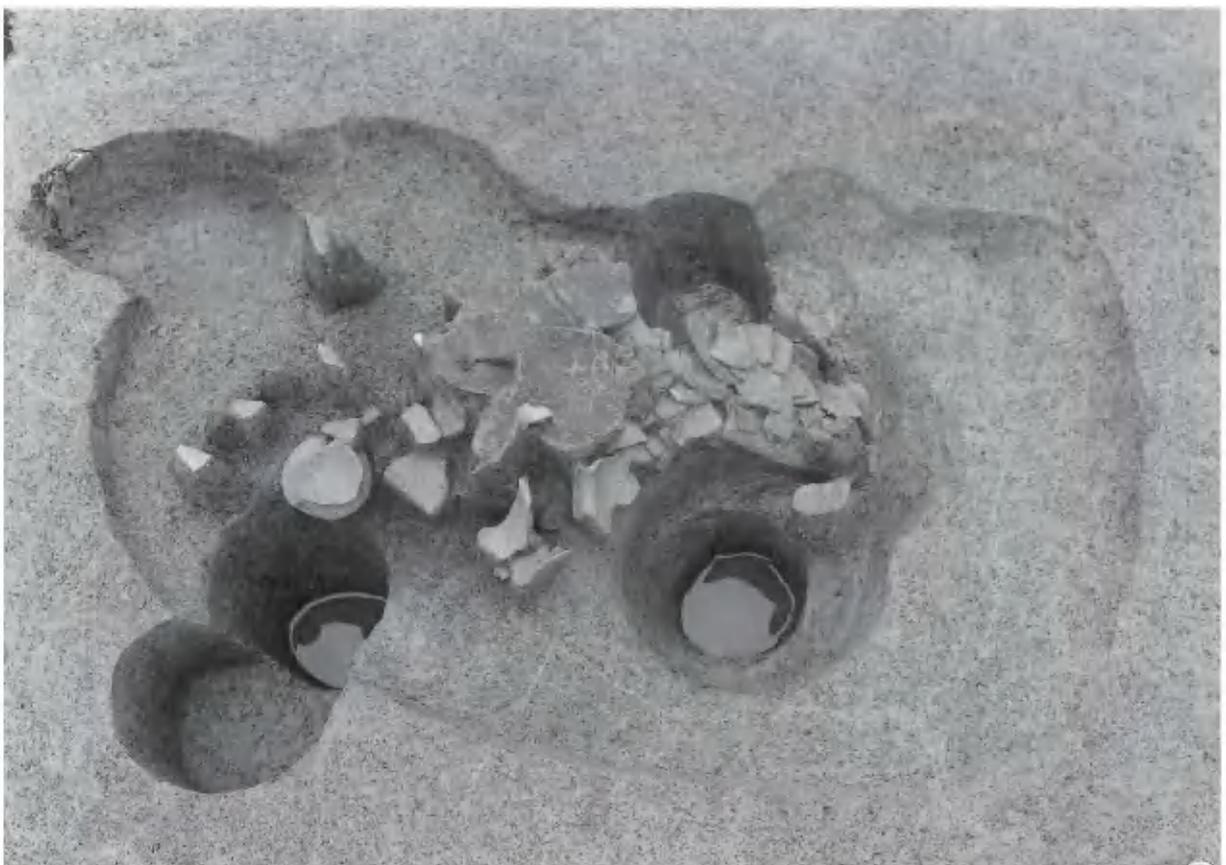


2 下がり1遺物出土状況（南から）

図版 2



1 土器棺 1 (西から)



2 土壇 1 遺物出土状況 (南から)



1 1区中世全景（北東から）



2 井戸1（南から）

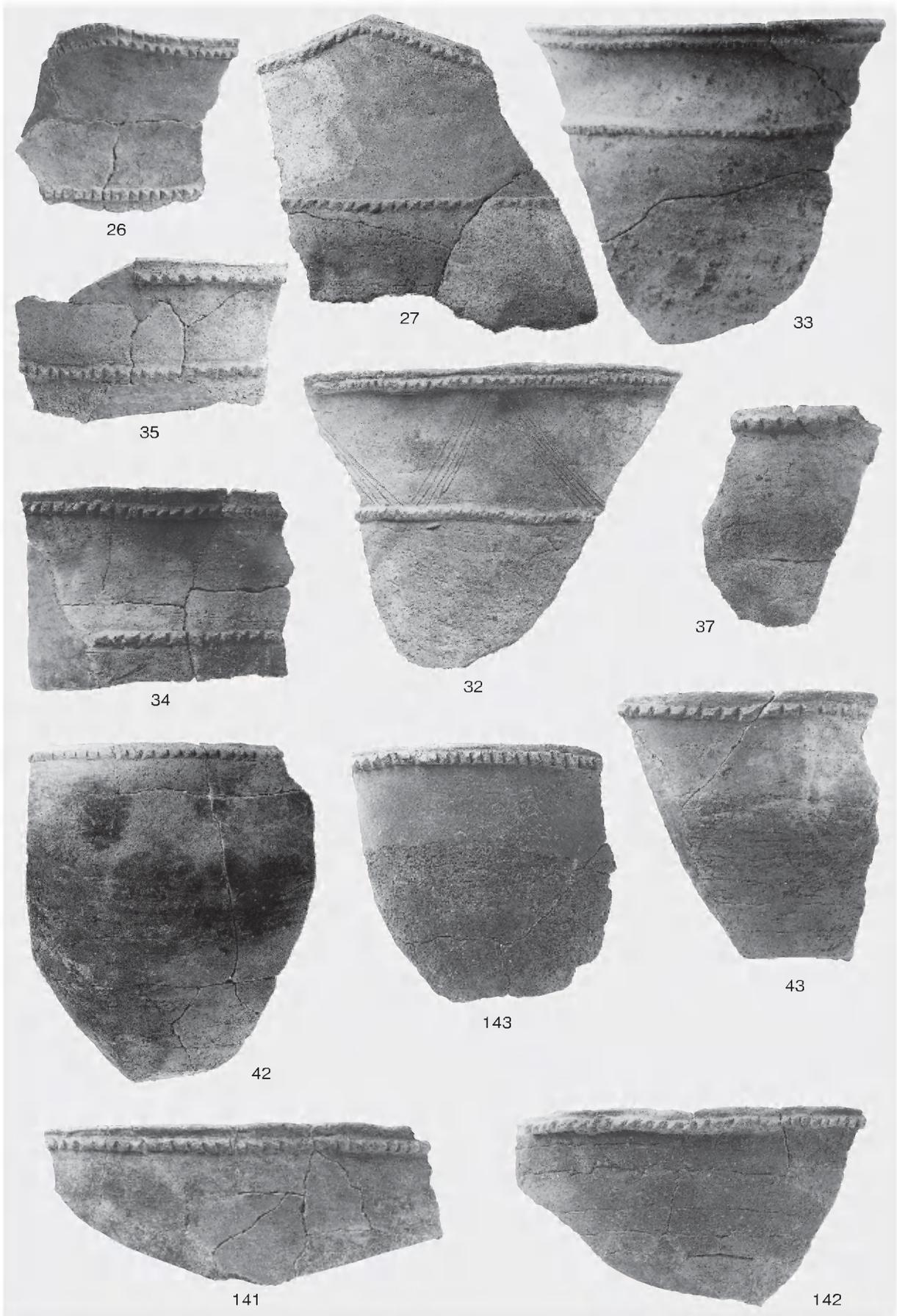


3 配石遺構1（南東から）

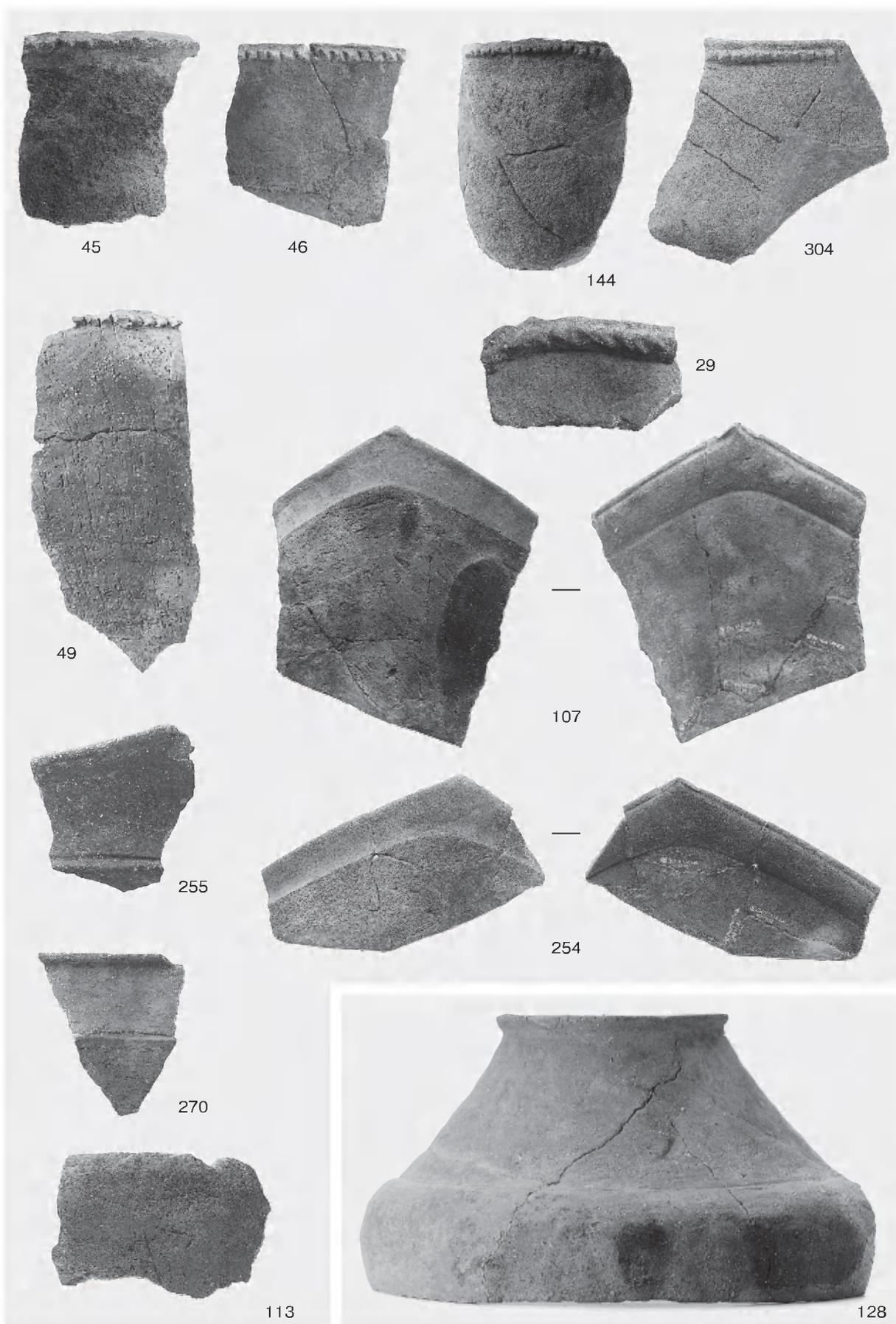


4 溝7（南西から）

图版 4

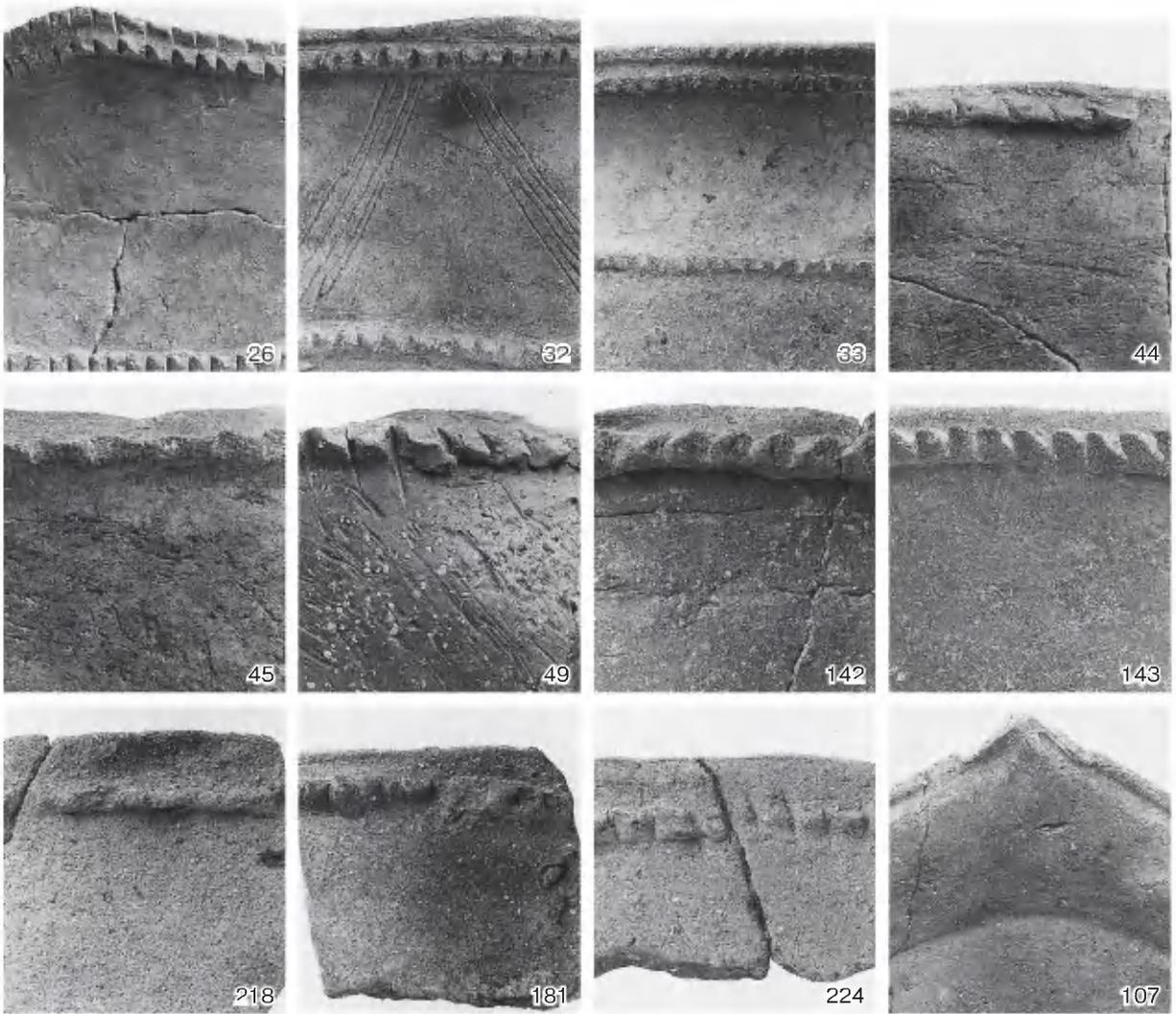


縄文晩期土器①

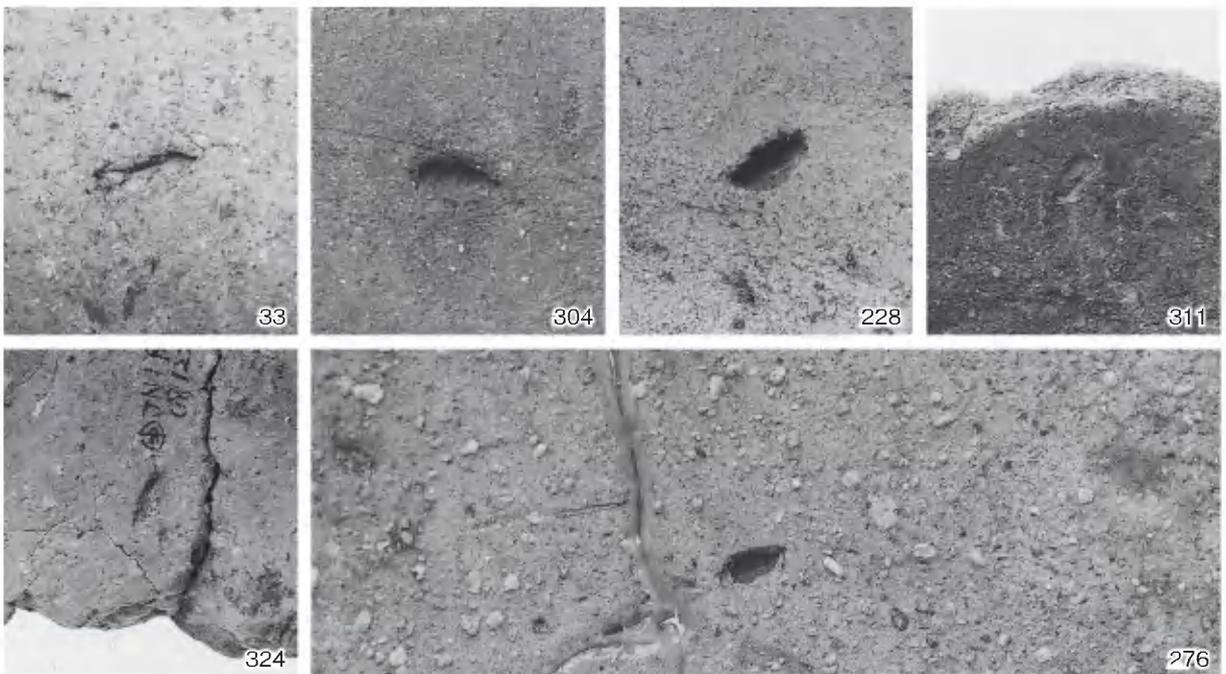


縄文晩期土器②

図版 6



1 縄文晩期土器③

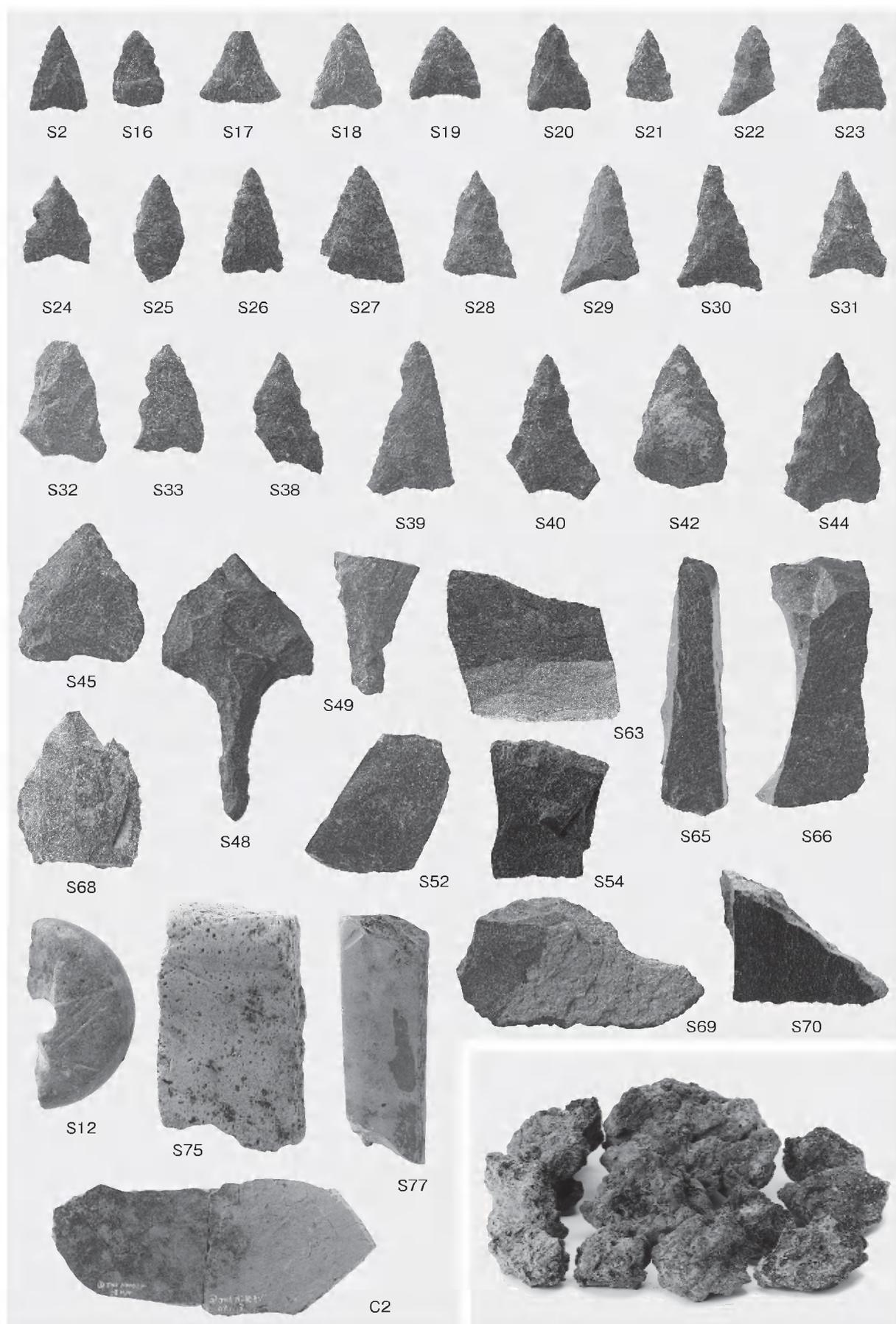


2 縄文晩期土器種子圧痕



弥生土器・土師器・須恵器

图版 8



1 石器・土製品

2 製鍊滓・炉壁片

報告書抄録

| | | | | | | | | |
|------------------------|--|-------------------|--------------------------------|-------------------|-----------------------------|-------------------------|---|------------------------|
| ふりがな | じょうとうなかしまいせき | | | | | | | |
| 書名 | 上東中嶋遺跡 | | | | | | | |
| 副書名 | 一般県道吉備津松島線道路改築に伴う発掘調査 | | | | | | | |
| 巻次 | IV | | | | | | | |
| シリーズ名 | 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 | | | | | | | |
| シリーズ番号 | 226 | | | | | | | |
| 著者名 | 上村 武・光永真一・富岡直人 | | | | | | | |
| 編集機関 | 岡山県古代吉備文化財センター | | | | | | | |
| 所在地 | 〒701-0136 岡山県岡山市北区西花尻1325-3 http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/kodai/kodaik.htm | | | | | TEL 086-293-3211 | | |
| 発行機関 | 岡山県教育委員会 | | | | | | | |
| 所在地 | 〒700-8570 岡山県岡山市北区内山下2-4-6 | | | | | TEL 086-224-2111 | | |
| 発行年月日 | 2010年3月31日 | | | | | | | |
| ふりがな | ふりがな | コード | | 北緯 | 東経 | 調査期間 | 調査面積 (㎡) | 調査原因 |
| 所収遺跡 | 所在地 | 市町村 | 遺跡番号 | ° / " | ° / " | | | |
| じょうとうなかしまいせき 上東中嶋遺跡 | おかもとけん 岡山県 くらしきし 倉敷市 じょうとう 上東 38-1ほか | 33202 | 332021115 | 34° 39' 17" | 133° 49' 44" | 2008.10.1～ 2009.2.27 | 1,630 | 一般県道 吉備津松島線 道路改築 |
| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | | 主な遺物 | | 特記事項 | |
| 上東中嶋遺跡 | 集落遺跡 | 縄文時代 | 下がり1 | | 縄文土器・石製品・剥片 | | 突帯文深鉢と壺が重なるような状況で出土。また、サヌカイト製石器以外に石核や剥片、チップが多く出土し、周辺での石器製作が推測される。 | |
| | | 弥生時代 | 土器棺1・土壙4 | | 弥生土器・石製品・剥片 | | | |
| | | 鎌倉時代 ～ 室町時代 | 柱穴列1・井戸1・配石遺構1・土壙1・溝7・下がり1・耕作痕 | | 土師器・須恵器・陶磁器 石製品・金属製品・土製品 | | | |
| | | 江戸時代 | 耕作痕 | | 陶磁器・金属製品 | | | |
| 要約 | <p>上東中嶋遺跡は微高地の縁辺部から低位部にかけて位置する。微高地からは縄文時代晩期末の土器やサヌカイト石器、剥片が多く出土し、周辺に集落の存在が推定される。弥生時代には後期後葉の土器棺や土壙が検出され、集落縁辺部に相当すると考えられた。中世には柱穴列や井戸などが見つかり、微高地に集落の存在が想定できる。なお、低位部は古代まで利用することなく、土器などが投棄されるに留まるが、中世以降に耕作地として利用するようになった。低位部を耕作地として利用する段階には、微高地の端部に溝を掘削しており、耕作地の形成と溝掘削との関わりが考えられる。溝は現代の用水路に平行し、さらに中・近世耕作痕は現代水田の畦や用水路に平行していた。これらのことから、遺跡周辺で認められた現代の景観は、中世段階に形成されたと推測された。</p> | | | | | | | |

岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 226

上東中嶋遺跡

一般県道吉備津松島線
道路改築に伴う発掘調査Ⅳ

平成22年3月12日 印刷

平成22年3月31日 発行

編集 岡山県古代吉備文化財センター
岡山市北区西花尻1325-3

発行 岡山県教育委員会
岡山市北区内山下2-4-6

印刷 山陽印刷株式会社
岡山市北区富吉3098-1

